

ま え が き

地域経済を取り巻く環境は、経済のグローバル化、情報化の進展や少子高齢化、環境・エネルギーの制約の顕在化等大きく変わりつつあります。さらに長引く景気の低迷は、雇用情勢や個人消費などに深刻な影響をもたらしており、県内の中小企業においても厳しい経営環境となっております。

こうした中で、当センターにおきましては、県内産業の発展を図るため、長期的な展望に立って本県産業の進むべき方向を明らかにした新しい商工労働観光振興計画「いわて産業振興ビジョン」での施策の方向を踏まえながら、廃プラスチックの再利用技術、福祉機器の開発、吟ぎんがをもちいた吟醸酒の研究開発等に取り組み、その成果の技術移転や普及に努めてまいりました。

一方、移動工業技術相談会の開催や技術アドバイザーによる支援、技術パイオニア養成事業、各種講習会、研究会の開催による人材の育成、インターネット等を利用した技術や特許情報の提供、特許アドバイザー等を活用した特許相談、マッチング業務等の各事業を実施し、県内企業の技術力の向上を支援してまいりました。

また、環境負荷低減型の技術開発に取り組むとともにISO14001の取得を目指すなど環境にやさしい産業活動を展開してきたところであります。

この業務報告は、当センターが平成12年度に実施した業務の概要をまとめたものであります。当センター活動に対するご意見、ご指導をいただくと共に、皆様の当センター活用の参考にしていただければ幸いに存じます。

平成13年9月

岩手県工業技術センター所長 河野 隆年

目 次

総括	
- 1 沿革	1
- 2 規模	2
- 3 組織及び業務	3
- 4 職員	
(1) 職員現員表	4
(2) 職員一覧表	4
(3) 職員の異動	6
- 5 業務実績総括表	7
- 6 歳入歳出予算	8
- 7 表彰	10
- 8 学位取得	10
- 9 職員の研修派遣	10
研究業務	
- 1 試験研究テーマ一覧	11
- 2 試験研究の概要	13
- 3 企業との共同研究	24
- 4 成果の公表	
(1) 口頭発表	25
(2) 誌上発表	28
(3) 特許	29
支援業務	
- 1 各部における技術支援の概要	30
- 2 現地対応技術支援実績	
(1) 技術アドバイザー派遣	37
(2) 技術アドバイザー登録者名簿	38
- 3 講習会	
(1) 国庫補助事業	41
(2) 県単独事業	42
(3) 中小企業事業団	43
- 4 派遣	
(1) 講師	44
(2) 審査員	47
(3) 委員	48
(4) その他の会議	53
- 5 移動工業技術相談	61
試験・設備利用業務	
- 1 依頼試験	62
- 2 設備利用	
(1) 設備貸付	63
(2) 機械器具貸付	63

人材養成業務	
- 1	技術パイオニア養成事業…………… 6 4
- 2	アドバンスO R T養成事業…………… 6 4
- 3	研修生の受入れ…………… 6 5
- 4	海外技術研修員の受入れ…………… 6 5
技術情報業務	
- 1	定期刊行物の発行…………… 6 6
- 2	技術情報のオンライン検索（JOIS）…………… 6 6
- 3	特許情報の提供…………… 6 6
- 4	知的所有権センター…………… 6 7
- 5	広報活動
(1)	研究発表会…………… 6 9
(2)	一般公開…………… 7 0
(3)	成果の新聞等への掲載…………… 7 3
(4)	所内見学者…………… 7 7
その他の業務	
- 1	工業技術連絡会議関連会議…………… 7 8
- 2	試験研究機関連絡会議…………… 8 1
他団体支援業務	
- 1	工業所有権制度の普及・発明くふう展…………… 8 2
- 2	（財）いわて産業振興センター支援業務…………… 8 3
- 3	技能検定…………… 8 4
- 4	研究会…………… 8 5
運營業務	
- 1	工業技術研究推進会議…………… 8 8
〔参考資料〕	
1	主要設備機器
(1)	日本自転車振興会補助事業…………… 8 9
(2)	国庫補助事業…………… 9 0
(3)	県単独事業…………… 9 4
2	工業所有権の出願状況…………… 9 7
3 - 1	事績顕著者表彰名簿（知事表彰）…………… 1 0 0
3 - 2	岩手県部局表彰…………… 1 0 0
4	職員の海外研修・海外調査…………… 1 0 1
5	海外発表…………… 1 0 2
6	平成12年度主要行事・特記事項等一覧表…………… 1 0 3

総括

- 1 沿革

明治 6年	岩手県勸業試験所（その組織は農工両試験場を兼ねた）として創立。
明治 9年	機業場を設置。（伝習生を採用し、各種織物の指導並びに製作業務）
明治 24年	物産陳列所創立。（商品の改良並びに販路拡張等営業者の指導業務）
明治 34年	機業場を染織講習所と改め、試験研究を従とし、生徒の養成を主とする。
大正 4年	染織試験場と改めて、生徒養成の目的を変更し、これを従とし、研究指導本位に復す。
大正 10年	染織試験場を「岩手県工業試験場」と改称し、染織／金工／木工／図案／応用化学の5部制の総合試験場として発足。また、物産陳列所を商品陳列所と改称（農商務省令商品陳列所規則改正による）。
大正 12年	盛岡市内丸に庁舎新築（本県のコンクリート近代建築第1号の本館と工場2棟）
大正 14年	岩手県工業試験場と岩手県商品陳列所が統合し、岩手県商工館と改称するとともに、図案部及び応用化学部廃止。
昭和 8年	商品陳列所と分離、再び岩手県試験場と称し、図案部を復活。
昭和 10年	応用化学部を復活。
昭和 12年	分場として花巻窯業試験所を設置。
昭和 18年	岩手県工業指導所と改称し、指導部／研究部の2部制とし、研究部に金工科／木工科／資源科を設置。花巻窯業試験所は廃止。
昭和 21年	図案部を復活、庶務／金工／木工／図案／応用化学／工業相談の6部制。
昭和 23年	繊維工業部（旧染織部）を復活。また、図案部を企画部にする。農村工業部を新設。
昭和 25年	応用化学部を資源部に、企画部を経営研究部に改称。工業意匠部を新設（経営研究部の図案部門を分離）農村工業部廃止（農村工業指導所新設）
昭和 27年	醸造部を新設し8部制となる。
昭和 36年	金工／木工／資源／工業意匠の各部を、それぞれ機械金属／木材工芸／応用化学／産業意匠の各部に改称。
昭和 41年	醸造部が分離独立し、紫波郡都南村（現盛岡市）津志田の新庁舎に移転し「岩手県醸造試験場」として発足する。
昭和 43年	紫波郡都南村（現盛岡市）津志田の新庁舎に移転し、岩手県工業試験場と改称。また、木材工芸部を木材工業部に、応用化学部を分析化学部にそれぞれ改称し、庶務／機械金属／木材工業／分析化学／繊維工業／産業意匠の6部制となる。
昭和 47年	水沢分室を水沢市羽田町字並柳に新築移転。
昭和 48年	岩手県醸造試験場を「岩手県醸造食品試験場」と改称。庶務部、醸造部、醗酵食品部の3部制となる。
昭和 49年	醸造食品試験場に保存食品部を新設し、4部制となる。隣接地に新館完成、岩手県工業試験場の特許相談係を廃止し、庶務係と改称。また企画情報係を新設。
昭和 50年	岩手県醸造食品試験場に、流通技術部を新設し、5部制となる。
昭和 51年	岩手県工業試験場の庶務部を管理部に、分析化学部を建築材料部と改称。また、繊維工業部と産業意匠部を統合し、特産工業部を新設、5部制となる。
昭和 54年	岩手県工業試験場の建築材料部を化学部と改称。
昭和 59年	岩手県醸造食品試験場の、保存食品部と流通技術部を統合し、保存流通部を新設し、4部制となる。
昭和 63年	岩手県工業技術センター基本計画策定。
平成 5年	岩手県工業試験場、岩手県醸造食品試験場が、盛岡市飯岡新田の新庁舎（現岩手県工業技術センター）に移転する。
平成 6年	岩手県工業試験場、岩手県醸造食品試験場の両試験場が統合し、「岩手県工業技術センター」として発足する。総務／企画情報／電子機械／木工特産／金属材料／化学／応用生物／醸造技術／食品開発の9部制となる。岩手県立産業デザインセンターが併設され、総務部及び木工特産部の全職員が兼務発令される。
平成 8年	知的所有権センター設置。

- 2 規 模

(1) 岩手県工業技術センター (岩手県立産業デザインセンターを含む)

(盛岡市飯岡新田3-35-2 〒020-0852 TEL 019-635-1115、 FAX 019-635-0311)

敷地面積 81,736.70m² 延床面積 15,866.20m²

(単位 : m²)

建 物 名	建築面積	床 面 積						備 考
		地 1 階	1 階	2 階	3 階	塔 屋	計	
本 館 棟	4,536.66	524.38	3,823.88	2,994.17	2,628.98	64.32	10,035.73	鉄筋コンクリート造
接 続 廊 下 A			142.72				142.72	〃
B			145.84				145.84	〃
醸造・食品加工実験棟	1,559.89	40.35	1,429.95	93.82			1,564.12	〃
特産工業実験棟	1,589.66		1,464.07	67.90			1,531.97	〃
工業材料実験棟	1,410.37		1,291.05	53.35			1,344.40	〃
電子機械実験棟	967.45		886.35	102.50			988.85	〃
車 庫 棟	81.20		81.20				81.20	鉄骨造
P C B 保 管 庫	4.12		4.12				4.12	〃
ガ ス ボ ン ベ 庫	6.00		6.00				6.00	鉄筋コンクリート造
P H 処 置 槽	21.25		21.25				21.25	〃
計	10,176.60	564.73	9,296.43	3,311.74	2,628.98	64.32	15,866.20	

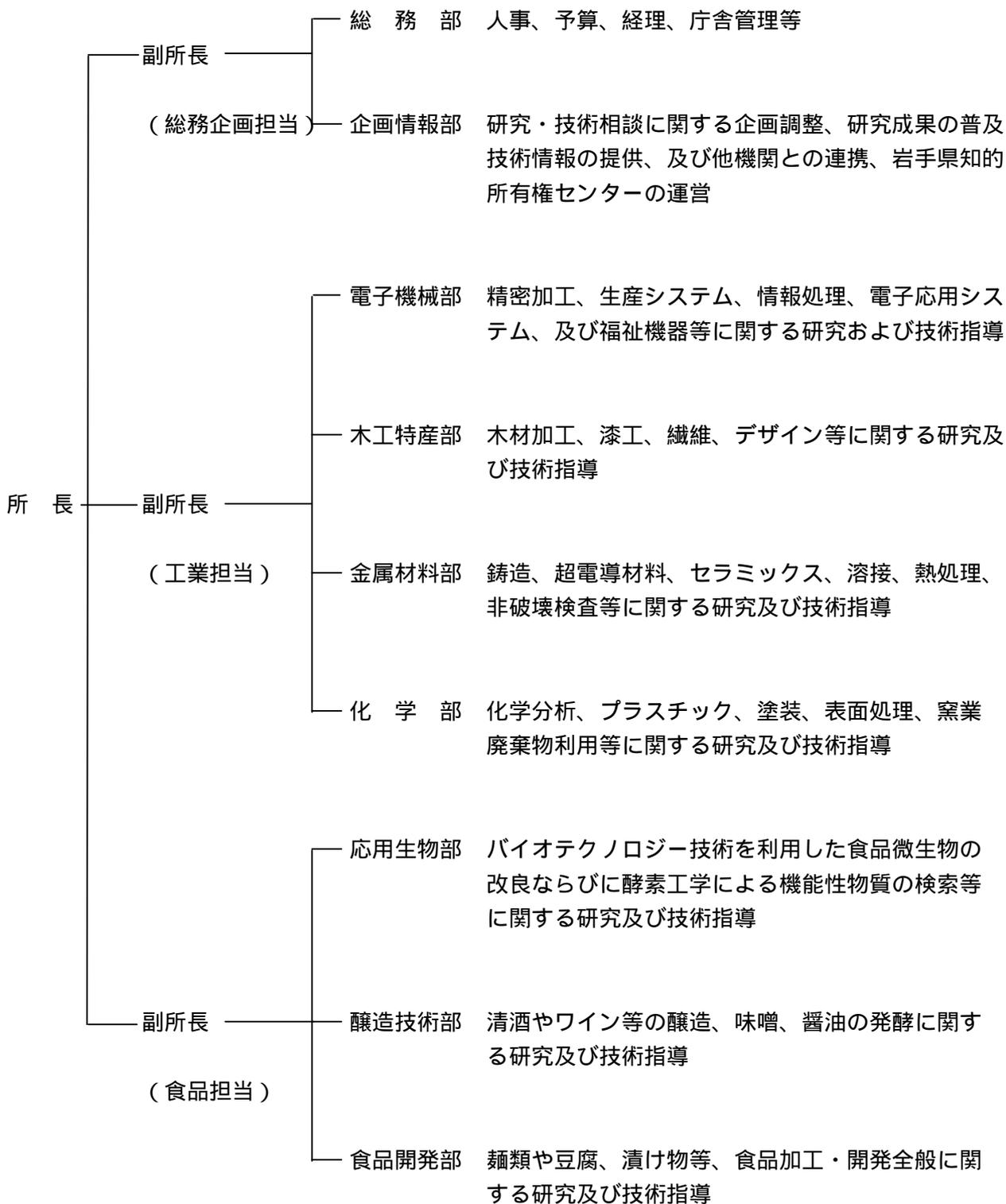
(2) 水沢分室

(水沢市羽田町字並柳16-2 〒023-0132 TEL 0197-23-5717)

敷地面積 595.21m² 延床面積 317.99m²

建 物 名	建 築 面 積	床 面 積	備 考
本 館	317.99	317.99	コンクリートブロック造

- 3 組織及び業務



I-4 職員

(1) 職員現員表

区分	行政職					研究職							技能職		計
	所長	副所長	部長	主任	主事	副所長	研究員兼部長 首席専門研 究員	部長	上席専門研究員	主任専門研究員	専門研究員	技師	主任技能員	技能員	
所長	1														1
副所長		1				2									3
総務部			1	1	4									1	7
企画情報部				1				1	2	3					7
電子機械部								1	2	4	1				8
木工特産部							1		4	1	2		1		9
金属材料部							1		3	3	2				9
化学部							1		3	3	1	1			9
応用生物部							1			1	3				5
醸造技術部								1		3	1				5
食品開発部							1		2	2					5
水沢分室									(1)						(1)
計	1	1	1	2	4	2	5	3	16 (1)	20	10	1	1	1	68 (1)

()は兼務

(2) 職員一覧表

H13.3.31

内部組織	職名	氏名	内部組織	職名	氏名
	所長	鈴木 清紀	総務部	運転技師兼ボイラー技師	中鉢 武志
	副所長(総務企画)	菊池 毅逸		企画情報部	企画情報部長
	" (工業)	河野 隆年	上席専門研究員		山本 忠
" (食品)	川村 杉生	"	佐々木 英幸		
総務部	総務部長	高越 文雄	主任専門研究員		富手 壮一
	主任	吉田 幸子	"		池 浩之
	主事	藤井 秀一	"		和合 健
	"	佐々木 博昭			
	"	照井 康子			
"	阿部 洋				

内部組織	職名	氏名
電子機械部	電子機械部長	南 幅 留 男
	上席専門研究員	若 槻 正 明
	〃	藤 澤 充
	主任専門研究員	泉 田 福 典
	〃	長谷川 辰雄
	〃	大 坊 真 洋
	〃	堀 田 昌 宏
	専門研究員	飯 村 崇
木工特産部	首席専門研究員兼 木工特産部長	多 田 三 郎
	上席専門研究員	大 和 進
	〃	高 橋 民 雄
	〃	町 田 俊 一
	〃	浪 崎 安 治
	主任専門研究員	有 賀 康 弘
	専門研究員	小 林 正 信
	〃	長 嶋 宏 之
主任技能員	久 慈 省 一 郎	
金属材料部	首席専門研究員兼 金属材料部長	川 原 正 弘
	上席専門研究員	高 橋 幾 久 雄
	〃	米 倉 勇 雄
	〃	勝 負 澤 善 行
	主任専門研究員	鎌 田 公 一
	〃	茨 島 明
	〃	桑 島 孝 幸
	専門研究員	齋 藤 貴
〃	高 川 貫 仁	

内部組織	職名	氏名
化 学 部	首席専門研究員兼 化学部長	大 内 康 弘
	上席専門研究員	小 向 隆 志
	〃	佐 々 木 陽
	〃	瀬 川 晃 児
	主任専門研究員	穴 沢 靖
	〃	佐 々 木 秀 幸
	〃	鈴 木 一 孝
	専門研究員	今 井 潤
	技 師	藤 原 智 徳
応用生物部	首席専門研究員兼 応用生物部長	大 澤 純 也
	主任研究員	小 浜 恵 子
	専門研究員	岸 敦
	〃	伊 藤 良 仁
	〃	平 野 高 広
	〃	〃
醸造技術部	醸造技術部長	櫻 井 廣
	主任専門研究員	中 山 繁 喜
	〃	畑 山 誠
	〃	米 倉 裕 一
	専門研究員	高 橋 亨
食品開発部	首席専門研究員兼 食品開発部長	荒 川 善 行
	上席専門研究員	遠 山 良
	〃	関 村 照 吉
	主任専門研究員	笹 島 正 彦
	〃	武 山 進 一
水沢分室	分室主任	米 倉 勇 雄

(3) 職員の移動

内部組織	職名	氏名	発令年月日	内容	旧所属・異動先等
	所長	鈴木清紀	H12.4.1	兼務	商工労働観光部長
総務部	部長	高越文雄	"	転入	北上地方振興局土木部
"	主事	佐々木博昭	"	"	広聴広報課
"	"	照井康子	"	"	出納局総務課
電子機械部	主任専門研究員	泉田福典	"	"	産業技術短期大学校
化学部	主任専門研究員	今井潤	H12.9.1	採用	岩手大学
	所長	太田原功	H12.4.1	転出	県立大学宮古短期大学校
総務部	主任	菊地健治	H12.4.1	"	産業技術短期大学校
"	主事	菅原久美	"	"	商政課
電子機械部	主任専門研究員	熊谷隆美	"	"	産業技術短期大学校
化学部	専門研究員	酒井晃二	H12.7.14	"	公害センター
	副所長	川村杉生	H13.3.31	退職	
木工特産部	首席専門研究員兼部長	多田三郎	"	"	
金属材料部	"	川原正弘	"	"	
化学部	"	大内康弘	"	"	
食品開発部	"	荒川善行	"	"	

-6 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	内 容
8款 使用料及び手数料	14,012	電波暗室・電柱敷地・電気使用料・依頼試験手数料
9款 国庫支出金	203,894	国庫補助金・国庫委託金
10款 財産収入	7,494	機械器具貸付収入・生産物売払収入
13款 諸収入	25,127	白紙単独興云補助金・委託事業収入・技術ハイカラー養成事業収入・ 社会保険料納付金収入・アドバイザー企業負担金・国庫講習会企業負担金
計	250,527	

(歳出)

7款1項7目(工業技術センター費)

(単位：千円)

科 目 (節)	一 般 行 政 経 費				主要経費	計
	管理運営費	試験研究費	指導事務費	(小計)	(主要研究事業費)	
02 給与	303,138	0	0	303,138	0	303,138
03 職員手当	186,124	0	0	186,124	0	186,124
04 共済費	95,297	0	280	95,577	1,708	97,285
07 賃金	1,800	1,653	1,800	5,253	13,960	19,213
08 報償費	0	385	464	849	2,593	3,442
09 旅費	536	4,500	3,186	8,222	14,816	23,038
11 需用費	72,833	13,356	5,828	92,017	33,837	125,854
12 役務費	451	400	1,975	2,826	396	3,222
13 委託料	55,231	12,081	2,242	69,554	32,066	101,620
14 使用料及び賃借料	15,652	285	200	16,137	114	16,251
15 工事請負費	0	0	0	0	0	0
16 原材料費	0	2,245	0	2,245	11,261	13,506
18 備品購入費	0	2,990	0	2,990	361,636	364,626
19 負担金、補助金及び交付金	9	996	305	1,310	0	1,310
27 公課費	73	0	0	73	68	141
計	731,144	38,891	16,280	786,315	472,455	1,258,770

(注) 1 上記は、平成12年度2月現計予算額であり、決算額とは若干の相違がある。

(歳出予算事業別内訳)

事業名		予算額(千円)	事業内容
一般行政経費	管理運営費	731,144	職員人経費、光熱水費、庁舎管理委託料ほか
	試験研究費	38,891	試験器機保守点検料、試験器機修理費ほか
	指導事務費	16,280	技術アドバイザー事業等国庫補助事業ほか
	(小計)	786,315	
主要経費	公設試共同研究推進事業	123,848	複数の公設試研究機関が共同して、先端技術に関する研究に取り組む
	特定産業集積活性化関連支援強化事業	263,641	施設整備、研究機関、人材育成、交流連携を図る
	地域先端技術等共同研究開発促進事業	4,007	畜産未利用資源から調味料原料の旨味成分等を検索・抽出し製品化を図る
	研究機関共同研究推進事業	5,274	県の試験研究機関との共同研究
	福祉機器開発事業	4,907	安価で使いやすい福祉機器・用具の開発
	環境にやさしい機能性新素材利用事業	8,923	籾殻等を使用した、生分解プラスチックの開発
	高温超電導体試作開発事業	2,777	超電導材料の応用化及び大型化技術の開発
	技術パイオニア養成事業	3,835	中小企業の人材育成のための受入研修事業
	県産吟醸酒商品化研究推進事業*	3,182	県産オリジナル原料による、吟醸酒開発及び商品化
	設備整備費	44,972	試験研究設備購入(自転車振興会)
	フードシステム高度化対策事業	5,824	小型高温高圧調理装置を使用した雑穀商品の開発
	新食品素材活用研究事業	1,265	新食品素材の酒造適正評価
	(小計)	472,455	
合計		1,258,770	

(注) 1 上記は平成13年度2月現計予算であり、決算額とは若干相違がある。

2 は国庫補助事業

3 *は受託事業

- 7 表 彰

表彰区分	部名	事績の概要	受賞日	
岩手県職員表彰 (事績顕著者)	醸造技術部	オリジナル酒造好適米水稻品種「吟きんが」を開発し本県農業及び地場産業の振興に貢献した。 (岩手県農業研究センターとの共同表彰)	H12.10.30	
表彰区分	職名	氏名	事績の概要	受賞日
岩手県部局長表彰	主任専門研究員 電子機械部長 上席専門研究員 主任専門研究員 産業技術短期大学校講師	大坊 真 洋 南 幅 留 男 藤 沢 充 長谷川辰雄 熊 谷 隆 美	立体映像のホログラムで被写体内部を撮影できるCT装置システムなどを開発し、本県の産業振興に貢献した。	H12.12.18

- 8 学位取得

学位区分	学位取得者		取得年月日	学位論文タイトル
	職名	氏名		
工学博士 (山梨大学大学院工学研究科)	専門研究員	平野 高 広	H12.9.30	Thiobacillus thiooxidans の無機硫黄化合物代謝経路の解明とその環境保全への応用

- 9 職員の研修派遣

研修名	期間	派遣場所	所属・役職・氏名
中小企業大学校中小企業技術指導員養成課程6カ月コース	11.24 ~12.21	中小企業大学校東京校	食品開発部 上席専門研究員 関村照吉
中小企業大学校中小企業技術指導員養成課程1ヶ月コース 新材料	7.26 ~8.6	中小企業大学校東京校	金属材料部 主任専門研究員 齊藤 貴
中小企業大学校中小企業技術指導員養成課程10日間コース 研究開発リーダー研修	4.19 ~4.23	中小企業大学校東京校	電子機械部 主任専門研究員 長谷川辰雄
中小企業支援担当者研修課程 1週間コース	4.19 ~4.23	中小企業大学校東京校	企画情報部 主任専門研究員 和合 健
中小企業支援担当者研修課程 3日間コース	10.13 ~10.15	中小企業大学校東京校	化学部 上席専門研究員 小向隆志
JOIS研修研修会(入門コース) (主催:科学技術振興事業団)	6.6	科学技術振興事業団東京支所	企画情報部 主任専門研究員 和合 健
工業所有権研修JOIS(STN)講習会 (主催:科学技術振興事業団)	6.19~ 6.23	通商産業省 通商産業研修所	企画情報部 主任専門研究員 和合 健
活性化担当者研修 (主催:(財)中小企業総合研究機構)	12.5~ 12.7	中小企業大学校東京校	企画情報部 上席専門研究員 佐々木英幸

研究業務

- 1 試験研究テーマ一覧

番号	テーマ名	事業名	事業年度		担当部	番号
1	アクティブセンシングによる非破壊検査システムの開発	公設試共同研究推進事業	11 ~ 14	国庫		1
2	工具摩耗自動補正機能を持つオープンCNCシステムの開発		12 ~ 14	国庫		2
3	次世代クリエイティブソリューションシステムの研究		12 ~ 14	国庫		3
4	超精密加工技術の開発	特定産業集積活性化関連機関支援強化事業 - 研究開発事業	11 ~ 14	国庫		4
5	持ち回り測定による三次元測定機の誤差評価	特定産業集積活性化関連機関支援強化事業 - 交流連携促進事業	10 ~ 12	国庫		5
6	SQUID応用計測システムの開発	地域結集型共同研究事業	11 ~ 15	受託		6
7	立体像書き込みによる工芸品の高付加価値化	研究機関共同研究推進事業	11 ~ 12	県単	(電機)	7
8	研削砥石表面状態の定量的評価法の確立	基盤的・先導的研究事業	12	県単		8
9	無線を利用した乗車人数計測システムの開発	アドバンスORT事業	12	国庫		9
10	研削加工の超精密化		12	国庫		10
11	コンピュータ利用による生産技術のシステム化	ORT事業	12	県単		11
12	半導体搬送ロボットの開発		12	県単		12
13	人体形状スキャナシステムの開発		12	県単		13
14	高精度モールド菌重製造技術の開発		12	県単		14
15	パソコン機器制御およびプログラミング	海外研修：JICA	12	委託		15
16	人に優しい福祉機器の開発	福祉機器開発事業	11 ~ 14	県単	福祉部	16
17	ウルシ材の利用活用	研究機関共同研究推進事業	11 ~ 12	県単	(木特)	17
18	漆液及び塗膜評価技術の確立	12 ~ 14	県単	18		
19	繊維製品の形態安定と機能性向上に関する研究	基盤的・先導的研究事業	12	県単		19
20	学校用家具の開発	基盤的・先導的研究事業	12	県単		20
21	CAD、光造形装置、三次元スキャナを用いるリバースエンジニアリング	アドバンスORT研修	12	国庫		21
22	廃棄貝殻による銑鉄用等からの脱リン	公設試共同研究推進事業	11 ~ 13	国庫		22
23	複合ADIの高度化	特定産業集積活性化関連機関支援強化事業 - 研究開発事業	10 ~ 13	国庫		23
24	軽希土類系酸化物超電導バルク材料の接合技術の開発	高温超電導体試作開発事業	10 ~ 14	県単		24
25	焼型鑄造法の技術的解析とその改良	基盤的・先導的研究事業	12	県単	(金材)	25
26	レーザーを用いた高エネルギー密度加工技術の研究		12	県単		26
27	金型鑄造による銑鉄製品の開発	12	県単	27		
28	小物金属部品のレーザー溶接	アドバンスORT研修	12	国庫		28
29	オーステンパ熱処理技術の高度化	ORT事業	12	国庫		29
30	ダイヤモンドライクカーボン(DLC)についての評価、応用、開発		12	県単	30	
31	溶射による表面改質技術に関する研究		12	県単	31	
32	ダイヤモンドコアドリルの開発		12	県単	32	
33	Al-Cu系合金の機械的性質の研究	12	県単		33	
34	廃プラスチックの再利用技術に関する研究	公設試共同研究推進事業	10 ~ 13	国庫		34
35	有機超薄膜による金属の防蝕技術	特定産業集積活性化関連機関支援強化事業 - 研究開発事業	9 ~ 13	国庫		35
36	磁気利用による有機めっき法における膜制御技術の開発	地域結集型共同研究事業	11 ~ 15	受託		36
37	低温環境下における水系塗料の塗膜性能に関する研究	基盤的・先導的研究事業	12	県単	(化学)	37
38	トリアジンチオール利用分野開発		12	県単		38
39	木材の炭化に及ぼす金属塩の影響		12	県単		39
40	木質系建設廃材の処理と再資源化に関する研究	12	県単		40	
41	県産粘土鉱物を原料とした新たな機能材料の開発	12	県単		41	
42	表面改質技術	アドバンスORT研修	12	国庫		42
43	表面分析技術		12	国庫		43
44	天然物を利用した生分解性素材の開発	環境に優しい機能性新素材利用事業	11 ~ 15	県単	(応生) (化学)	44
45	雑穀の機能解明による利用技術の開発	11 ~ 12	県単		45	
46	寒冷地生物資源の利用に関する研究	公設試共同研究推進事業	11 ~ 13	国庫		46
47	畜産未利用資源からの有用成分の抽出	地域先端技術等共同研究開発促進事業	8 ~ 13	国庫	(応生)	47
48	新規醸造酵母育種法の開発	基盤的・先導的研究事業	12	県単		48
49	アマランサス由来食用天然色素の開発	12	県単	49		
50	岩手県産大豆の加工特性について	県産畑作物生産振興対策事業	9 ~ 16	受託		50
51	岩手県産小麦の加工特性について		9 ~ 16	受託		51
52	小型高温高圧調理器による雑穀利用食品の製造	フードシステム高度化対策事業	12	国庫	(食開)	52
53	食品加工副産物の低減化・利用技術開発	基盤的・先導的研究事業	12	県単		53
54	県産雑穀の物性向上	基盤的・先導的研究事業	12	県単		54
55	岩手県産酒造好適米育種系統の酒造適性評価	県産吟醸酒商品化研究推進事業	11 ~ 13	一部		55
56	交雑法による吟醸酵母育種開発			受託		56
57	各種センサを使った酒質評価			受託		57
58	ヤマブドウの成分分析及び新商品開発に関する研究	研究機関共同研究推進事業	12 ~ 14	県単	(醸造)	58
59	新規形質米の酒造適性の評価	新食品素材活用研究事業	10 ~ 12	受託		59
60	優良清酒・ワイン酵母の育種選抜	基盤的・先導的研究事業	12	県単		60
61	あたらしい醤油醸造法の開発	基盤的・先導的研究事業	12	県単		61

担当者	他の協力機関など	担当部
泉田福典、大防真洋		(電機)
若槻正明、堀田昌宏、飯村崇細田俊英		
長谷川辰雄、中村吉信、大崎満弘、土井章男、南幅留男		
堀田昌宏、飯村崇、南幅留男		
和合健		
大坊真洋、泉田福典、小高正、志子田 有光		
大坊真洋		
飯村崇		
泉田福典	(有)エグゼキュートシステム	
飯村崇	(株)東北パワープロジェクト	
若槻正明、行方学	(株)小林精機	
長谷川辰雄、大崎満弘	(有)ヒロ	
長谷川辰雄、中村吉信	(株)でん	
和合健	(株)ニュートン	
Wakatsuki Masaaki, Milton Bastos de Souza		福祉ブレイク
藤澤 充、長嶋宏之		
町田俊一		(木特)
浪崎安治・有賀康弘・高橋民雄・飯村崇		
大和進		
有賀康弘、浪崎安治、高橋民雄		
長嶋 宏之、千葉 征治、町田 俊一、小林 正信	(株)モディー	
高川貴仁、勝負澤善行、茨島明、池浩之		(金材)
茨島明、勝負澤善行、池浩之、高川貴仁		
齋藤貴、鎌田公一、飯田和昌、吉岡順子、坂井直道、村上雅人		
米倉勇雄、高川貴仁、瀬川晃児		
高橋幾久雄、桑嶋孝幸、岩手県接合技術研究会	岩手県接合技術研究会	
川原正弘		
桑嶋孝幸、高橋幾久雄	リコー光学(株)	
勝負澤善行、茨島明、高川貴仁、池浩之、(岩手鑄機)中村直次、昆野武晴	岩手鑄機工業(株)	
鎌田公一、齋藤 貴、小池龍太(シチズン時計(株)上尾分室)	シチズン時計(株)	
桑嶋孝幸、高橋幾久雄、小浜恵子、平野高広 (釜石電機(株))太田利夫 田端亮	(株)釜石電機製作所	
茨島明、池浩之、勝負澤善行、高川貴仁、(ユニカ(株))赤石晃、今井純二	ユニカ(株)岩手工場	
勝負澤善行、茨島明、高川貴仁、池浩之(横河電子機器(株))本山勝見	横河電子機器(株)	
佐々木秀幸、酒井、藤原大沼、下冢、熊谷、谷藤		
鈴木一孝		(化学)
鈴木一孝、森邦夫		
穴沢靖		
小向隆志		
佐々木陽		
藤原智徳、佐々木、小向		
瀬川晃児		
伊藤乃、鈴木一孝	竹内真空被膜(株) (株)スベック	
杉沢薫、千葉大輔、小原卓也、鈴木一孝	(株)後藤製作所	
平野、酒井、山本、大澤		(応生)
小浜、大澤、西澤		(化学)
岸、大澤		(応生)
伊藤、岸、小浜、平野、大澤		
小浜、平野、伊藤、山本、櫻井、大澤		
伊藤、小浜、平野、岸、大澤		
伊藤、平野、岸、小浜、大澤		
関村照吉、笹島正彦		(食開)
笹島正彦、武山進一、関村照吉、遠山 良、荒川善行		
遠山 良、笹島正彦、武山進一、関村照吉、荒川善行		
武山進一、遠山 良、荒川善行		(醸造)
高橋亨、中山繁喜、畑山誠、米倉裕一、桜井廣		
米倉裕一、高橋亨、桜井廣		
中山繁喜、桜井廣		
米倉裕一、平野高広、泉憲裕、作山健、桜井廣		
高橋亨、桜井廣		
米倉裕一、平野高広、桜井廣		
畑山誠、桜井廣		

- 2 試験研究の概要

1 工具自動補正機能を持つオープン CNC システムの開発

電子機械部 若槻 正明、堀田 昌宏、飯村 崇
(株)小林精機 細田 俊英

摩耗した工具の刃先後退量を定量化し、工具摩耗による加工誤差との相関関係を確立できれば工具摩耗の自動補正をシステム化することが可能となる。本研究では、レーザー変位計を使用し摩耗工具の刃先形状の測定を行い、摩耗計測の可能性と刃先後退量と加工誤差との相関を調べた結果について報告する。

2 高速ネットワークによる生産工程の分散化

電子機械部 長谷川 辰雄
(株)でん 中村 吉信
(有)ヒロ 大崎 満弘
岩手県立大学ソフトウェア情報学部 土井 章男
電子機械部 南幅 留男

機械部品や電子機器の製造工程では、複雑形状、高品質、低コスト化が求められている。本論文では、各工程を分散ネットワーク接続し、情報を共有化することで時間短縮を実現するシステムを提案している。部品図面や試験結果の共有化、工程管理の一元化が可能となり、迅速な意志決定が可能となった。本システムは、県内企業 2 社及び大学との共同研究により、設計工程として「構造解析シミュレーションの開発」、計測工程として簡易的な「3次元計測器の開発」、加工工程として円筒座標系ロボットによる「3次元切削加工装置の開発」で構成されている。

3 超精密切削環境における表面品位への影響

電子機械部 堀田 昌宏、飯村 崇
南幅 留男

超精密切削加工において、切削環境を変化させたことで影響される被削材の表面粗さについて検討を行った。その結果、面粗さには切削液の潤滑効果による影響が大

きいことが判った。このため、超精密切削加工においては、加工液の種類と供給方法について十分に吟味する必要がある。

4 レーザースクイド顕微鏡による半導体の評価

電子機械部 大坊 真洋、泉田 福典
(株)アオバサイエンス 小高 正
岩手医科大学教養部 志子田 有光

収束したレーザービームによって誘発される磁場を画像化する原理のレーザー-SQUID 顕微鏡を製作した。我々のシステムは半導体レーザー、高温超伝導 SQUID マグネットメータ、 piezo 駆動による非磁性セラミクス XY ステージ、ロックインアンプ、ビデオシステム、二重磁気シールド (厚アルミ+パーマロイ) から構成される。厚さ 20mm のアルミ磁気シールド中でマグネットメータが動作可能であった。パーマロイを追加することによる効果は、150Hz で -20dB であった。単結晶シリコンの p-n 接合部の端部で最大の光磁場 B_z (2pT) が計測された。このシステムでは、最小分解能はレーザーのスポットサイズで決定されるので、従来の SQUID 顕微鏡よりも大幅に高い空間分解能で、室温の半導体試料を計測できる。レーザ SQUID 顕微鏡は、非侵襲、非接触で半導体の計測ができるので、新しい評価装置となる可能性がある。

5 研削砥石表面状態の定量評価

電子機械部 飯村 崇、若槻 正明、堀田 昌宏
南幅 留男

研削加工は金型加工を中心とした精密加工には欠かせない加工技術である。そして、砥石の切れ味を管理するために、現状では加工音や加工物の表面状態などを元にした判断を行っている。しかし、これらの方法では、確認のため一度加工を行う必要があり、加工不良の原因となる。そこで、砥石表面の観察から加工状況が予測可能な測定システムの構築を検討した。レーザーを砥石表面に照射し反射光の強度を測定する方法を用いている。この方法で粒度の粗い砥石から細かい砥石まで砥石表面状況の評価が可能であることを確認した。

6 廃棄貝殻による鋳鉄溶湯からの脱リン

金属材料部 高川 貫仁、勝負澤 善行、茨島 明
企画情報部 池 浩之

廃棄貝殻による鋳鉄溶湯からの脱リン効果を、高周波溶解炉を用いて検討した。その結果、貝殻と溶湯酸化剤の添加により、鋳鉄溶湯中のリン含有量が徐々に減少した。また、リンはシリコンがほとんど酸化除去されてから大きく減少した。

7 オーステンパ球状黒鉛鋳鉄製木工刃物の開発

金属材料部 茨島 明、勝負澤 善行、高川 貫仁
企画情報部 池 浩之

ベルカッターと呼ばれる旋削用の木工刃物を ADI により製作し、その性能を樹脂切削試験により既存の鋼製刃物と比較した。その結果、製作した ADI 製ベルカッターは 45HRC の硬さを有しており、木工刃物として使用することが明らかとなった。また、切削速度 240m/min における被削材の加工表面粗さは ADI 製刃物と存の鋼製刃物とでほぼ同じ値を示した。

8 レーザを用いた高エネルギー密度加工技術の研究

- 溶接部の品質に及ぼすレーザ溶接条件 -

金属材料部 高橋 幾久雄、桑嶋 孝幸
岩手県接合技術研究会

板厚 1.0~3.0mm 厚さのステンレス鋼を供試材に、YAG レーザ装置を用いて、Ar 及び N₂ ガスシールドで溶接を行い、溶接部の品質に及ぼす溶接条件を検討した。

シールドガスに Ar を用いると 0.2~0.4mm のブローホールが発生し易いが、N₂ を用いるとブローホールの発生は認められない。パルス溶接は CW (連続) 溶接に比べてビード幅は狭い。溶接部の引っ張り強さは母材と同等である。TIG 溶接と比較すると、ビード幅は約半分、溶接変形防止に有効である。等の結論を得た。

9 錫浴法によるオーステンパ球状黒鉛鋳鉄製造での錫付着防止

金属材料部 勝負澤 善行、茨島 明、高川 貫仁
企画情報部 池 浩之
岩手鋳機工業(株) 中村 直次、昆野 武晴

錫浴法によるオーステンパ球状黒鉛鋳鉄(ADI)鋳物の製造において、鋳物への錫付着防止が不完全であり問題となっている。ここでは錫付着防止及び除去技術について、(1)被覆法、(2)錫浴と大気炉併用により錫を熔融除去する方法、(3)錫浴による熱処理終了直後に瞬間水冷を行い錫を除去する方法 等を考案し検討を行った。

その結果、次のことが分かった。(1)被覆法では、カオリンを塗布した場合、錫付着を防止することができる(2)大気炉併用法での錫熔融除去は効果的であり、錫付着はほとんど無い。また、ADI の一般的な機械的性質を得るためには、錫浴での保持時間を 20 分以上とし、大気炉での保持時間は 10min 以下とすることが必要性である。(3)瞬間水冷法は、非常に簡単な方法で錫を脱落でき、ADI の機械的性質にも大きな影響が無い。

10 TiO₂ 溶射皮膜性状に及ぼす溶射条件の影響

金属材料部 桑嶋 孝幸 高橋 幾久雄
応用生物部 小浜 恵子 平野 高広
(株)釜石電機製作所 太田 利夫 田端 亮一

アナターゼ型の TiO₂ をプラズマ溶射装置と高速フレーム溶射装置を使って PET 基材上に溶射を行い、溶射条件の皮膜性状に及ぼす影響を調べた。皮膜表面は SEM による観察を行った。アナターゼ型 TiO₂ からルチル型 TiO₂ への転移は X 線回折装置により測定を行った。その結果、(1)皮膜中のアナターゼ残存率は、プラズマ溶射よりも高速フレーム溶射の方が高かった。(2)皮膜中のアナターゼ量は、溶射距離が長くなるに従って、減少する傾向が認められた。などの知見を得た。

11 廃プラスチックの再利用技術に関する研究

化学部 佐々木 秀幸
岩手県環境保健研究センター 酒井 晃二
岩手大学工学部建設環境工学科 藤原 忠司
岩手建工(株) 大沼 一人、下家 正治、熊谷 仁志

高弥環境整備(株) 谷藤 真一

廃プラスチックを再利用する方法として舗装体の凍上抑制用路盤材およびアスファルト混合物の改質材に利用する工法を研究した。実舗装試験を行ったところ両工法ともに従来同様の作業で可能であり、路床の凍上を抑制しつつ支持力が得られる工法及び安価に改質アスファルトに近い物性を発揮できるアスファルト混合物が得られる工法が提案できた。

12 トリアジンチオール の Cr 表面への蒸着構造

化学部 鈴木 一孝

竹内真空被膜株式会社 川村 智

鉄基板に蒸着した金属 Cr 表面へトリアジンチオールを真空蒸着した薄膜を作製した。蒸着 Cr 表面の大気放置時間によって変化する酸化表面に形成するトリアジンチオールを XPS によって検討し、その蒸着構造を明らかにした。

13 硫化水素型合成温泉水処理による木材の化学修飾 (第一報)

化学部 佐々木 陽

(株)ニュートン 久保田 史

岩手大学工学部応用分子科 成田 榮一

- 1) C(1s)をガウス式によりピーク分割したばあい、前処理を行うことでC1の比率が減少しC2の比率が増加することが確認された。このことより、硫酸水溶液、合成温泉水、蒸留水の順で木材表面が加水分解され、親水性をもつことがわかった。
- 2)合成温泉水で前処理された木材表面は加水分解され、親水性を持つため、アセチル化およびアリル化反応がすすむ。

14 低温環境下における水系塗料の塗膜性能に関する研究

化学部 穴沢 靖

冬期間の低温環境下においても安定した施工や乾燥のできる水系塗料の開発を目的に、県内で最も多く使用されている汎用水系塗料の付着性や耐久性等の塗膜性能に及ぼす温度の影響について、溶剤系塗料と比較を行いながら検討した。その結果、どちらの塗料においても温度の低下に伴い付着強度は低下するものの、その低下率に大きな差は見られなかった。しかし、-5 における塗料の造膜性において、溶剤系塗料では正常に造膜し大きな変化は見られなかったのに対し、水系塗料では著しい造膜不良(割れ、ちぢみ、肌荒れ等)が発生する結果が得られた。また、耐久性試験においても水系塗料では、特に0 以下で塗膜の割れや剥がれ、付着強度が著しく低下する等の塗膜欠陥が発生する結果が得られた。

15 雑穀種子タンパク質の性質と乳酸菌飲料への応用

応用生物部 小浜 恵子、大澤 純也

岩手大学農学部 西澤 直行

アワやキビなどHDL(善玉コレステロール)上昇効果を有する雑穀種子タンパク質の解析と利用方法を検討した。溶媒抽出法による試験から、全タンパク質の60~80%をプロラミン画分が占めており、Glx、Ala、Leuが高いポリペプチドとMet、Pro含量の高いポリペプチドで構成されることが明らかになった。タンパク質の利用法として乳酸菌で醗酵を試みたところ、供試菌株中では、*Streptococcus thermophilus* (IFO 13957)をスターターとした場合にpHが4以下まで低下し風味も優れており、新たな健康食品として有望であった。

16 寒冷地生物資源の利用に関する研究()

応用生物部 岸 敦、大澤 純也

本論文では、経験的に健康に良いとされている雑穀、海草などの県産食品の消費拡大と加工原料としての新規利用法の開発を目的に先端技術である超臨界抽出法を利用し、従来の抽出法では取り出せなかった有効成分の抽出を述べる。

即ち水を溶媒として常温常圧から超臨界状態までの様々な温度・圧力の条件による成分の抽出と抽出物の生理的機能性について検討した。

17 畜産未利用資源からの有用成分の抽出

応用生物部 伊藤 良仁
応用生物部 岸 敦、小浜 恵子、平野 高広
大澤 純也

畜肉加工において廃棄物とされている内臓などを原料とした調味液製造を検討している。前年度までに麹菌による内臓臭の軽減法、及びそれを酵素分解し調味液とする2段階の調製方法を開発し、実験室レベル(200ml/バッチ)での調整法を確立した。今回は20L/バッチの製造試験及び完成した調味液の成分分析およびソーセージへの添加試験を行い、セミプラントレベルでの製造工程を確立した。

18 小麦新奨励品種「ネバリゴシ」粉による製めん

食品開発部 関村 照吉、笹島 正彦

岩手県は、平成12年に低アミロース小麦で製めん適性が優れているとされている小麦の新品種「ネバリゴシ」(旧東北206号)を奨励品種とした。当センターでは、ネバリゴシ粉を用い既存のめんには無い特徴のあるめんができることを既に報告している。本年度は、温めて食べるうどんと冷たいまま食べるうどん、中華めん及び中華まんじゅうを製造して官能試験を実施した。また、製めん条件を検討した。その結果、温かいうどんではゆで伸びしやすく、色の評価は良くなかった。中華めんと中華まんじゅうでは評価の良否が分かれた。また、従来の製めん試験法はそのままでは適応することができないことが判った。

19 おからや醤油滓を使用したイカの肝臓の脱水法

食品開発部 遠山 良、笹島 正彦、武山 進一
関村 照吉、荒川 善行

陸前高田商工会では、数年前からイカの肝臓を調味したのちに乾燥した製品を「わたすみ」と称して、その特産品化に取り組んできた。その後は陸前高田地域振興(株)がその事業を引継ぎ事業を実施してきた。工業技術センターは効率的な製造方法について技術指導を依頼されて、現在開発中の冷風乾燥法についての意見を述べるとともに、凍結乾燥器を使用した方法について検討し

た。また、乾燥おからや醤油滓を使用した方法を新たに開発し、その可能性について検討してきた。その結果、乾燥おからや醤油滓を使用する方法は簡便で効率が良く、冷風乾燥よりも効率的に硬化状態まで脱水できることが分かった。

20 味覚センサを利用した清酒の分類

醸造技術部 中山 繁喜、櫻井 廣

味覚センサの測定値によって分類した清酒をきき酒し、官能評価との相関性を検討した。その結果、「甘さ」「旨味」「ドライ感」「柔らかさ」「味の調和」の5項目で官能評価と合致することが判った。今回、センサ測定値と官能評価項目が1対1で対応することが確認され、より信頼性の高い酒質予測が可能になると期待される。

21 次世代型水稻(西海242号、北陸188号)の酒造適性評価

醸造技術部 高橋 亨、桜井 廣

次世代型水稻の利用技術開発のため、西海242号、北陸188号について清酒醸造を目的とした適性評価を行った。西海242号は酒造用米としては千粒重が小さく初期吸水が遅いこと、また製成酒の酒質が対照のぎんおとめに劣ることから、醸造適性は低かった。一方、北陸188号も精米時の碎米が多いこと、もろみでの溶けが少なく、そのためアルコール取得率や粕歩合、酒質が対照より劣ることから、酒造適性が劣ることが明らかになった。

22 米粉末等を原料とする醤油の製造

醸造技術部 畑山 誠 桜井 廣

醤油粕の生成量を減少させることを目的とし、小麦の代わりに繊維分の少ない米粉末、小麦粉、麦汁を使用して醤油の製造を行った。その結果、代替原料を用いた醤油の粕は、小麦を原料とする醤油より少なかった。しかし、こうじむぎを用いた醤油よりは多かった。官能的には、米粉を原料としたものは果物様の軽い芳香があり、麦汁を原料としたものはビール様の香りがでた。そのため従来の醤油とはタイプの異なる醤油となった。

23 マイクロ波を用いた米の水分量測定

電子機械部 泉田 福典
電子機械部 大坊 真洋
八戸工業大学電気電子工学科 川又 憲

マイクロ波を利用した非破壊検査システムの開発を行っている。今回、タイムドメイン計測法により米の水分量とマイクロ波の吸収量との関係を調べた結果、高い相関関係を得ることができた。また、低い周波数を用いることで、より良い再現性が得られることが分かった。これらの結果から、マイクロ波を用いることで米などの水分量を非接触で測定できる可能性が示唆された。

24 レーザセンサを使用した工具摩耗計測装置の開発

電子機械部 若槻 正明
㈱小林精機 高橋 勉、相原 孝彦、細田 俊英
IMS 藤根 正美

レーザセンサを使用して摩耗した工具の刃先後退量を計測し、工具摩耗の自動補正が可能な計測装置の開発を行った。計測装置はCNC旋盤内へ取り付けのためコンパクトなものとし、計測結果をコンピュータ上でモニタリングできるものとした。

25 研削仕上げ加工技術の開発（第2報）

電子機械部 飯村 崇、若槻 正明、堀田 昌宏
南幅 留男

現在、機械加工業の海外シフトが進行し、国内で仕事を確保するためには「加工精度を高める」・「短納期化をはかる」・「複雑な加工をこなす」など、海外メーカーにはない独自の技術で、付加価値を高めることが必要となってきた。そこで、加工物の高付加価値化を計るため、金型材やその他の材種に対して鏡面を中心とした超精密研削加工技術の研究を行った。その結果、金型材における曲面の鏡面加工及び金型材以外の各種材料に対する鏡面研削加工が可能となった。

26 難削材の精密研削加工における効率化

電子機械部 飯村 崇
㈱東北パワージェクト 熊谷 和彦、玉川 公彦
中居 聡

研削加工において、より短時間で加工することを目的に次の内容について研究を行った。

1. 成形研削盤における難削材（SKD11）加工の効率化
2. 平面研削盤における難削材（超硬）加工の効率化

効率的な冷却と切粉の排出を目的としたスリット溝を有する新開発の砥石を使用した。従来砥石と加工比較を行ったところ、成形研削の場合、従来の4割の時間で加工出来た。また平面研削加工においても、従来砥石の3倍以上の切込量で加工が可能であり、これにより加工時間を従来の5割に短縮可能であることが判った。

27 生産管理システムへ移行するための現状分析

電子機械部 若槻 正明
㈱小林精機 行方 学

生産管理を効果的に運用するために、企業が内部で持っている特性、あるいは現在の生産管理システムを十分認識した上で、新しい生産管理システムへ移行することが重要である。本研究では、生産管理業務を分析調査した結果に基づいて生産管理の手順を取り決め、新システムへ移行するための機能の詳細と出力帳票について検討した。この結果、企業の実情にあった機能を持つ受注出荷システムを作成することができた。

28 3次元人体形状スキャナーの開発

電子機械部 長谷川 辰雄
㈱でん 中村 吉信

多品種・適量生産の現状において、個人ごとの要求に合った製品が求められている。本研究では靴製造の新たな手法として、靴専用のCADを開発した。個人にフィットした靴の制作の現状は、数力所の必要な寸法を計測することで行われている。この数力所を自動計測する装置は現在開発中であるが、計測後の数力所のデータから靴型のCADデータを制作するには、手作業により多大の時間を要する。そこで、必要な数力所のデータから簡単

に靴型を生成するCADを開発した。これによって、靴型のCADデータ制作の時間短縮が可能となった。

29 放電加工を利用した高精度モールド技術の開発（第1報）

企画情報部 和合 健
電子機械部 飯村 崇
(株)ニュートン 鄭 鋼

近年、プラスチック部品への要求は、単純形状ではなく、複雑形状が多くなっている。そこで、放電加工による金型製造技術を向上させ、形状の複雑なプラスチック部品を作ることを目的として研究を行った。尚、加工形状としては、プラスチック部品において難易度の高く、比較評価が行いやすい歯車を対象としている。その結果、放電加工を用いることでモールドにおける加工時間の短縮と加工精度の向上が可能となった。

30 福祉機器の人間工学的評価

電子機械部 藤澤 充
木工特産部 長嶋 宏之

人間工学的手法による福祉機器の客観的な評価を目的に、平成10年度ものづくり試作開発支援センター整備事業により導入した解析装置類を活用して、県内企業が開発したシャワー式介護入浴装置の保温性評価と椅子からの立ち上がり動作解析を実施した。その結果、本入浴装置による優れた血行促進効果を実証し、立ち上がり動作の基本的なメカニズムを把握した。

31 自力外出支援型車椅子の試作

金属材料部 米倉 勇雄、高橋 幾久雄
木工特産部 高橋 民雄
電子機械部 堀田 昌宏、藤澤 充

車椅子生活者の自力外出支援を目的として、市販の車椅子の改造を試みた。主な改造点は、段差乗り越えとスロープでの省力登坂および後退防止機構の付加であり、

まだ改良を要する部分もあるが、概ね良好な成果が得られた。

32 ウルシ材の利用活用

木工特産部 浪崎 安治、
木工特産部 有賀 康弘
木工特産部 高橋 民雄
浄安森林組合 小田島 勇
浄法寺漆器工芸企業組合 岩館 隆

前年度の研究でウルシ材の材質は木製品に充分利用可能な結果を得た。これに基づいてウルシ材の接着性、塗装による変色等を検討した。接着性については問題がなく、塗装も木肌塗料を塗布することにより他の塗料ほど著しく変色は認められなかった。また、ウルシの木の樹皮の活用を検討した。以上のような結果を得て連携企業と共同で試作開発を行い、一部商品化に至った。

33 ポリエステル織物の安定化に関する研究

木工特産部 大和 進
木工特産部 久慈 省一郎
木工特産部 多田 三郎

スポンジマシンを使用し、加熱処理によるポリエステル織物の伸縮、厚さ、柔軟度圧縮弾性率の挙動を調べた。圧縮弾性率は95をピークとした放物線を描き、厚さは95～115にかけて増加することがわかった。伸縮性についてはほとんどの試料が加熱温度が高くなるに従って収縮を示した。柔軟度は加熱75～95にかけて硬さを増すが、加熱115以上では柔軟度が増加することがわかった。

34 学校用家具の開発

木工特産部 有賀 康弘
木工特産部 浪崎 安治
木工特産部 高橋 民雄

新しい岩手の木製学校用家具の開発、試作を行った。

県産アカマツ材で試作した木製学校用家具には、つぎのような特徴がある。新JIS規格に即した設計で、机の甲板面積は従来製品より広く、教材の大型化 や少人数学級等に対応する。机、いすともに高さ調整が可能。いすはスタッキング（積み重ね）も可能で、保管場所の省スペース化が図れる。JIS規格の繰り返し耐衝撃性試験（強度試験）に耐えられる十分な強度がある。少ない部材と、加工工程を単純化できる製品設計によって、生産コストを低減した。県内で導入されはじめている木製学校用家具に比べ、約20～30%程度低い価格（工場渡し）にできる見込みである。

35 3次元データ入力装置を活用したデザイン

木工特産部 長嶋 宏之
(株)モディー 千葉 征治
木工特産部 町田 俊一
木工特産部 小林 正信

CAD上において試作及び原型製作を行う場合、複雑な自由曲面をデザイナーの意図通りに作製するのは難しい。本研究では3次元入力装置を利用し、手作業における原型モデルからCADデータへの変換を行うことによって、効率的な3次元データ作製方法を検討し、その有効性を検証した。その結果、モデルの意匠面を中心に入力範囲とデータ作製範囲を定めて読み込むことで、意図した面がCADの制限に拘束されることなく得られた。これにより製品開発において、コンピュータを活用し形状（デザイン）検討から試作までの作業の効率化を図ることができた。

36 型持ちを使用しない南部鉄瓶の鋳造方法

金属材料部 米倉 勇雄、高川 貫仁
化学部 瀬川 晃児

鉄瓶底の錆傷補修痕を起点とする発錆や湯漏れなどの防止を目的として、中子の型持ちを用いない鋳造方法について検討した。中子の浮き上がりを阻止する手段として、簡便な金具を中子の合わせ面に埋め込み、それを主型に牽引固定する方法を考案し、鉄瓶を試作した結果、良好な成果が得られた。

37 焼結温度がダイヤモンドセグメントの抗折強度に及ぼす影響

金属材料部 茨島 明、勝負澤 善行、高川 貫仁
企画情報部 池 浩之
ユニカ(株)岩手工場 赤石 晃、今井 純二

ダイヤモンドコアドリルの穿孔性能向上を目的とし、メタルボンドの組成とホットプレス焼結温度がダイヤモンドセグメントの抗折強度に与える影響を調べた。その結果、770以上の温度でホットプレス焼結したダイヤモンドセグメントは十分な強度を有していることが明らかとなった。

38 トリアジンチオ - ルによる微量水銀の除去

化学部 小向 隆志

トリアジンチオ - ルの有効利用について研究を行った。今回、微量水銀の除去を目的にN1を用い検討した。その結果、N1と無機水銀が反応し、水銀を97%除去することが可能となった。

39 木質系建設廃材の処理と再資源化に関する研究

化学部 藤原 智徳、佐々木 陽、大内 康弘

廃棄物処理問題と森林保護という観点から、炭化による建設廃材の再利用を検討している。本報では、いわてクリーンセンターが試作した建設廃材炭化物について、その性能評価を行った結果を報告する。試料は7種類用意した。まず試料の工業分析を行い、またメチレンブルー吸着性能の評価を試みた。その結果、用意した炭化物はいずれも活性炭程度の吸着性能はないことがわかった。今後は吸着性能を向上させる技術を検討する予定である。

40 初級粉末の混合による生分解性プラスチックの機能改変

応用生物部 平野 高広
岩手県環境保健研究センター 酒井 晃二
企画情報部 佐々木 英幸

応用生物部 山本 忠
応用生物部 大澤 純也

籾穀の有効活用および生分解性プラスチックの機能改変を目的として、籾穀粉末を混合した生分解性プラスチックフィルムを作製した。試作フィルムの強度は、籾穀含量の増加に従い低下した。試作フィルムの酵素（リパーゼ）分解速度は、籾穀粉末の添加により上昇した。

41 アマランサス葉由来赤色色素の利用

応用生物部 伊藤 良仁
応用生物部 小浜 恵子、平野 高広、岸 敦
大澤 純也

アマランサスの葉に蓄積する赤色色素を食用天然色素として利用することを目的に、8品種の色素量測定、抽出法の検討及び食品への添加試験を行った。その結果、最も蓄積量の多い品種は「ラルシャーク」であり、凍結乾燥-エタノール洗浄-水抽出からの精製色素は、ゼリー、アイスクリーム、浅漬け等で良好な色調を示す。

42 岩手県産大豆の納豆加工適性

応用生物部 伊藤 良仁
応用生物部 平野 高広、岸 敦、小浜 恵子
大澤 純也

消費者ニーズの変化に伴い、大豆の新品種育種の指標は収量、耐病性等の栽培特性から、商品加工適性にシフトしつつある。今回、岩手県産大豆8品種の納豆加工適性を調べた。その結果、大粒種のなかでナンブシロメが系引き性や呈味の良さから最も加工適性に優れていた。

43 簡易高温高圧調理法による雑穀利用食品の製造

食品開発部 笹島 正彦、武山 進一、関村 照吉
遠山 良、荒川 善行

耐熱材で包装した食品素材を加熱処理し、湯で加温または電子レンジ加熱で食べられるレトルト様の雑穀利用食品を試作した。今回試作した、飯、粥、団子について

は、一定の殺菌効果があり、微生物による腐敗の面からみれば、長期保存が可能と認められる。しかし、賞味期限設定のうえでは、さらに長期にわたる評価が必要である。

44 おからの食品加工素材化及び乾燥粉末を使用した各種食品の試作

食品開発部 遠山 良、笹島 正彦、荒川 善行

おからは水分含量が約80%前後あり、栄養成分も残存しているために保存性が悪いことが食品副原料としての用途開発をする上での障害となっている。本研究では、おからの保存性を向上させる手段として、凍結乾燥器や攪拌加熱式乾燥機（オカドラサイクロン）を使用しておからを乾燥する方法について検討した。また、得られた乾燥おからの粉碎方法やセルラーゼやペクチン溶解剤によるおからの可溶化についても検討した。更に、乾燥粉末を使用して、パン、麺、ゼリー、グミを試作し、おからを使用する際の問題点について調べた。

45 増粘多糖類による県産麺類の食感向上検討

食品開発部 武山 進一、笹島 正彦、遠山 良
荒川 善行

冷麺、ソバ、うどん、中華麺等の県産麺類の物性を向上させることを目的とし、アルテミシア、タラガム、カードラン等の増粘多糖類について、その効果を確認するための試験を行った。その結果、これらの増粘剤添加による麺の物性向上効果は、明確なものではなかった。

46 吟ぎんがによる吟醸酒、純米吟醸酒造製造試験

醸造技術部 高橋 亨、中山 繁喜、畠山 誠
米倉 裕一、桜井 廣

「吟ぎんが」と2種類の県酵母（岩手吟醸2号、YK-45）を用いて吟醸酒、純米吟醸酒を試験醸造した。平成12年産吟ぎんがは、平成11年産より碎米が少ないことから吸水のばらつきが小さく、原料処理は扱いやすかった。製成酒の官能評価では、純米吟醸酒はやや重く香味老ねと

評価され、吟醸酒は香味が調和して軽快であると評価された。

47 清酒の苦味・渋味成分と味覚センサの応答

醸造技術部 中山 繁喜、櫻井 廣

清酒の苦味や渋味に対する味覚センサの応答を確認するため、既知の苦味や渋味成分 8 種類を酒に添加し、きき酒して確認後、センサで添加前後の変化を測定した。その結果、渋味には官能評価に相関し応答するセンサがあること、苦味には敏感に応答するセンサがあるが、苦味の予測には苦味成分に合わせた複数のセンサが必要なることが判った。

48 県産ヤマブドウの果汁成分分析および醸造試験

醸造技術部 米倉 裕一
応用生物部 平野 高広
林業技術センター 泉 憲裕
林業技術センター 作山 健
醸造技術部 櫻井 廣

県産ヤマブドウの選抜系統または選抜候補系統の 14 系統について果汁成分を調べたところ、糖、酸、色調などに系統による差が見られた。このうちの 4 系統で試験醸造したワインは、色調が濃く、酸が多く、渋みのある味でヤマブドウの個性が出ていた。

49 交雑育種酵母によるぶどう酒製造試験

醸造技術部 米倉 裕一
応用生物部 平野 高広
醸造技術部 櫻井 廣

交雑育種したワイン酵母を使用してワイン醸造試験を行い、醸造適性の評価を行った。使用酵母は、県内で広く使用されているワイン酵母 *Saccharomyces cerevisiae* EC-1118 と L-2226 を親株として育成した交雑育種株 4 株とし、対照に親株 2 株と W3 を使用した。ワイン醸造試験の原料にはリースリング・リオン種ブドウを使用した。その結果、各交雑育種株は昨年と同様の発酵経過を

とり、その経過は両親株中間の性質を持つ傾向にあった。個性の強い株を親株にすることが、多様化や個性化に対応できる優良ワイン酵母取得につながると思われた。

50 新しい象嵌技術の普及

木工特産部 浪崎 安治
木工特産部 有賀 康弘
木工特産部 高橋 民雄
電子機械部 飯村 崇

木材チップ製造業からの技術相談を共同研究として取り上げ、その研究成果の象嵌技術が特許取得でき、幸いにもその特許が注目発明に認定され、当該技術が岩手県内の関連企業に周知されることになった。また、特許流通アドバイザーにより地域間会議において当該技術が紹介され、全国に知れ渡ることになった。研究員の積極的技術普及の結果、岩手県と当該特許の実施契約を結んで、工業技術センターの技術支援を受けながら企業 4 社が製品化に動き出し、共同研究企業以外に当該技術の普及が始まった。

51 いかせんべいの防湿包装

食品開発部 遠山 良

風味をより長期間維持するために、いかせんべいの窒素置換包装を試みたところ、販売したいかせんべいが吸湿して軟化してきたということについての相談があった。そこで、吸湿の原因を究明するために、せんべい製造後の水分含量の変化について調べた。その結果、吸湿の原因は窒素置換包装するために選択した包装資材（ナイロン系（MXD(Meta Xylylene Diamin)とポリプロピレンとのラミネートフィルム））の選択に問題があったことが明らかとなった。

52 焼入鋼でのミーリング切削条件の選定方法

企画情報部 和合 健

切削加工において加工精度、工具寿命、加工能率のす

べてを同時に最適化することは難しい。このため、作業者が作業毎に加工目的に応じて加工条件を調整することが重要である。

本研究では、二段階設計法を応用した異なる二回の実験を行うことで加工条件の選定方法を試みた。第一段階で転写性を基本にオフラインによる最適化を行い、第二段階で簡易寿命試験を行い損失関数により工具寿命と加工能率を損失に変換し同次元として評価した。そこで、工具寿命と加工能率の関係から、加工目的に応じた最適な切削速度を求めることができた。

53 HVOF-YAG レーザハイブリッド溶射による WC-Co 系皮膜の性状

金属材料部 桑嶋 孝幸、高橋 幾久雄
大阪大学接合科学研究所 大森 明

YAG レーザを HVOF 溶射プロセスに応用した。溶射材料は WC-12Co と Ni 基自溶合金の混合粉末を使用した。それらの組み合わせ方法は溶射後にレーザ照射する方法（後熱処理法）と HVOF 溶射と YAG レーザの同時照射（ハイブリッド法）である。レーザ出力は、両方法とも 2kW である。後熱処理法において、試料表面へのレーザ照射をデフォーカスすることによって、エネルギー密度を変化させた。デフォーカスした距離は、±0mm, 15mm, 30mm である。ハイブリッド法においては、基材上の溶射点において組み合わせた。

後熱処理法において、デフォーカス値 15mm で処理した皮膜には、W, Cr, C からなるデンドライト状粒子が存在した。ハイブリッド法の皮膜構造は、溶射のみの構造と変化はなかったが、ハイブリッド法により作成した皮膜のマイクロピッカース硬さの平均は、約 1000 で、溶射のみの皮膜と比べて、約 20% 硬度が向上した。

54 フェライト系焼結ステンレス鋼の液相焼結挙動と耐食性に及ぼすボロンおよびシリコン添加の影響

金属材料部 鎌田 公一
岩手大学工学部 中村 満、堀江 皓

フェライト系焼結ステンレス鋼 (SUS430L) への硼素 (B) および珪素 (Si) 添加による液相焼結挙動および耐食性への影響について検討した。その結果、焼結密度は B 添加により向上し、焼結温度 1573K で 0.2mass%B および

0.2mass%B+2mass%Si 添加材とも 97% 以上を得た。引張強さは、0.2mass%B+2mass%Si 添加材がすべての焼結温度で高強度を示した。焼結温度 1573K のとき、最大 509MPa を得た。これは B 添加によるマトリックスと硼化物の共晶反応による高密度化と Si によるマトリックスの固溶強化によるものと考えられる。一方、延性は結晶粒成長と結晶粒界に析出した硼化物のため、無添加材と比べてほとんど改善されなかった。N/20 塩酸酸性 6% 塩化第二鉄水溶液による耐孔食試験の結果、焼結温度 1573K において、各添加材とも優れた耐食性を示し、特に 0.2mass%B+2mass%Si 添加材は無添加材に比べ 1/6 の腐食度であった。しかし、焼結温度が 1523K 以下であると耐食性に差はなく、これは無添加材と同様に焼結密度が低いためと考える。

55 液相焼結法を用いた高強度焼結 SUS630 鋼の開発

金属材料部 鎌田 公一
岩手大学工学部 中村 満、堀江 皓

本研究では焼結 SUS630 鋼の機械的性質に及ぼすボロン (B) およびシリコン (Si) 添加の影響について検討した。B 添加は焼結体の高密度化に有効であり、さらに B と Si の複合添加によって、B 単独添加の場合に比べ、焼結温度は低温度化 (約 50K) し、引張強さも増加することもわかった。これは液相の増加と Si によるマトリックスの固溶強化によるものと考えられる。しかし、過剰の Si 添加は焼結体の強度および延性を低下させた。0.2mass%B+1mass%Si 添加、焼結温度 1523K の条件で焼結後、熱処理した試料の引張強さは 1200MPa 以上を示した。

56 木材炭化に及ぼす硫化水素型合成温泉水前処理の影響

化学部 佐々木 陽
岩手大学工学部応用分子科 成田 榮、梅津 芳生
蓬田 茂

ナラおよびスギの木材を温泉水のモデルである合成温泉水 (岩手県松川温泉で得られた湯花懸濁液のろ液) 中で煮沸処理したのち 500 および 800 で炭化を行い、得られた炭化物の特性について、同じ pH 値の硫酸水溶

液で処理したものと比較検討を行った。その結果、いずれの場合も前処理により炭化物の収炭率は減少し比表面積は増加した。しかし、電気抵抗率は炭化温度に影響されことなく前処理によって低くなった。合成温泉水で前処理して得られた炭化物の XRD 図および XPS スペクトル解析から、800 で炭化したナラ木炭のみグラファイト化が進んでいることが確認された。メチレンブルーおよびオレンジを用いる染料の吸着特性は、合成温泉水で前処理したのち、800 で炭化したナラ木炭が前処理時間によって吸着を向上させたが、500 で炭化した炭化物およびスギ木炭では吸着量の向上はみられなかった。合成温泉水で処理した木材中には鉄イオンが未処理試料と比較してスギで約 3 倍、ナラで約 10 倍存在しており、これらの鉄イオンが広葉樹の炭化物の結晶性の向上と染料の吸着能に関与しているものと推測した。

57 地域特産食品・・・冷麺

食品開発部 遠山 良

朝鮮半島の冷麺が通常そば粉、小麦粉および各種でんぷんを原料として使用するのに対して、盛岡冷麺は小麦粉とパレイショでんぷんのみを原料として使用する。麺は朝鮮半島のものよりも太めであり、透明感があり、かたく弾力性のある歯ごたえに特徴がある。盛岡冷麺のルーツは、戦後朝鮮半島出身者により始められた盛岡市の 1 食堂にあるといわれている。その後徐々に冷麺食堂が増加し、現在では盛岡市内に 30 件以上を数えるまでになった。冷麺の土産品も多種類開発され、急速に売れ行きを伸ばしてきた。本年度からは公正取引委員会の生麺類の表示に関する規約別表に新たに盛岡冷麺が追加され、名実ともにブランドとしての地位を確立した。本稿では、それら土産品として開発された製品のうち、筆者が岩手県乾麺工業協同組合とともに開発した単軸エクストルーダによる冷麺製造法開発の経緯や、冷麺の原料配合、製造工程、冷麺の保存性等についてまとめた。

- 3 企業との共同研究

事業名等	企業名	内 容	担当部
公設試共同研究推進事業（国庫補助）	(株)小林精機	工具摩耗計測装置の開発	電子機械部
	I M S	工具摩耗計測装置の開発	電子機械部
	(株)アオバサイエンス	アクティブセンシングによる非破壊検査システムの開発	電子機械部
	(株)でん	3次元形状スキャナー装置の設計	電子機械部
	(有)ヒロ	3次元切削加工装置の設計	電子機械部
	岩手鋳機工業(株)	廃棄貝殻による鋳鉄溶湯からの脱リン	金属材料部
	(有)三協金属	廃棄貝殻による鋳鉄溶湯からの脱リン	金属材料部
	高弥環境整備(株)	下層路盤用廃プラスチック骨材の試作	化学部
	岩手健工(株)	廃プラスチックを利用した舗装技術の実地舗装試験	化学部
	(株)八木澤商店	超臨界抽出法を用いた機能性成分の抽出と食品への応用	応用生物部
地域先端技術共同研究開発推進事業（国庫補助）	(株)岩手畜産流通センター	畜産未利用資源の有効利用技術開発	応用生物部
フードシステム高度化対策事業（国庫補助）	(株)道奥	雑穀を利用した高温高圧調理食品の開発	食品開発部
福祉機器開発事業（県単・主要）	(有)新高応用化工	シャワー式介護入浴装置の評価	福祉機器開発プロジェクト
研究機関共同研究推進事業（県単・主要）	浄安森林組合（滴生舎）	ウルシ材の利用活用法の開発	木工特産部
	浄法寺漆器工芸企業組合	ウルシ材の利用活用法の開発	木工特産部
	浄法寺生漆生産組合	ウルシ利用促進のための品質評価技術開発	木工特産部
	岩手県漆器協同組合	ウルシ利用促進のための品質評価技術開発	木工特産部
県産吟醸酒商品化研究推進事業（県単・受託）	岩手県酒造協同組合	県産酒造好適米「吟ぎんが」を用いた吟醸酒開発	醸造技術部
県産畑作物生産振興対策事業（県単・受託）	(株)平川食品	県産大豆の豆腐加工適性評価	応用生物部
基盤的・先導的研究事業（県単・一般）	岩手県塗装工業組合	低温環境下における水系塗料の塗膜性能に関する研究	化学部

- 4 成果の公表

(1) 口頭発表

発表テーマ	発表者	発表会名	発表年月日 場所
電子機械部			
レーザー・スクイッド顕微鏡の試作と今後の方向	大坊 真洋	地域結集事業研究発表会	4/28 岩手大学
高度非破壊センシングシステムの開発	大坊 真洋	電子連合部会総会研究紹介	6/1 長崎ワシントン
SQUID応用計測システムの開発	大坊 真洋	地域結集事業B2グループ研究発表会	7/25 工業技術センター
多機能SQUID顕微鏡の開発	大坊 真洋	地域結集事業研究成果報告会	8/29 工業技術センター
レーザー・スクイッド顕微鏡の提案	大坊 真洋	2000年秋季応用物理学会全国大会	9/3 北海道大学
介護シャワーベットの快適性評価について - 指導・相談事例 -	藤澤 充	機械金属連合部会東北・北海道地方部会	10/5 秋田市「みずほ苑」
超精密鏡面切削加工技術の確立	堀田 昌宏	機械金属連合部会東北・北海道地方部会	10/5 秋田市「みずほ苑」
砥石摩耗のオンマシン測定	飯村 崇	機械金属連合部会東北・北海道地方部会	10/5 秋田市「みずほ苑」
多機能SQUID顕微鏡の開発	大坊 真洋	地域結集事業研究成果発表会	10/11 ホテルメトロポリタン
マイクロ波を用いた非破壊検査システムの開発	泉田 福典	電子連合部会東北・北海道地方部会	10/12～13 パナソニック最上
レーザー・励起スクイッド顕微鏡の開発	大坊 真洋	自動制御学会第17回センシングフォーラム	10/13 東京工業大学
Novel Laser SQUID Microscope for High-resolution Magnetic Imaging	大坊 真洋	第13回国際超電導学会	10/14～16 東京千代田区都市センターホテル
ホログラフィと立体ディスプレイ	大坊 真洋	ニューテックハンチャーフォーラム	11/9 山形国際交流プラザ
砥石摩耗のオンマシン監視	飯村 崇	岩手県高等学校教育研究会理科部会	11/17 工業技術センター
簡易3次元人体形状スキャナー装置の開発	長谷川 辰雄	情報処理学会グラフィックスとCAD研究会	12/8 豊橋技術科学大学
砥石摩耗のオンマシン監視	飯村 崇	精密工学会東北支部講演会	12/9 秋田県生涯学習センター
SQUID応用の最新動向	大坊 真洋	電気学会「超伝導材料とデバイス調査専門委員会」	12/12 埼玉大東京ステーションカレッジ
レーザー・スクイッド顕微鏡による磁場の画像化	大坊 真洋	電気学会センサ・マイクロマシン部門平成12年度総合研究会	12/19 東京工業大学
高硬度材の非球面精密鏡面切削加工	堀田 昌宏	金型フォーラムの開催	3/13 岩手大学
福祉介護機器への取り組み（パネル発表）	藤澤 充	WT東北福祉介護機器研究成果発表会	3/14 仙台サンプラザホテル
レーザー・スクイッド顕微鏡の開発	大坊 真洋	地域結集事業成果発表会	3/15 ホテルメトロポリタン
木工特産部			
木口面への象嵌装飾	浪崎安治	物質工学連合部会東北・北海道地方部会	10/5 サンピア金ヶ崎
アカマツ単板積層塗装材の開発	穴沢靖、浪崎安治	第12回日本MRS学術シンポジウム	12/7 かながわサイエンスパーク

発表テーマ	発表者	発表会名	発表年月日 場所
金属材料部			
鑄ぐるみによる非磁性鑄造材料の高硬度化	池浩之、勝負澤善行、後藤正治(秋大)、麻生節夫(秋大)、小西信夫(小西鑄造)	(社)日本鑄造工学会第136回全国公演大会	5/23 名古屋市中小企業振興会館
超硬合金/超硬鑄ぐるみ材の界面組織と熱影響	麻生節夫(秋大)、後藤正治(秋大)、池浩之、勝負澤善行、小西信夫(小西鑄造)、小西英二(小西鑄造)	(社)日本鑄造工学会第136回全国公演大会	5/23 名古屋市中小企業振興会館
WC粉末を鑄ぐるんだ鑄鉄の表面組織	中西誠(秋大)、麻生節夫(秋大)、小松芳成(秋大)、後藤正治(秋大)、池浩之、勝負澤善行	(社)日本鑄造工学会第136回全国公演大会	5/23 名古屋市中小企業振興会館
YAGレーザによる溶射皮膜の再溶融処理	桑嶋孝幸	溶接学会東北支部題12回溶接接合研究会	7/14 山形市・山形国際ホテル
廃棄貝殻による炭素飽和溶鉄からの脱リン	高川貫仁、勝負澤善行、茨島明、池浩之	第9回(社)日本鑄造工学会東北支部YFE大会	8/30 山形厚生年金休暇センター
ADI製木工刃物の性能	茨島明、勝負澤善行、池浩之、高川貫仁	(社)日本鑄造工学会第137回全国講演大会	10/14 室蘭工業大学
粉末炭化物を鑄ぐるんだ鑄鉄の組織	中西誠(秋大)、麻生節夫(秋大)、小松芳成(秋大)、後藤正治(秋大)、池浩之、勝負澤善行	(社)日本鑄造工学会第137回全国公演大会	10/15 室蘭工業大学
スズ浴法によるADI製造時のスズ付着防止	勝負澤善行、茨島明、高川貫仁、佐藤孝一(岩手鑄機工業)、ロム・セサル(ハル-SENATI)、イサ・コルテロ(ハル-	(社)日本鑄造工学会第137回全国講演大会	10/15 室蘭工業大学
廃棄貝殻による高リン含有炭素飽和溶鉄からの脱リン	高川貫仁、勝負澤善行、茨島明、池浩之、片山博(室工大)	(社)日本鑄造工学会第137回全国講演大会	10/15 室蘭工業大学
液相焼結したP/M SUS304L鋼の寸法変化に及ぼす成形および焼結条件の影響	鎌田公一	粉体粉末冶金協会平成12年度秋季大会(第86回講演大会)	10/20 龍谷大学瀬田学舎
DEVELOPMENT OF HIGH STRENGTH P/M SUS630 STAINLESS STEELS UTILIZED BY THE LIQUID PHASE	K.KAMADA, M.NAKAMURA, H.HORIE	POWDER METALLURGY WORLD CONGRESS 2000 (2000年粉末冶金国際会議)	11/15 国立京都国際会議場
廃棄貝殻による炭素飽和溶鉄からの脱リン	高川貫仁、勝負澤善行、茨島明、池浩之、片山博(室工大)、桃野正(室工大)	(社)日本鑄造工学会東北支部第33回宮城大会	11/2 宮城県産業技術総合センター
軽金属表面に溶射した自溶合金溶射皮膜の再溶融処理	桑嶋孝幸、高橋幾久雄、太田利夫、田端亮一、佐藤一彦(株釜石電機製作所)	高温学会第9回溶射総合討論会	10/12~13 ホテルメトロポリタン山形
鑄鉄表面近傍への硬質粒子の分散	麻生節夫(秋大)、中西誠(秋大)、後藤正治(秋大)、小松芳成(秋大)、池浩之、勝負澤善行	(社)日本金属学会2001年春季(第128回)大会	3/29 千葉工業大学芝園校舎
HVOF-YAGレーザ・ハイブリッド溶射によるCr3C2-NiCr皮膜の作製	富田友樹(兵庫工技セ)、桑嶋孝幸、高橋幾久雄、大森明(阪大)	(社)日本金属学会2001年春季(第128回)大会	3/29 千葉工業大学芝園校舎

化学部

アカマツを用いた単版積層塗装材の表面硬さについて	穴沢靖	日本木材学会	4/5 京都大学
トリアジンチオール蒸着法の磁場効果-加熱の影響-	鈴木一孝	岩手県地域結集事業	5/31 岩手大学
トリアジンチオール蒸着法の磁場効果-光照射の影響-	鈴木一孝	岩手県地域結集事業	6/27 岩手大学
トリアジンチオール蒸着法の磁場効果-基板の影響-	鈴木一孝	岩手県地域結集事業	7/31 岩手大学
トリアジンチオール蒸着法の分子吸着による磁場効果	鈴木一孝	岩手県地域結集事業	9/29 岩手大学
トリアジンチオール蒸着法のCr基板を使った磁場効果	鈴木一孝	岩手県地域結集事業	11/25 岩手大学
金属の表面改質技術	鈴木一孝	岩手県接合技術研究会	12/7 岩手県工業技術センター
真空蒸着法によるトリアジンチオール誘導体被膜の磁場効果	鈴木一孝	環太平洋国際化学会議	12/18 米国、ハワイ州
アカマツ単版積層塗装材の開発	穴沢靖	日本MRS学術シンポジウム	12/7 かながわサイエンスパーク

発表テーマ	発表者	発表会名	発表年月日 場所
廃プラスチック類の用途開発研究	佐々木秀幸	資源環境連合部会総会	6/8 秋田市
FeSO4処理した木材の炭化とその染料吸着特性	佐々木 陽	日本化学会	9/30 秋田大学
鉄イオン含有地熱水で処理した木材の炭化とその物理化学的特性	佐々木 陽	日本化学会	9/30 秋田大学
炭化に及ぼす木材の温水処理効果	佐々木 陽	環太平洋国際化学会議	12/18 米国、ハワイ州
鉄イオンで処理した木材の炭化とその物理化学的特性	佐々木 陽	環太平洋国際化学会議	12/18 米国、ハワイ州

応用生物部

生分解性プラスチックバックを用いた生ゴミ収集物の堆肥化における成分変化と微生物の挙動	山本忠	資源環境連合部会総会・発表会	6/8 秋田市
雑穀の生理機能と利用	小浜恵子	雑穀機能性活用セミナー	9/9 軽米町
酵母のアミノ酸透過性と清酒醸造への影響	小浜恵子	生命工学連合部会秋季東北・北海道地方部会	9/13 青森市
マツカワの成分特性について	伊藤良仁	海洋バイオ研究交流セミナー	11/17 盛岡市

醸造技術部

酒造好適米「吟ぎんが」による吟醸酒の製造について	高橋 亨	酒造技術研究発表会	4/17 仙台市
味覚センサによる清酒の測定	中山繁喜	感性バイオセンサ研究会	8/22 長野市

(2) 誌上発表

掲載テーマ	発表者	掲載雑誌名	発刊号
電子機械部			
連載第16回 - 機械技術者のためのCAD/CAM講座 - 基礎から応用まで -	若槻正明	機械技術	2000年4月号(VOL.48 No.4)
連載第17回 - 機械技術者のためのCAD/CAM講座 - 基礎から応用まで -	若槻正明	機械技術	2000年5月号(VOL.48 No.5)
連載第18回 - 機械技術者のためのCAD/CAM講座 - 基礎から応用まで -	若槻正明	機械技術	2000年7月号(VOL.48 No.7)
連載第19回 - 機械技術者のためのCAD/CAM講座 - 基礎から応用まで -	若槻正明	機械技術	2000年10月号(VOL.48 No.10)
介護シャワーベットの快適性評価について - 指導・相談事例 -	藤澤充、長嶋宏之、一ノ瀬	工技連会議東北・北海道地方部会研究論文集	13号(平成13年2月)
超精密鏡面切削加工技術の確立	堀田昌宏 飯村崇 若槻正明	工技連会議東北・北海道地方部会研究論文集	13号(平成13年2月)
砥石摩耗のオンマシン測定	飯村崇 若槻正明 堀田昌宏 和合健	工技連会議東北・北海道地方部会研究論文集	13号(平成13年2月)
マイクロ波を用いた非破壊検査システムの開発	泉田福典 大坊真洋	工技連会議東北・北海道地方部会研究論文集	13号(平成13年2月)
木工特産部			
磁性木材の磁気特性に関する基礎的検討	藤田・岡(岩大)千 葉・高芝・浪崎	電気学会論文紙A	Vol.120-A, No.4, Apr, 2000
木口面への象嵌装飾	浪崎	工業技術連絡会議東北・北海道地方部会研究論文集	第13号
木口面への「象嵌装飾」の技術開発	浪崎	ウッドミック	215, 2, 2001 P47-P50
金属材料部			
フェライト系焼結ステンレス鋼の液相焼結挙動と耐食性に及ぼすボロンおよびシリコン添加の影響	鎌田公一、中村満、堀江皓	粉体および粉末冶金	第47巻、第10号、2000
HVOF-YAGレーザハイブリッド溶射によるWC-Co系皮膜の性状	桑嶋孝幸、高橋幾久 雄、大森明	高温学会誌	第26巻、第10号、2000
WC粉末による鑄鉄の表面硬化	麻生節夫、中西誠、 後藤正治、池浩之、 勝負澤善行	鑄造工学会	第73巻、第3号、2001
化学部			
真空蒸着法によるDBの成膜機能に及ぼす金属表面状態の影響	鈴木一孝、森邦夫、 吉本則之、清水健司	高分子論文集	2000.05
金属表面状態によるDB真空蒸着被膜の吸着特性	鈴木一孝、森邦夫、 吉本則之、清水健司	高分子論文集	2001.01
木材炭化に及ぼす硫化水素型温泉水前処理の影響	佐々木陽、蓬田茂、 梅津芳生、成田榮一	木材学会誌	2001.02
温泉水を利用した活性化木炭の製造	佐々木陽、蓬田茂、 成田榮一	月刊誌「水」	2000.10
温泉水を利用する活性化木炭の開発	佐々木陽、成田榮一	月刊誌「炭の力」2001.1	2001.01
食品開発部			
地域特産食品・・・冷麺	遠山良	日本包装学会誌	2000年, vol.9, No. 4, 211~219

(3) 特許

取得

No	名称	取得年月日	特許番号	出願年月日	特許出願番号	発明者	
						所 属	氏 名
1	鋳鉄製品の製造方法	H12.8.11	3099011	H11.11.25	特願H11-334060	金属材料部	川原正弘
2	ホログラム、ホログラムの作成方法及びホログラムの作成装置 CT 装置	H12.8.11	3098202	H9.1.31	特願H9-18071	電子機械部 東北学院大学	大坊真洋 木村光昭
3	物体の透視装置	H12.5.19	3068823	H11.8.18	特願H11-231494	電子機械部 岩手大学	大坊真洋 田山典男

出願

No	名称	出願年月日	特許出願番号	発明者	
				所 属	氏 名
1	スクイド磁気画像化装置	H13.3.30	特願 2001-101264	電子機械部 岩手医科大学	大坊真洋 志子田有光
2	レーザー加熱装置及びレーザー加熱方法	H13.3.30	特願 2001-101263	電子機械部	大坊真洋
3	3次元計測形状システム	H13.3.30	特願 2001-102228	電子機械部 岩手県立大学	長谷川辰雄 土井章男
4	鋳鉄溶湯からの脱リン方法	H13.3.27	特願 2001-90664	金属材料部 企画情報部	高川貫仁、勝負澤善行、茨島 明 池 浩之
5	固体表面の装飾被膜形成方法及び固体表面の装飾被膜	H13.3.27	特願 2001-90663	化学部	鈴木一孝
6	磁気測定装置	H13.2.26	特願 2001-050294	電子機械部	大坊真洋
7	針葉樹用無溶剤型紫外線硬化塗料	H12.11.9	特願 2000-341850	化学部 木工特産部	穴沢 靖 高橋民雄 浪崎安治、有賀康弘
8	複合材及び複合材を用いたブロック体	H12.11.2	特願 2000-335644	化学部 セイナン工業(株)	佐々木秀幸 江 東

支援業務

- 1 各部における技術支援の概要

【電子機械部】

1 概況及び支援方針

当部の主な対象業界である電子・機械関連の製造業界は、特に国際的な経済情勢に大きく影響されやすい産業であるため、長引く景気の低迷と東南アジア諸国等との品質・価格競争にさらされている。そのためには、より一層の低コスト化・省力化を図ること及び独自の技術開発・新製品開発などを早急に行う必要があることから、それに向けた研究開発、設備開放、人材育成、技術相談などの支援をこれまで以上に強力に行う。また、高齢者や身体障害者のための福祉機器開発に対するニーズも高まって来ており、特に「人にやさしい福祉機器」の開発を目指して取り組んでいくことも重要な分野である。

2 各分野の取り組み状況

(1) 電子技術分野の状況

県内ではICなどの電子部品を生産している企業がかなりあるが、それらの生産技術の高度化に対応するための研究支援のため、電子部品の内部欠陥や各種の物体を非接触で高精度に検査出来る装置の開発を行っているほか、電気製品の電波ノイズを測定する装置をはじめとする各種の検査機器を備えて、企業からの依頼試験、技術相談、技術講習会、研修生受け入れなどの支援を行っている。

(2) 機械技術分野の状況

金型製作をはじめとする機械加工分野では精密加工や高精度加工に対する要求はますます高まってきており、それに対応する技術支援のため、鏡面加工に関する研究や、NC機械のさらなる省力化技術に関する研究などを行っているほか、各種の超精密加工機や超精密測定器を備えて、企業からの依頼試験、技術相談、技術講習会、研修生受け入れなどの支援を行っている。

(3) 福祉機器開発の状況

いわてリハビリテーションセンターや老人ホームなどの医療介護施設などでのニーズ調査から、必要とされている福祉機器開発に向けて、人体動作解析装置などを導入し研究を進めているほか、メカトロニクス研究会でも具体的なテーマを決定し試作に向けて活動している。

3 今後の方向

今年度導入したコンピュータ支援による設計・製作・解析装置(CAD/CAM/CAE)を有効に活用し、技術講習会などを出来る限り多く開催して生産性向上への支援を行う。

引き続き、精密測定機類や電波暗室などの施設・設備を広く開放し、このような設備を自力で持つことが出来ない中小企業などに対して支援を行う。

また、新技術開発につながる、超精密加工や切削工具の刃先磨耗自動補正制御機械、超伝導量子干渉素子(SQUID)や線、マイクロ波を使った非接触・非破壊検査システムなどの開発を継続して行い、関連業界を支援する。

今後さらに必要性が高まっていく各種福祉機器の開発に向けてセンター内の他の部とともに共同で取り組むほか、メカトロニクス研究会での研究成果も併せて、老人ホームなどで実際に有効に使えるような実用的な用具・機器を開発し、技術的側面から高齢化社会を支援して行く。

【木工特産部】

1 概況及び指導方針

当部の対象業界は、繊維製品、木工製品及び南部鉄器、秀衡・浄法寺塗、岩谷堂筆筒の伝統的工芸品、その他特産品、並びにデザインに関わる産業である。当該業界は不況やモノ離れによる個人消費の落ち込み、海外製品の市場席卷により大変厳しい環境にある。このような状況の下で業界は環境、健康、福祉、IT革新への関心を高めている。

このことから、環境、健康、福祉分野を念頭に置いた新製品開発、本県の優れた伝統技術と新技術との融合による技術開発の支援を基本とした。

2 各業界の技術指導の状況

(1) 繊維関連分野（ニット、縫製、ホームスパン業界）

繊維産業は、個人消費の落ち込みや輸入品の増加により危機的状態にある。

そのため、ニット業界に対しては、自動化による生産時間の拡大と余剰人員の適正配置及び生産管理の強化を、縫製業界に対しては生産の合理化と共に、安定性の悪い素材に対してはスポンジングマシンの活用を支援した。またホームスパン業界に対しては販路拡大を目的に新製品開発について支援した。

(2) 木材加工関連分野（木製家具、木製建具、その他の木工製品）

長引く不況により個人消費の落ち込み、海外からの輸入増大により市場競争は激化の一方をたどっている。また、木製品を取り巻く環境問題も問われてきている。

このようなことから、木製学校用家具の導入推進のための製品開発・試作による提案、伝統家具と建築のマッチングのための環境問題対策、曲げ木を利用する木製車椅子の試作提案、県有特許活用の木製品開発、未利用資源の活用技術など、関連業界に新しい試みの技術支援を積極的に推進してきた。

(3) デザイン関連分野（漆器、鉄器、クラフト製品、その他デザイン一般）

長期化している景気低迷の影響は、生産額や従業員の減少にとどまらず、企業の存続にも関わる問題へと悪化しており、単なる更新、改良だけでは訴求力を持った製品を作り出せない状況になっており、他産地の追随を許さない普遍性の高いものづくりが強く求められている。

このため、デザインの優秀性に加えて、素材の特徴、機能性、価格等に対する考慮が強く要求され、3次元入力装置、光造形装置、CADシステム等を製品開発に活用するための技術支援を行うと同時にデザインセンターの主要事業でフィンランドから招聘したクラフトデザイナーによるデザイン改善指導、技術交流を実施し、普遍性の高いものづくりのための指導を強力的に支援した。

3 今後の方向

21世紀は、「高齢社会対応」、「環境保全」、「豊かな生活文化」がキーワードといわれており、当部は、本県の誇る伝統技術や資源を活用し最新技術の導入を図りながら「生活文化」創造の担い手である地場産業の振興を念頭に置き、高齢社会に対応したユニバーサルデザインや福祉用具、県産素材活用のオリジナル製品の開発支援を目指すとともに、環境に配慮した技術の普及、さらに、先端産業分野のデザイン指向に対応して幅広い産業分野のデザイン力の向上を推進する。

【金属材料部】

1 概要及び支援方針

当部は、鑄造技術（非鉄鑄物、鉄鑄物、鑄型、リサイクル）、接合技術（溶接、溶射）、材料技術（熱処理、粉末冶金、超電導材料）、福祉機器開発等の分野を担い、材料の高度化に伴う製造技術や検査分析、新材料開発等を行っている。支援方法は、面接や現地での支援及びアドバイザー派遣等による人的支援と依頼試験や設備開放等当所の設備活用による支援及び企業の研修生受入や講習会、研究会開催等による人材養成支援を実施している。

支援の内容は、生産技術改善や低コスト化、故障や不良の解析及び分析等製造業が抱える材料技術分野全般にわたっている。また、新しく開発した技術の普及や新技術導入及び新製品開発等企業の新たな展開を促進する面の支援も推進している。

2 各業界の技術支援の状況

(1) 鉄鋼（銑鉄鑄物製造業、鋼鑄物製造業）

本県の代表的地場産業である銑鉄鑄物業界は南部鉄器鑄物から発して機械部品等の産業鑄物や景観鑄物等を製造している。しかし、昨今の不景気は本業界にも重く押しかかり、南部鉄器鑄物では新製品新技術開発による市場拡大が急務となっており、産業用鑄物では高品質材料の導入と高度な技術者育成が求められている。このため、銑鉄製造の新技術である「オーステンパ熱処理を施したADI鑄鉄の製造技術開発」や「貝殻を用いた溶湯中の脱燐技術開発」を進めて企業に普及するとともに、関連企業から研修生を受け入れて技術支援を行っている。

(2) 非鉄金属（非鉄金属鑄物製造業、非鉄金属ダイカスト製品製造業）

非鉄金属としては、アルミニウム合金が主体で、課題は溶湯中の脱ガス処理方法や鑄造方案の確立等の品質管理技術で、より効果的な技術改善が必要になっている。このため研修生受け入れによる「Al-Cu系合金の発光分光分析技術」の支援や岩手県非鉄金属加工技術研究会に対する技術面や情報提供面の支援をしている。

(3) 金属（建設用金属製品製造業、金属プレス製品製造業）

この対象業界は多くが大手の下請けで鉄骨建築加工を行っている。課題は、自動化が遅れて労働集約的体質が殆どであることで、製造工程の自動化や機械化の促進、品質管理と低コスト化等が求められている。また、今後、レーザ加工や溶射等の新技術導入も必要と考えられている。このため、岩手県接合技術研究会に対して技術支援や最新情報提供を行うと共に研修生を受け入れて「レーザ加工技術や溶射技術」の支援を行っている。

(4) 機械（金属加工機械製造業、農業用機械加工製造業）

機械金属に要求される性能の多様化に伴い、新しい材料の開発が多くなされ、市場に回っている。しかし、材料の熱処理方法や表面処理方法が悪いと摩耗や破損等のクレームとなって処理に苦慮するケースが多い。このようなクレーム処理対策、解決手法は当所の設備活用による支援が求められている。このため、岩手県材料応用技術研究会に対して技術支援や最新情報提供等の支援を行っている。

3 今後の方向

従来実施してきた、現地支援やアドバイザー支援、講習会等による支援を行うとともに、関連の3研究会との連携を図りながら成果普及や実施化等の支援を行う。また、当所が実施する新技術の研究に関しては技術者育成を行うとともに共同研究に取り組み実用化を推進する。

更に、大学や他県公設試、県内支援機関等との連携をしながら支援を強化して金属関連業界の振興に貢献する。また、高齢化社会を支える新たな分野として福祉機器開発に取り組む。

[化学部]

1 概況及び支援方針

当部では以前と比較して減少しているとはいえ、所内の依頼試験業務の約70%を占め、広い分野で県民へサ・ヴィスの提供を行っている。

数年前まで、地下資源・工業用廃水・金属材料・燃料等の依頼分析件数が多く、これらの分析結果に関わる企業支援が主であった。

センタ - の開所に伴う最新設備の導入、研究員の部間異動等によって業務の内容が広がり、広い分野に企業から派遣されて来る技術者の数も年々増加の傾向にある。技術者の受け入れ支援、従来からの依頼試験結果に関わる支援に加え、年々増加の傾向にある生活環境に関わる相談二 - ズへの支援も業務の一つとして位置づけていきたい。

2 各業界の技術支援の状況

(1) 塗装関連技術

「県産木材の高度利用技術」の研究成果により得られた「針葉樹用無溶剤型紫外線硬化塗料」(木肌UV塗料)を千葉県塗料メ - カ - (株)斎藤と共同特許出願し、商品化を

本塗料は、昨年度県内企業と特許出願した「赤松単板積層材」の塗料材料として文部省東北工事事務局に採用され、秋田高専、宮城高専の床材として施行されるなど、県産木材の需要拡大の支援を行った。

(2) 表面処理関連技術

特定産業集積化関連機関支援事業で取り組んでいる有機超薄膜による金属の防錆技術「超撥水有機蒸着薄膜作成技術」の研究成果支援として、技術移転の技術フォロ - に取り組むと共に、関連技術の特許出願を行った。O R T事業として表面改質に関して2企業、表面分析技術について1企業の研修生を受け入れ支援した。

また、電気めっき業界の環境排水基準の規制に伴う巡回指導を実施した。

(3) 窯業関連技術

釉薬瓦、普通煉瓦製造は生産設備を有する事業者は1社にすぎず、依頼試験による製品機能検査を主体に支援を行っている。

一方、陶磁器製造業界は長引く景気低迷による落ち込みは見られるもの、地域特性を生かした観光土産品づくりなど積極的取り組みが見られ、技術的にも確立されているので、代替原料の利用の支援に止まっている。

(4) 環境関連技術

「廃プラスチック類の用途開発研究」の研究をとおり、道路用路盤材・舗装材としての活用・実用について関連する業界を支援した。

突発的な水質汚濁に対応し、その対策を検討・支援した。

(5) その他の相談・支援

鉱産物資源分析に関わる資源利用技術支援

工業用・廃水の分析に関わる水処理技術支援

肥料分析結果に関わる農業団体・個人支援

3 今後の方向

従来から行っている依頼試験結果を基にした支援、生活環境に関する相談二 - ズへの対応更には企業から派遣されて来る技術者の受け入れ支援等をとおり、当所に設置されている設備の情報提供を行い、企業・業界が設備を利用しやすい環境を整え、企業の技術力向上を支援していく。

【応用生物部】

応用生物部は食品バイオテクノロジーの手法を応用した食品製造に関わる微生物の改良、及び酵素工学を活用した食品副産物、未利用資源からの食品素材の開発、並びに機能性・生理活性物質などの検索を行っている。また、環境関連の課題についても生分解性素材開発などにも取り組んでいる。

1 概況及び支援方針

全国的な不況のなかで各種商品の売り上げ不振による企業の倒産などが報道されている昨今であるが、なかにはリストラあるいは製造の合理化による経営改善などが行われている。

食品業界の最大の課題は社会や消費者が要求する安全性と環境保全はもちろんのこと、さらには機能性・生理活性物質などの強化商品への取り組みである。

業界に対する支援については技術相談、県単現地支援、などを随時実施する。また、支援に伴う成分分析あるいは微生物検査なども併せて実施することとしている。

2 各業界の技術支援

(1) 製パン業

県内製パン業はパン工業組合に所属している企業のほかに個人企業など多数みられるが、組合員の大半は学校給食に従事している。学校給食用のパン並びに米飯については(財)岩手県学校給食会の指導により原料配合量が指定され、これによる製造を余儀なくされている。さらに製品品質の審査会も行われている。このために岩手県パン工業組合より「学校給食用パンの品質向上」についての依頼がある。また、まれにはあるが異物混入があった場合のクレーム対策としての原因物質の検索などを実施している。

さらに毎年のことではあるが「製パン技術普及講習会」なども行っている。

3 今後の方向

県内パン業界は消費者ニーズにより多品種少量生産を余儀なくされているが、県全体では菓子パンなど特殊パンの売れ行きが好調で前年対比で微増の傾向にある。しかし、県内大手3社以外は社主自らが製造に携わるといった中小企業が大半を占めており、新商品開発に不可欠である研究試験室の設置や研究者の養成ができない状況にある。このような状況のなかではあるが、シェア拡大を考慮し、HACCP・ISOなどに対応した安全性を確保できるような製造環境の整備、衛生管理が必要である。

【醸造技術部】

1 概況及び支援方針

清酒製造業、果実酒、味噌、醤油業界を対象に、地域活性化アドバイザー支援（延べ3企業）、県単独支援（延べ74企業）、技術講習会等実施した。

2 各業界の技術支援の状況

(1)清酒製造業

流通構造の変化、酒類間競争の激化、低価格化への進行と業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。こうしたなか、オリジナル酒造好適米「吟ぎんが」の生産が2年目に入り、県内各社で吟醸酒仕込みを行い、盛岡、東京でキャンペーンを実施し、酒どころ岩手のイメージアップに大いに貢献した。また新たに「ぎんおとめ」が奨励品種に導入され、5社で醸造を行った。

1) 貯蔵出荷管理技術支援

貯蔵原酒の酒質と熟度を評価し、今後の貯蔵・出荷管理について適正な処置が図られることを目的として実施した。呑切り点数は25製造場、貯蔵清酒618点であった。熟度はやや若めから概ね適であった。酒質は、それぞれの商品にあわせた個性を持っており、猛暑にもかかわらず適正に管理されていた。

2) 清酒製造技術支援

平成12年産の県内水稲は作況指数「106」の良となった。好天に恵まれ、日照時間も多く登熟も順調で収量、品質ともに平年を上回った。「吟ぎんが」は、胴割れが少なく、1等比率98%と高く、吸水は幾分遅めであったが、高品質であった。気象条件は11～12月は平年並み、1月は低めの気温で、もろみ管理に苦労した。もろみでの溶けは例年に比べ低く、やや冷え込みに近いものも散見されたが、軽快な味のきれいな酒質であった。

(2)果実酒製造業

ワインブームも落ち着きを見せ、在庫不足も解消され、順調な年であった。また夏の好天に恵まれ、糖度が高い品質のよいブドウが収穫され、また原料の入荷も順調であった。しかし将来に向かってワイン専用種ブドウの確保のため栽培農家の育成を図っていく必要があると思われる。

林業技術センターで選抜育種している多収系高品質のヤマブドウの醸造適性評価について共同で試験研究を継続している。

(3)味噌、醤油製造業

味噌醤油の出荷量は全国的に見ても停滞気味である。地方色を生かした新商品開発が望まれている。

3 今後の方向

食品衛生に対する消費者の関心がますます高まっていくことが予想される。各業種に対して製造、品質管理体制の確立を図るとともに、地場産品を活用した新商品開発を支援していく。

【食品開発部】

1 概況および支援方針

平成12年度は特に雪印乳業の食中毒事件がきっかけとなり例年と比べてかなり多くの技術相談があった。この背景には、環境ホルモンや農薬などに代表される環境問題の顕在化や食物アレルギー問題などに対する一般消費者の関心の高まりがあり、食品の安全性に対する関心は今後ますます強まっていくものと考えられる。食品開発部が対象とする主な業界は菓子類、麺類、総菜、漬物等の製造業であり、企業規模は様々であるが大半が小規模企業である。技術指導内容としては食品衛生、食品保存、新製品開発と多岐にわたっている。当部では、技術相談、分析指導、技術講習会、地域団体の製品開発委員会や特産品コンクールの審査などを通じて企業のレベルアップを目指している。

2 各業界の技術支援の状況

(1)菓子製造業

技術相談内容としては、保存技術に関するものが多かった。団体支援として、遠野ふるさと公社の「遠野イメージキャラクター特産品開発事業」を支援した。また、宮古のいかせんべいの保存技術を支援した他、せんべい製造工程についてアドバイスした。

(2)麺製造業

12年4月1日から公正取引委員会の生めん類の表示に関する公正競争規約施行規則の別表に記載されている、名産、特産、名物等を表示する場合の基準に新たに盛岡冷麺が加えられた。今後は業界の方々の努力により定着してきた盛岡冷麺のブランドとしての地位を落とさぬよう、品質を維持していくことがますます重要になってきている。技術相談としては、包装袋内部への虫の侵入や、保存技術に関する相談が多かった。また、食品開発部で実施した試験結果を基にして雑穀を使用した冷麺の製造法について講習会を行い、普及を図った。平成12年度から新たに東北206号が「ねばりごし」として奨励品種となったが、本品種を用いて試作した麺の試食会を行い、適正な使用法について製麺業者との意見交換を行った。

(3) 総菜・漬物製造業

技術相談の中では虫の混入をはじめとする異物混入や異臭の発生などのクレーム処理についての相談が多かった。また、トウガラシの辛みの保持について技術相談があり、辛み成分の分析法を指導した。さらに「食品の品質管理食品事故、相談事例から」というテーマで漬物講習会を実施し、食品の品質管理について注意を喚起した。

3 今後の方向

- (1) 各企業共通課題として品質管理に関する技術支援を行う。
- (2) 企業訪問等を通じて各業界の現状把握に努め、企業の抱える技術上の問題点の解決に努める。
- (3) 各地区の商工団体等を中心とした各種製品開発事業への支援を行う。
- (4) 冷麺、ひつまみ等企業組合で取り組む事業に積極的に技術支援を行う。
- (5) 麺、菓子、総菜、漬物に加えて新たにパン業界の支援も行う。

-2 現地対応技術支援実績

(1)技術アドバイザー派遣

支援企業数	従業員	20人以下	21~50人	51~100人	101~300人	301人~		計
	規模別	6	3	2				11
	業態別	業態	創業企業	ベンチャー企業	その他中小企業			
数					11			11
診断支援の企業数(個別)	分類	経営	技術	人材	情報	その他		計
	件数		10			10		
診断支援の組合等の数(集団)	分類	経営	技術	人材	情報	その他		計
	件数		1			1		
1企業あたりの支援日数	最長	2日		最短	1日		平均	
		2日		1日	1.54日			

(2) 地域活性化アドバイザー登録者名簿(145名)

任期(H12.10.1~H14.9.30)

分野	氏名	所属及び役職名	指導技術分野	
電気(22名)	遠藤 良一	遠藤技術事務所代表	電子・情報・システム工学	
	原 宏行	(有)ソフトウインド代表取締役 中小企業診断士	情報工学・電子工学	
	関 亨士郎	岩手大学工学部教授	電気工学・電子工学	
	道上 修	岩手大学工学部教授	超電導・薄膜作成・装置化	
	藤原 民也	岩手大学工学部教授	プラズマ処理技術	
	柏葉 安兵衛	岩手大学工学部助教授	電子デバイス工学	
	岡 英夫	岩手大学工学部助教授	磁気応用工学	
	千葉 則茂	岩手大学工学部教授	情報工学	
	馬場 守	岩手大学工学部教授	電気工学・電子工学	
	尾山 茂	一関工業高等専門学校非常勤講師	電気工学・超音波工学	
	佐藤 清忠	一関工業高等専門学校講師	電子・情報・デザイン工学	
	鹿股 昭雄	仙台電波工業高等専門学校教授	計算機工学	
	加藤 靖	仙台電波工業高等専門学校教授	情報工学・計算機工学	
	久保田 賢二	岩手大学工学部電気電子工学科講師	電磁波工学	
	柴田 義孝	岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授	情報通信分野	
	土井 章男	岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授	情報工学	
	佐々木 淳	岩手県立大学ソフトウェア情報学部助教授	情報システム	
	南幅 留男	工業技術センター電子機械部長	電子回路、電子計測	
	藤澤 充	工業技術センター電子機械部上席専門研究員	コンピュータネットワーク、福祉用具評価技術	
	泉田 福典	工業技術センター電子機械部主任専門研究員	EMC、電子デバイス、電子材料、電子計測	
	長谷川辰雄	工業技術センター電子機械部主任専門研究員	プログラミング、ネットワーク通信	
	大坊 真洋	工業技術センター電子機械部主任専門研究員	電子デバイス、微細加工プロセス	
機械(17名)	石岡 幸夫	東北産業能率研究所所長	品質管理・生産管理	
	井上 繁	(株)共立盛岡工場生産技術担当課長	機械加工技術・品質管理	
	四戸 立男	四戸技術士事務所所長	機械加工・自動化・生産技術	
	藤田 壽彦	(株)常工代表取締役	機械加工・生産技術	
	井山 俊郎	岩手大学工学部教授	生産工学	
	岩淵 明	岩手大学工学部教授	トライボロジー	
	庄司 克雄	東北大学大学院教授(工学部)	機械加工	
	武藤 一夫	職業能力開発総合大学校講師	機械加工	
	仁科 健治		生産技術	
	佐々木 世治	一関工業高等専門学校教授	熱工学	
	佐藤 昭規	一関工業高等専門学校教授	材料工学、金属表面工学	
	島地 重幸	岩手大学工学部教授	機械システム工学	
	和合 健	工業技術センター電子機械部主任専門研究員	精密測定、計測技術、品質工学	
	若槻 正明	工業技術センター電子機械部上席専門研究員	機械加工、生産システム、自動化	
	堀田 昌宏	工業技術センター電子機械部主任専門研究員	機械加工、精密測定、旋削加工	
	飯村 崇	工業技術センター電子機械部専門研究員	精密加工、精密測定、計測システム	
	多田 三郎	工業技術センター木工特産部長	機械加工、精密測定	
	金属(22名)	中川 弘	中小企業診断士	鋳造技術・品質管理技術
		中村 満	岩手大学工学部助教授	金属加工技術
		堀江 皓	岩手大学工学部教授	鋳造技術
千田 昭夫		(有)エイ・シー技研代表取締役社長	非鉄合金鋳造技術	
長野 烈		長野烈工房代表	非鉄合金鋳造技術	
太田 英明		(財)中部科学技術センター研究企画部長	鋳造技術	
後藤 正治		秋田大学工学資源学部教授	鋳造技術	
片山 博		室蘭工業大学名誉教授	製錬技術	
原田 晴彦		(株)ダイヘン東北支社営業部部长	溶接・切断	
麻生 節夫		秋田大学工学資源学部助教授	鋳造工学	
内藤 武志		内藤技術士事務所代表	表面硬化処理、品質管理	
池 浩之		工業技術センター企画情報部主任専門研究員	金属材料一般	
川原 正弘		工業技術センター金属材料部長	接合技術、熱処理技術	
高橋幾久雄		工業技術センター金属材料部上席専門研究員	溶接技術、非破壊検査技術	
金属(22名)		米倉 勇雄	工業技術センター金属材料部上席専門研究員	鋳造加工、造型技術、鋳造法案
	勝負澤善行	工業技術センター金属材料部上席専門研究員	鋳造一般	
	鎌田 公一	工業技術センター金属材料部主任専門研究員	粉末冶金、熱処理、材料加工	
	茨島 明	工業技術センター金属材料部主任専門研究員	鋳造工学、工学解析	

金属（４名）	桑嶋 孝幸	工業技術センター金属材料部主任専門研究員	溶射による表面改質、セラミックス金属接合
	齋藤 貴	工業技術センター金属材料部専門研究員	超電導、磁気測定
	高川 貴仁	工業技術センター金属材料部専門研究員	金属材料一般
	大内 康弘	工業技術センター化学部長	金属材料一般
化学（２５名）	森 邦夫	岩手大学工学部教授	高分子材料化学
	熊谷 直昭	岩手大学工学部教授	電気化学
	佐藤 瀏	岩手大学工学部教授	有機合成化学・有機材料化学
	大石 好行	岩手大学工学部助教授	有機材料化学
	清水 健司	岩手大学工学部教授	化学工学
	小川 智	岩手大学工学部助教授	有機化学
	成田 榮一	岩手大学工学部教授	無機工業化学・環境化学
	小田嶋 次勝	一関工業高等専門学校教授	工業分析化学・環境化学
	中村 儀郎	岩手ネットワークシステム会長	高分子材料化学
	天野 修	(有)天野成形加工研究所代表取締役	高分子材料化学
	瀧川 雄治	岩手大学工学部教授	有機化学
	森 誠之	岩手大学工学部教授	表面技術・表面処理
	中澤 廣	岩手大学工学部教授	廃棄物一般
	海田 輝之	岩手大学工学部教授	廃水処理
	藤原 忠司	岩手大学工学部教授	廃棄物の有効利用
	平原 英俊	岩手大学工学部助手	高分子化学・ゴム工業
	佐野 茂	一関工業高等専門学校教授	化学工学、粉体工学
	河野 隆年	工業技術センター副所長	分析化学、化学一般
	佐々木英幸	工業技術センター企画情報部上席専門研究員	プラスチック技術一般、成形加工等
	小向 隆志	工業技術センター化学部上席専門研究員	表面技術一般、廃水処理技術
	佐々木 陽	工業技術センター化学部上席専門研究員	繊維化学物理一般、木材化学一般
	瀨川 晃児	工業技術センター化学部上席専門研究員	窯業技術一般、分析技術
	佐々木秀幸	工業技術センター化学部主任専門研究員	環境関連技術一般、リサイクル関連技術
	鈴木 一孝	工業技術センター化学部主任専門研究員	メッキ技術、表面処理技術、表面分析
藤原 智徳	工業技術センター化学部技師	分析技術一般、水質分析	
木工（５名）	渡引 弥助	木製建具職	木材加工技術
	菅野 国男	職業能力開発総合大学校助教授	木質材料・物性、木材乾燥
	高橋 民雄	工業技術センター木工特産部上席専門研究員	木工加工一般
	浪崎 安治	工業技術センター木工特産部上席専門研究員	木材加工、木材接着、木材乾燥
	有賀 康弘	工業技術センター木工特産部主任専門研究員	木材加工、デザイン
繊維（３名）	蓮見 雄治	JICA専門家	アタッチメント製造技術
	西村 禎造	縫製工場技術コンサルタント	生産管理技術
	大和 進	工業技術センター木工特産部上席専門研究員	紡績、燃糸、製織、縫製、ニット
塗装（２名）	真柄 文男	斎藤(株)取締役常務	塗装技術
	穴沢 靖	工業技術センター化学部主任専門研究員	塗装技術一般、塗膜評価試験
デザイン（１０名）	荻野 克彦	(有)荻野デザイン事務所代表	クラフトデザイン
	羽生 道雄	東北芸術工科大学名誉教授	工業デザイン
	松風 正幸	(有)松風・安東デザイン事務所代表取締役	工業デザイン
	高橋 勇介	岩手工芸技術協会会長	漆工技術・商品開発
	木田 健一	テルモ(株)広告・デザイン部長	商品・デザイン開発
	岩井 美佐子	ミサデザインスタジオ代表	商品開発・デザイン
	及川 利春	オイカワデザイン室代表	エディトリアルデザイン
	町田 俊一	工業技術センター木工特産部上席専門研究員	デザイン一般、プロダクトデザイン
	小林 正信	工業技術センター木工特産部専門研究員	プロダクトデザイン、漆工技術
	長嶋 宏之	工業技術センター木工特産部専門研究員	デザイン一般、コンピュータデザイン
福祉（１名）	大川井 宏明	岩手大学工学部助教授	超音波医学、超音波工学

	大森 勝雄	(株)岩手銘醸 顧問	酒類製造技術
	小野 伴忠	岩手大学農学部教授	食品工業全般
	城戸 良悦	喜久盛酒造(株)取締役	酒類製造技術
	櫻井 米吉		食品工業全般
	佐竹 秀雄	農産加工技術技術コンサルタント	漬物製造技術
	関澤 憲夫		食品工業全般
	武山 照愿	グリーンバル	パン製造技術
	前田 安彦	宇都宮大学名誉教授	漬物製造技術

食品（38名）

村井 一男		食品工業全般
吉田 隆一	岩手県味噌醤油工業協同組合事務局長	味噌・醤油製造技術
西澤 直行	岩手大学農学部応用生物学科教授	食品機能学
種谷 新一	(株)ダルトン執行役員技術本部長	乳肉製品・食品製造一般
三浦 靖	岩手大学農学部助教授	食品製造一般
田中 好雄	田中技術士事務所	衛生管理
菅 徳助	自営	衛生管理
菅野 健美	(株)リオパ`-加-取締役工場長	パン製造技術
若尾 紀夫	岩手大学農学部教授	応用微生物学
磯部 公安	岩手大学農学部助教授	応用微生物学、酵素化学
塚本 知玄	岩手大学農学部助教授	食品科学
石川 雄章	前国税庁醸造研究所長	酒類製造技術
川村 杉生	工業技術センター副所長	微生物保存
斉藤 博之	工業技術センター企画情報部長	酒造一般、酒造原料米、統計解析
山本 忠	工業技術センター企画情報部上席専門研究員	生物工学
大澤 純也	工業技術センター応用生物部長	食品製造、食品加工、発酵生産
小浜 恵子	工業技術センター応用生物部主任専門研究員	遺伝子工学、生物工学、微生物利用
岸 敦	工業技術センター応用生物部専門研究員	バイオテクノロジー
伊藤 良仁	工業技術センター応用生物部専門研究員	食品加工、食品保存技術、酵素利用
平野 高広	工業技術センター応用生物部専門研究員	生物工学、発酵生産
桜井 廣	工業技術センター醸造技術部長	醸造一般、清酒、果実酒、ミソ、醤油醸造技術
中山 繁喜	工業技術センター醸造技術部主任専門研究員	酒造一般、清酒等の製造鑑評、味センサー
畑山 誠	工業技術センター醸造技術部主任専門研究員	醸造一般、ミソ、醤油醸造技術
米倉 裕一	工業技術センター醸造技術部主任専門研究員	食品製造技術、微生物利用技術、成分分析
高橋 亨	工業技術センター醸造技術部専門研究員	生化学、酵素利用、未利用資源の有効利用
荒川 善行	工業技術センター食品開発部長	食品加工、食品衛生、食品保存技術
遠山 良	工業技術センター食品開発部上席専門研究員	食品加工、食品保存技術
関村 照吉	工業技術センター食品開発部上席専門研究員	食品一般、麺類、漬物、食品保存、保蔵
笹島 正彦	工業技術センター食品開発部主任専門研究員	食品衛生
武山 進一	工業技術センター食品開発部主任専門研究員	食品加工・保存技術、食品分析（機械分析）

- 3 講習会

(1) 国庫補助事業

講習会名	開催月日	テーマ	講師(所属・氏名)	開催場所	受講者数
電子機械部					
機械加工技術講習会	11/21	工程改善による生産性の向上と難削材加工	京セラ(株)機械工具事業部 松井 覚	工業技術センター	29
電子応用技術講習会	2/23	収束イオンビームと電子ビーム露光による微細加工		工業技術センター	12
		(1)電子ビームによるレジストの直接描画	(株)エリオニクス 田口 圭男		
		(2)収束イオンビームによる微小孔開け加工	セイコーインスツルメンツ(株) 室宮 知次		
木工特産部					
漆器デザイン	2/28	乾漆のデザインと作成技術	東京芸術大学 増村 紀一郎	デザインセンター	16
金属材料部					
溶射加工技術講習会	10/11	最近の溶射技術と循環型社会における溶射技術の役割	大阪大学接合科学研究所 再帰循環システム研究センター長 大森 明	(財)釜石・大槌地域産業育成センター	18
レーザ加工技術講習会	10/19	「高出力YAGレーザによる加工特性と適用」	日鉄溶接工業(株)機器・オプト事業部 園田 弘文、奥山 健二	工業技術センター	20
		「パルスYAGレーザとその加工技術」	芝浦メカトロニクス(株) 自動機・レーザシステム事業部 村田 徹		
材料加工技術講習会	1/30	「接合技術の最新技術動向～最近の話題から～」	岩手大学工学部材料物性工学科 助教授 中村 満	(財)釜石・大槌地域産業育成センター	29
		「ステンレス鋼およびアルミニウム合金の溶接加工の実際」	(株)神戸製鋼所溶接カンパニー 営業部技術サービス室 技師 蛸谷 正敏		
鋳造加工技術講習会	3/8	「超音波振動による結晶粒の微細化」	金属材料技術研究所材料創製ステーション 大澤 嘉昭	工業技術センター	23
応用生物部					
製パン技術普及	7/28	地場パンのあるべき姿	レオン自動機(株) 高橋 利光	工業技術センター	39
技術普及	2/13	雑穀の有効性	元岩手県農業試験場長 古沢 典夫	石鳥谷町中央公民館	85
食品開発部					
製麺技術講習会	2/16	岩手県産小麦206号を使用したうどんの製造について	工業技術センター、食品開発部 関村	工業技術センター	24
製麺技術講習会	2/16	雑穀入り冷麺の製造について	工業技術センター、食品開発部 武山	工業技術センター	24
漬物講習会	11/22	食品の品質管理・食品事故、相談事例から	工業技術センター、食品開発部 荒川	工業技術センター	24

(2) 県単独事業

講習会名	開催月日	テーマ	講師(所属・氏名)	開催場所	受講者数
木工特産部					
木材加工技術講習会	4/21	木材の曲げ木材加工技術	(株)フクモト営業部第2課長 大講眞弘	工業技術センター	31
木材加工技術講習会	8/25	住環境と接着剤	コニシ(株)東京支店技術部マネジャ 井上雅雄	岩谷堂箆笥生産協 同組合	20
コンピュータ操作研修	2/26	コンピュータ操作研修	住商エレクトロニクス 蒲生則太郎・窪田武明	工業技術センター	6
織物安定化技術	3/9	ポリエステル織物の安定化	工業技術センター 大和 進	(株)サンワドレス	19
金属材料部					
技術ハイオニア養成事業 技術研修	6/9	データのとりまとめ方について	岩手大学人文社会科学部 教授 石川明彦	工業技術センター	6
醸造技術部					
岩手県酒造講習会	11/1	原料米・酵母	工業技術センター 高橋亨	工業技術センター	60
		酒造技術全般・きき酒	工業技術センター 中山繁喜		
		酒母・麹・もろみ	(株)あさ開 佐藤智博		
		酒税法	盛岡税務署 太田正憲		
岩手県酒造講習会	11/2	酒造概要	岩手県酒造協同組合 小嶋久	岩手県酒造組合	46
		12酒造年度の造りについて	工業技術センター 櫻井廣		
		13酒造年度の造りについて	仙台国税局鑑定官室 浜田由紀雄		
		吟醸造り	(財)日本醸造協会 石川雄章		

(3) 中小企業事業団

講習会名	開催月日	テーマ	講師(所属・氏名)	開催場所	受講者数
電子機械部					
ものづくりIT講習会	2/15～16	CAD/CAMのネットワークによる生産機械のモニタ並びに制御		工業技術センター	13
		(1) 3次元CAD/CAMとネットワークの概要	工業技術センター 若槻正明		
		(2) 生産システム管理・制御ソフトウェア	ファナック(株) 小野幸男		
		(3) CIMPLICITYによる工作機械のモニタ制御実習	ファナック(株) 小野幸男		
		(4) CNC工作機械とネットワーク及びデータ授受	(株) 森精機製作所 中村真		
		(5) CNC工作機械とネットワーク及びデータ授受実習	(株) 森精機製作所 中村真、蓮池一浩		
ものづくりIT講習会	2/27～28	3次元CAD/CAMシステムを用いた設計・製作並びに異機種間CAD/CAMシステムのデータ交換につ		工業技術センター	14
		(1) 3次元CAD/CAMシステムの概要	工業技術センター 若槻正明		
		(2) Pro/Engineerの概要	日本パラメトリクテクノロジー(株) 森伸一・川村智人		
		(3) 3次元CAD/CAMシステムの実際(実習)	日本パラメトリクテクノロジー(株) 森伸一・川村智人・多田文彦		
		(4) CAD/CAMシステムのトポロジ、形状、精度の相違について	工業技術センター 若槻正明		
		(5) 既存データ交換フォーマットについて	日本ユニシス(株) 土方豊		
		(6) CAD fixによるデータ修正について	日本ユニシス(株)・工業技術センター 土方豊・センター職員		

- 4 派遣

(1) 講師

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
電子機械部				
5/22	第1回情報端末機器調達審査委員会	盛岡市 県庁	情報科学課	南幅 留男
5/25	精密工学会運営委員会	仙台市 勾当台会館	精密工学会	若槻 正明
5/30	第1回花巻市起業化支援センター運営委員会	花巻市 花巻市起業化支援センター	花巻市	南幅 留男
7/17	テクノレッジネットワークスフォー	つくば市 都立産技研	機械技研	若槻 正明
7/29	テクノレッジネットワークWG委員会	東京都 (株)三菱総研	機械技研	若槻 正明
8/10	第2回花巻市起業化支援センター運営委員	花巻市 花巻市起業化支援センター	花巻市	南幅 留男
8/21	第2回情報端末機器調達審査委員会	盛岡市 県庁	情報科学課	南幅 留男
8/30	テクノレッジネットワークWG第2回委員会	東京都 (株)三菱総研	機械技研	若槻 正明
9/1	WTH水沢研究推進委員会・開発委員会	水沢市 WTH水沢	WTH水沢	南幅 留男 長谷川 辰雄
9/22	中小企業創造技術開発委員会「フロンティア釜石」	釜石市 釜石大槌産業育成センター	協同組合フロンティア釜石	南幅 留男
10/10	中小企業創造技術開発委員会「協同組合オーベツ」	水沢市 水沢サンパレスホテル	協同組合オーベツ	南幅 留男
11/10	WTH水沢運営部会・開発委員会	水沢市 WTH水沢	WTH水沢	南幅 留男 長谷川 辰雄
11/21	第3回花巻市起業化支援センター運営委員会	花巻市 花巻市起業化支援センター	花巻市	南幅 留男
1/11	テクノレッジネットワークWG第3回委員会	東京都 (株)三菱総研	機械技研	若槻 正明
3/16	テクノレッジネットワークWG第4回委員会	東京都 (株)三菱総研	機械技研	若槻 正明
3/26	第4回花巻市起業化支援センター運営委員会	花巻市 花巻市起業化支援センター	花巻市	南幅 留男
3/26	花巻市起業化支援センター新事業創出・評価委員会	花巻市 花巻市起業化支援センター	花巻市	南幅 留男

木工特産部

4/11	新しい曲げ木	花巻市 花巻職業訓練協会	花巻職業訓練協会	高橋民雄
5/9~17	LL事業に伴うフィラード調査	ヘルシンキ・他	ジェトロ	町田俊一
6/22	平成12年度クラフトマン養成塾講師	大野村 大野村産業デザインセンター	大野村産業デザインセンター	町田俊一
9/14	日本感性工学会第2回大会	東京都 工学院大学	日本感性工学会	町田俊一
12/20	平成12年度クラフトマン養成塾講師	大野村 大野村産業デザインセンター	大野村産業デザインセンター	町田俊一

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
----	----	------	------	-------

金属材料部

12/21	溶射加工技術講習会	釜石機械金属工団地組合事務所	岩手県中小企業団体中央会	桑嶋 孝幸
1/25	溶接パス間温度管理技術講習会	工業技術センター	岩手県鉄構工業協同組合	桑嶋 孝幸
2/9	客員研究員シンポジウム	岩手大学	岩手大学地域共同研究センター	高橋幾久雄

化学部

3/17	INS環境リサイクル研究会	岩手大学	INS環境リサイクル研究会	佐々木秀幸
8/23	めん羊講演会・フォーラム	小岩井農場	日本綿羊協会	佐々木陽
9/5	クリ－ニング師研修及び業務従事者研修	宮古市民文化会館	(財)岩手県環境衛生営業指導センター	佐々木陽
9/25	〃	花巻市民文化会館	(財)岩手県環境衛生営業指導センター	佐々木陽
5/19	第10回化学工学一関セミナー	岩手県南技術研究センター	化学工学会東北支部・岩手化学工学懇話会	佐々木陽
12/7	第39回岩手県接合技術研究会	工業技術センター	岩手県接合技術研究会	鈴木一孝
6/29・30	J I S品質管理講習会	北限閣	岩手県生コンクリート工業組合	大内康弘
1/9	表面処理技術研究会	地域交流センター	表面処理技術研究会	佐々木 陽

醸造技術部

4/4～7	第82回南部杜氏自醸清酒鑑評会	石鳥谷町 南部杜氏研修所	(社)南部杜氏協会	中山繁喜 櫻井廣
4/21	しょうゆJASきき味	盛岡市 岩手県味噌醤油工業協同組合	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠
5/24	しょうゆJASきき味	盛岡市 岩手県味噌醤油工業協同組合	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠
7/14	石鳥谷町酒造大学	石鳥谷町、紫波町 南部杜氏研修所	(社)南部杜氏協会	櫻井廣
7/24	南部杜氏資格選考試験	石鳥谷町 南部杜氏研修所	(社)南部杜氏協会	高橋亨
7/25～28	南部杜氏夏季酒造講習会	石鳥谷町 石鳥谷町公民館、紫波町農協水	(社)南部杜氏協会	中山繁喜 高橋亨 畑山誠 櫻井廣
7/26	しょうゆJASきき味	盛岡市 岩手県味噌醤油工業協同組合	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠
8/23	清酒製造技術	山形市 山形県工業技術センター	山形県工業技術研修所	櫻井廣
8/29	石鳥谷町酒造大学	石鳥谷町 岩手県工業技術センター	(社)南部杜氏協会	中山繁喜 畑山誠 高橋亨
8/29	夏季酒造講習会	会津若松市 アピオスペース	会津若松酒造組合	櫻井廣
9/28	しょうゆJASきき味	盛岡市 岩手県味噌醤油工業協同組合	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠
10/5～6	第1回仙台地方酒類審議会	仙台市 仙台国税局鑑定官室	仙台国税局	櫻井廣

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
10/23~26	第2回仙台地方酒類審議会	仙台市 仙台国税局鑑定官室	仙台国税局	中山繁喜 櫻井廣
10/24	しょうゆJASきき味	盛岡市 岩手県味噌醤油工業協同組合	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠
10/26	日本酒造史学会	盛岡市 大清水多賀	日本酒造史学会	中山繁喜
10/27	出羽燦々求評会	山形市 山形県工業技術センター	山形県工業技術センター	櫻井廣
11/29	しょうゆJASきき味	盛岡市 岩手県味噌醤油工業協同組合	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠
2/20	味噌製造講習会	盛岡市 岩手県工業技術センター	松尾村	畑山誠
2/27	しょうゆJASきき味	盛岡市 岩手県味噌醤油工業協同組合	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山誠

食品開発部

11/14	岩手県における食品加工の実際	盛岡市 岩手県工業技術センター	岩手大学教育学部家政教育講座	遠山 良
12/22	食品のテクスチャー測定法	盛岡市 岩手県工業技術センター	盛岡大学短期大学部食物栄養科	遠山 良
3/5	岩手食品加工研究会技術講演会	盛岡市 岩手県工業技術センター	岩手食品加工研究会	荒川 善行 遠山 良

(2) 審査員

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
----	----	------	------	-------

企画情報部

8/24	いわて産業振興センター支援対象企業審査委員会出席	盛岡市内丸 県庁	いわて産業振興センター	齋藤 博之
10/25	(財)いわて産振センター支援対象企業審査委員会	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之
12/8	支援対象企業審査委員会	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之
2/13	(財)いわて産業振興センター支援対象企業審査委員会への出席	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	和合 健
2/20	産振センター支援対象企業審査委員会	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之

木工特産部

5/17	いわて男女協同参画シンボルマ-クの審査	盛岡市 県民会館	県生活環境部	有賀康弘
9/18	岩手県統計グラフコンク-ル審査会	盛岡市 岩手県庁	県統計調査課	長嶋宏之
10/30	第23回生漆共進会審査	浄法寺町 浄法寺社会福祉会館	浄法寺町生漆生産者組合	町田俊一
11/17	岩手県観光みやげ品推奨審査会	盛岡市 盛岡市農林会館	岩手県観光連盟	多田部長

金属材料部

4/18	台40回岩手県溶接技術競技会審査委員会	工業技術センター	(社)日本溶接協会 岩手県支部	川原正弘 高橋幾久雄 桑嶋孝幸
2/15	建築鉄骨製作企業の性能評価	宮古市・(有)佐々木鉄工所	(社)全国鐵構工業協会	高橋幾久雄
3/2	第41回岩手県溶接技術競技大会審査委員会	工業技術センター	(社)日本溶接協会 岩手県支部	川原正弘 高橋幾久雄 桑嶋孝幸
3/10	第41回岩手県溶接技術競技大会・代表選抜大会	ポリテクセンター岩手	(社)日本溶接協会 岩手県支部	高橋幾久雄 桑嶋孝幸

化学部

6/16	平成12年度前期技能検定実技試験実施打ち合わせ	岩手県工業技術センター	職業能力開発協会	酒井晃二
8/29	平成12年度クリーニング師国家試験官	岩手県合同庁舎	(財)岩手県環境衛生営業指導センター	佐々木 陽

食品開発部

11/17	第42回観光みやげ品推奨委員会	盛岡市 農林会館	(社)岩手県観光連盟	荒川 善行
11/10	2000陸前高田市産業まつり特産品コンクール	陸前高田市 陸前高田シーサイドターミナル(タビック45)	陸前高田市産業まつり実行委員会	遠山 良
11/2	第29回躍進いわての産業まつり「特産品コンクール」	盛岡市 岩手県産業文化センター	(社)岩手県産業貿易振興協会	遠山 良
1/23	イーハトーブ雑穀再発見セミナー	花巻市 株道奥 金婚亭	花巻農業改良普及センター、花巻地方農業振興協議会	荒川善行 関村照吉 笹島正彦

(3) 委員

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
総務部				
5/18	労働大臣が行う卓越技能者に係る被表彰候補者審査会	盛岡市 県庁	商工労働観光部長	菊池 毅逸
6/22	地域産業創業機会創出事業基本構想委員会	盛岡市 北ホテル	商工労働観光部長	菊池 毅逸
6/29	パ・トナ・バンク事業推進委員会	北上市 北上リゾートホテル	岩手県商工会連合会	川村 杉生
7/7	水沢市鋳物まつり審査委員会	水沢市 伝統産業会館	水沢鋳物まつり実行委員会	河野 隆年
8/7	いわてISO認証取得研究会参加企業審査委員会	盛岡市 マリオス	(財)いわて産業振興センター-理事長	河野 隆年
8/30	岩手県中小企業創造活動事業計画等審査委員会	盛岡市 県庁	工業振興課長	河野 隆年
9/22	地域資源等活用型起業化等事業委員会	水沢市 水沢鋳物工業協同組合	水沢鋳物工業協同組合理事長	河野 隆年
10/3	岩手県ふるさと食品コンクール審査会	盛岡市 県民生活センター	農政部長	川村 杉生
10/4	盛岡市技能功労者表彰委員会	盛岡市 勤労福祉会館	盛岡市長	河野 隆年
10/11	岩手県地域結集型共同研究事業推進委員会	盛岡市 ホテルメトロポリタンNW	(財)いわて産業振興センター-理事長	河野 隆年
10/25	岩手県中小企業創造活動事業計画等審査委員会	盛岡市 県庁	工業振興課長	河野 隆年
10/27	岩手県バイオテクノロジー-研究調整会議	盛岡市 県民会館	農政部長	川村 杉生
11/7	岩手県研究開発推進連絡会議	盛岡市 県庁	企画振興部次長	河野 隆年
1/23	(財)岩手県南技術研究センター-運営委員会	一関市 (財)岩手県南技術研究センター	(財)岩手県南技術研究センター-理事長	河野 隆年
2/21	入居企業事業評価報告会	盛岡市 マリオス	(財)いわて産業振興センター-理事長	河野 隆年
3/21	岩手県中小企業創造活動事業計画等審査委員会	盛岡市 北ホテル	工業振興課長	河野 隆年
3/22	(財)岩手県生物工学研究センター-中核研究員選考委員会	盛岡市 公会堂	(財)岩手県生物工学研究センター-理事長	河野 隆年
3/22	地域産業創業機会創出事業基本構想委員会	盛岡市 北ホテル	工業振興課長	菊池 毅逸
3/22	岩手県地域ものづくり協議会	盛岡市 公会堂	岩手県地域ものづくり協議会長	河野 隆年
3/27	地域資源等活用型起業化等事業委員会	水沢市 水沢鋳物工業協同組合	水沢鋳物工業協同組合理事長	河野 隆年
企画情報部				
4/14	中小製造業集積構造調査研究WG第5回出席	盛岡市 マリオス	(財)中小企業研究総合機構	齋藤 博之
4/28	岩手県研究開発推進連絡会議WG(第3回)出席	盛岡市 県庁	情報科学課	佐々木 英幸
5/19	岩手県研究開発推進連絡会議WG第4回	盛岡市 県庁	情報科学課	齋藤 博之

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
6/2	第1回盛岡市少年少女 発明クラブ企画運営委 員会出席	盛岡市 子ども科学館	盛岡市少年少女発明クラ ブ	齋藤 博之
6/7	第1回中小企業アウト ソーシング支援事業委 員会出席	盛岡市内丸 県庁	岩手県中小企業団体中央 会	齋藤 博之
7/3	北上市基盤技術支援セ ンター運営委員会出席	北上市相去 北上市基盤技術支援センター	北上市基盤技術支援セン ター	齋藤 博之
7/4	第1回中小企業マーケ ティング強化支援事業 委員会出席	盛岡市内丸 県庁	岩手県中小企業団体中央 会	齋藤 博之
7/14	花巻市起業化支援セン ター開放事業開催準備 委員会出席	花巻市 花巻市起業化支援センター	花巻市起業化支援セン ター	佐々木 英幸
7/24	地域プラットフォーム 活動推進連絡会	盛岡市 商工会連合会	いわて産業振興センター	齋藤 博之
7/26	専門家派遣事業支援助 象審査委員会出席	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之
8/1	第1回RSP事業ワー キング委員会出席	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	佐々木 英幸
8/8	第2回中小企業マー ケティング強化支援 事業委員会出席	盛岡市菜園	岩手県中小企業団体中央 会	齋藤 博之
8/28	第3回地域プラット フォーム活動推進連絡 会出席	盛岡駅西通 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之
8/29	第1回事業可能性評価 委員会出席	盛岡駅西通 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之
9/6~7	第1回岩手県産学官連 携連絡会出席	盛岡市繫	岩手大学	齋藤 博之
9/26	第1回岩手県産学官連 携連絡会出席	盛岡市 岩手大学	岩手大学	佐々木 英幸
9/27	岩手農林研究協議会 (AFR)拡大幹事会 出席	盛岡市 岩手大学	岩手農林研究協議会	齋藤 博之
10/2	RSPワーキング委員 会出席	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	佐々木 英幸
10/6	第5回岩手県研究開発 推進連絡会議WG	盛岡市 岩手大学	岩手大学	齋藤 博之
10/11	第4回地域プラット フォーム活動推進連絡 会議出席	盛岡市盛岡駅西通 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之
10/13	岩手県公共・大学・専 門図書館等連絡協議会 出席	三陸町	岩手県公共・大学・専門 図書館連絡協議会	高橋 政江
10/23	岩手県海外研修員受入 関係機関連絡会議	盛岡市内丸	文化国際課	齋藤 博之
11/7	岩手県産学官連携連絡 会	盛岡市 岩手大学	岩手大学	富手 壮一
11/14	第2回事業化可能性評 価委員会	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之
12/1	産業集積関連機関技術 連絡会議出席	花巻市 花巻市起業化支援センター	花巻市起業化支援セン ター	齋藤 博之 佐々木 英幸

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
12/13	盛岡市青少年発明クラブ企画運営委員会	盛岡市 子ども科学館	盛岡市	齋藤 博之
12/15	第5回地域プラットフォーム活動推進連絡会出席	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之
12/18	第5回地域プラットフォーム活動推進連絡会議	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	佐々木 英幸
1/9	第3回岩手県産学官連携連絡会出席	盛岡市 岩手大学	岩手大学	佐々木 英幸
1/11	連携大学院ワーキンググループ会議	盛岡市 岩手大学	岩手大学	齋藤 博之
1/15	連携大学院ワーキンググループ会議	盛岡市 岩手大学	岩手大学	佐々木 英幸
1/19	連携大学院WG出席	盛岡市 岩手大学	岩手大学	齋藤 博之
1/29	連携大学院に係るワーキング	盛岡市 岩手大学	岩手大学	佐々木 英幸
2/5	RSP事業ワーキング委員会出席	盛岡市	いわて産業振興センター	佐々木 英幸
2/20	連携大学院整備に係るワーキング	岩手大学	岩手大学	佐々木 英幸
2/26	連携大学院整備に係るワーキング	盛岡市菜園 1	岩手大学	齋藤 博之
3/6	第4回産学官連携連絡会議	岩手大学	いわて産業振興センター	佐々木 英幸
3/7	INS環境リサイクル研究会講演会出席	岩手大学	INS	高橋 政江
3/9	東北リエゾン機関ネットワーク会議	盛岡市 マリオス	岩手大学	齋藤 博之
3/12	事業可能性評価委員会	岩大農学部	岩手県中小企業団体中央会	齋藤 博之
3/13	第7回地域プラットフォーム活動推進連絡会	岩手県立大学	いわて産業振興センター	齋藤 博之
3/21	岩手大学AFR幹事会	仙台市	岩手農林研究協議会	齋藤 博之
3/21	事業可能性評価委員会	盛岡駅西通 2	岩手県中小企業団体中央会	佐々木 英幸

木工特産部

4/21	(財)クラフトセンター - ジャパン理事会	東京都 丸善ビル	(財)クラフトセンター - ジャパン	町田俊一
7/18	第1回低コスト岩手オリジナル学校家具開発検討委員会	盛岡市 県議会第2会議室	県林業水産部	有賀康弘
7/21	地域クル-ブ活力岩手21 鑄造研究フォーラム事業	盛岡市 盛岡市総合福祉センター	岩手21 鑄造研究フォーラム	町田俊一 小林正信
7/25	販売促進モデル事業第1回プロジェクト委員会	江刺市 ホテルニュー - 江刺イ - ズ	岩谷堂箆笥生産協同組合	浪崎安治
7/26	平成12年度第1回公共施設木材利用促進部会及び第1回庁内物品	盛岡市 県民会館会議室	県林業水産部	有賀康弘

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
7/26	平成12年度第1回庁用物品等木質化促進部会	盛岡市 県民会館会議室	県林業水産部	有賀康弘
7/28	(財)クラフトセンター - ジャパン理事会	東京都 丸善ビル	(財)クラフトセンター - ジャパン	町田俊一
7/31	第1回地場産品展示普及等支援事業実行委員会	盛岡市 県民会館会議室	盛岡地域地場産業振興センター	有賀康弘
7/31~8/1	平成12年度地場産業総合振興対策事業	大野村 グリーンヒル大野	大野ふるさと公社	町田俊一 小林正信
7/31	地場産品展示普及支援事業	盛岡市 盛岡手づくり村	(財)盛岡地域地場産業支援センター -	町田俊一
8/9	生成12年度中小企業活路開拓調査・実現化事業第1回新需要開発	盛岡市 県立産業デザインセンター -	岩手県チップ協同組合	浪崎安治
8/9	いわて夢住宅推進協議会	盛岡市 水産会館3F会議室	県林業水産部	高橋民雄
8/23	第6回盛岡手づくり村施設拡充計画検討委員会	盛岡市 盛岡市勤労福祉会館	盛岡市	多田部長
8/24	地域資源活用型起業化等実行委員会	盛岡市 ホテルサンオ - エン	盛岡市	多田部長
9/12~13	いわて夢住宅推進協議会	青森県 木造住宅普及推進協同組合モデル住宅	県林業水産部	高橋民雄
9/12	生成12年度中小企業活路開拓調査・実現化事業第2回新需要開発	弘前市 青森県工業試験場	岩手県チップ協同組合	浪崎安治
9/12	いわて手づくり工人展審査	盛岡市 盛岡手づくり村	いわて手づくり工人展実行委員会	町田俊一
9/18	平成12年度地場産業振興事業	安代町 安代町若者センター -	安代漆器試作研究会	町田俊一
9/22	(財)クラフトセンター - ジャパン理事会	東京都 丸善ビル	(財)クラフトセンター - ジャパン	町田俊一
10/23	第2回低コスト若手オリジナル学校家具開発検討委員会	盛岡市 県庁会議室	県林業水産部	有賀康弘
11/24	(財)クラフトセンター - ジャパン理事会	東京都 丸善ビル	(財)クラフトセンター - ジャパン	町田俊一
12/22	いわて夢住宅推進協議会	盛岡市 県民会館会議室	県林業水産部	高橋民雄
12/22	平成12年度地場産業振興事業	安代町 安代町若者センター -	安代漆器試作研究会	町田俊一
1/21	若手21 鑄造研究地域グル - プ活動フォーラム事業	盛岡市 マリオスビル会議室	若手21 鑄造研究フォーラム	町田俊一
1/30	平成12年度地場産業総合振興対策事業	大野村 グリーンヒル大野	大野ふるさと公社	町田俊一 小林正信
2/5~7	平成12年度中小企業活路開拓調査・実現化事業第3回需要開発委	京都・滋賀・愛知 京都大木質科学研究所関西産業(株)他2企業	岩手県チップ協同組合	浪崎安治
2/15	いわて夢住宅推進協議会	盛岡市 水産会館	県林業水産部	高橋民雄
2/23	(財)クラフトセンター - ジャパン理事会	東京都 丸善ビル	(財)クラフトセンター - ジャパン	町田俊一
2/26	第7回盛岡手づくり村施設拡充計画検討委員会	盛岡市 盛岡市勤労福祉会館	盛岡市	多田部長

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
3/15～16	平成12年度地場産業振興事業	東京都 八重洲タ - ミナルホテル	安代漆器試作研究会	町田俊一
3/16	販売促進モデル事業プロジェクト委員会	江刺市 ホテルニュー - 江刺イ - ズ	岩谷堂箆笥生産協同組合	浪崎安治
3/19～20	平成12年度地場産業総合振興対策事業	東京都 八重洲タ - ミナルホテル	大野ふるさと公社	町田俊一 小林正信
3/22	地域資源活用型起業化等実行委員会	盛岡市 ホテルサンオ - エン	(協) 岩手木工センタ -	多田部長
3/22	いわて夢住宅推進協議会	盛岡市 北ホテル	県林業水産部	高橋民雄

金属材料部

7/19	平成12年度(社)日本鑄造工学会東北支部理事会	秋田大学	(社)日本鑄造工学会東北支部	勝負澤善行
7/21	岩手21鑄造研究フォーラム	盛岡市総合福祉センター	岩手21鑄造研究フォーラム事業委員会	勝負澤善行
11/2	平成12年度(社)日本鑄造工学会東北支部理事会	宮城県産業技術総合センター	(社)日本鑄造工学会東北支部	勝負澤善行
12/20	(社)全国鉄構工業協会第1回評価委員会	ホテルサンルート仙台	(社)全国鉄構工業協会	高橋幾久雄
1/12	岩手21鑄造研究フォーラム	マリオス	岩手21鑄造研究フォーラム事業委員会	勝負澤善行 茨島明 高川 貴仁

化学部

8/8	金属塗装	岩手職業訓練協会	岩手県職業能力開発協会	六沢 靖
9/2	噴霧塗装	日東工業(株) 花巻市	岩手県職業能力開発協会	六沢 靖

食品開発部

12/18	第1回「乾しいたけ」振興アクションプラン検討委員会	盛岡市 ホテルロイヤル盛岡	岩手県商工労働観光部商政課岩手ブランド推進室	荒川善行
2/9	第2回「乾しいたけ」振興アクションプラン検討委員会	盛岡市 ホテルロイヤル盛岡	岩手県商工労働観光部商政課岩手ブランド推進室	荒川善行
3/14	第3回「乾しいたけ」振興アクションプラン検討委員会	盛岡市 ホテルロイヤル盛岡	岩手県商工労働観光部商政課岩手ブランド推進室	荒川善行
1/18	第1回遠野イメージキャラクター特産品開発委員会	遠野市 遠野風の丘	遠野ふるさと公社	遠山 良
2/2	第2回遠野イメージキャラクター特産品開発委員会	遠野市 遠野風の丘	遠野ふるさと公社	遠山 良
2/27	第3回遠野イメージキャラクター特産品開発委員会	遠野市 遠野風の丘	遠野ふるさと公社	遠山 良
3/21	第4回遠野イメージキャラクター特産品開発委員会	遠野市 遠野風の丘	遠野ふるさと公社	遠山 良

(4) その他

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
総務部				
4/20	盛岡塗装組合定時総会	盛岡市 ホテルリッチ盛岡	盛岡塗装組合	河野 隆年
5/9	(社)日本塗装工業会岩手県支部定時総会	盛岡市 ホテルリッチ盛岡	(社)日本塗装工業会岩手県支部	菊池 毅逸
5/17	岩手県技能士会通常総会	盛岡市 サンセル盛岡	岩手県技能士会	菊池 毅逸
5/18	岩手県鉄構工業協同組合通常総会	盛岡市 ホテル東日本	岩手県鉄構工業協同組合	河野 隆年
5/19	岩手県接合技術研究会定時総会	盛岡市 ホテルリッチ盛岡	岩手県接合技術研究会	河野 隆年
5/22	北上工業クラブ総会	北上市 北上ワシントンホテル	北上工業クラブ	川村 杉生
5/25	岩手県職業能力開発協会通常総会	盛岡市 サンセル盛岡	岩手県職業能力開発協会	菊池 毅逸
5/26	岩手県工業クラブ通常総会	盛岡市 ホテル東日本	岩手県工業クラブ	菊池 毅逸
6/1	(社)日本溶接協会岩手県支部通常総会	盛岡市 ホテル東日本	(社)日本溶接協会岩手県支部	河野 隆年
6/2	岩手県食品加工研究会役員会	盛岡市 岩手県工業技術センター	岩手県食品加工研究会	川村 杉生
6/13	岩手県食品加工研究会定期総会	盛岡市 岩手県工業技術センター	岩手県食品加工研究会	川村 杉生
6/19	北上川流域高度技術産業集積推進協議会	盛岡市 マリオス	商工労働観光部長	菊池 毅逸
7/12	岩手県職業能力開発促進大会	一関市 一関文化センター	岩手県職業能力開発協会	河野 隆年
7/12	新産業創造技術研究開発事業研究推進会議	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	河野 隆年
7/14	志学塾特別講演会	盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡	アール・ナック	河野 隆年
7/19	岩手県研究開発推進連絡会議	盛岡市 リリオ	岩手県研究開発推進協議会座長	河野 隆年
7/26	R S P 事業推進会議	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター - 理事長	河野 隆年
7/28	酒造講習会修了式	石鳥谷町 中央公民館	南部杜氏協会	菊池 毅逸
8/2	岩手県試験研究機関所長等会議	盛岡市 県民会館	岩手県内水面水産技術センター - 所長	菊池 毅逸
10/12	技術士全国大会	盛岡市 ホテルメトロポリタンNW	(社)日本技術士会東北支部長	河野 隆年
10/19	中小企業団体全国大会	滝沢村 アピオ	岩手県中小企業団体中央会会長	菊池 毅逸
10/23	ネットワ - クいわて2000東京会場	東京都 ホテルオークラ	岩手県企業誘致推進委員会会長	河野 隆年
10/27	東北農業試験研究推進会議企画部会	盛岡市 東北農業試験場	東北農業試験研究推進会議企画部会長	川村 杉生
11/3	テクノフェアはなまき2000	花巻市 総合体育館	テクノフェアはなまき2000実行委員会委員長	河野 隆年

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
11/8	酒造好適米「岩手酒52号」名称発表会	盛岡市 サンセル盛岡	農政部長	川村 杉生
11/15	盛岡市技能功労者表彰式	盛岡市 サンセル盛岡	盛岡市長	河野 隆年
11/24	盛岡工業クラブ設立総会	盛岡市 ホテルメトロポリタンNW	(社)岩手県工業クラブ会長	菊池 毅逸
11/29	R S P 事業推進会議	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センタ - 理事長	河野 隆年
12/8	沢田恒昭氏黄綬褒章受章を祝う会	盛岡市 ホテルメトロポリタンNW	発起人	川村 杉生
1/10	岩手県塗装工業組合新年交賀会	盛岡市 ホテル東日本	岩手県塗装工業組合理事長	河野 隆年
1/26	花巻工業クラブ新年会・講演会	花巻市 Hグランシェ-ル花巻	花巻工業クラブ会長	河野 隆年
1/29	岩手県工業クラブ新春合同懇話会	盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡	(社)岩手県工業クラブ会長理事	菊池 毅逸
1/30	村井良一郎氏黄綬褒章受章を祝う会	盛岡市 ホテルメトロポリタンNW	発起人	川村 杉生
2/13	企業ネットワ - クいわて2001(大阪会場)	大阪市 H日航大阪	岩手県企業誘致推進委員会会長	河野 隆年
2/26	岩手県試験研究機関所長等会議	盛岡市 サンセル 盛岡	岩手県林業技術センタ - 所長	菊池 毅逸
3/14	ウェルフェアテクノ東北2001	仙台市 仙台サンブラザ	東北経済産業局長	河野 隆年
3/15	新産業創造技術研究開発事業研究推進会議	盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡	(財)いわて産業振興センタ - 理事長	河野 隆年

企画情報部

1/25	中小企業活性化シンポジウム・中小企業活性化支援会議出席	東京都	中小企業庁	齋藤 博之
4/21	公開セミナー、A F R 事業成果報告会参加	北上市 農業研究センター	農業研究センター	富手 壮一
4/25	環境 I S O セミナー参加	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之 和合 健
4/26	県内工業団地視察	盛岡市 県庁	工業振興課	高橋 政江
4/27	東北地方公設試験研究機関企画・情報担当部長会議出席	仙台市	東北通産局	齋藤 博之
5/11	産業技術力強化法説明会出席	仙台市	東北通産局	富手 壮一
5/18~19	東北学術インターネットコミュニティ(TOPIC)総会などの出席	仙台市 サンブラザホテル仙台	TOPIC	和合 健
5/22	平成12年度東北地方工業技術連絡会議出席	仙台市	東北通産局	齋藤 博之
6/2	平成12年度第1回技術情報交流研究会	花巻市 花巻市起業化支援センター	花巻市起業化支援センター	高橋 政江
6/6	第1回地域プラットフォーム活動連絡会出席	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之 佐々木 英幸
6/6	科学技術振興事業団(JICST)主催のJOIS研修への出席	東京都	JICST	和合 健
6/19~23	平成12年度都道府県職員工業所有権研修への出席	東京都東村山市 通産研究所	特許庁	和合 健
6/29	K N F フォーラム出席	北上市相去町 北上市基盤技術支援センター	北上市	齋藤 博之

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
6/30	I N S 材料プロセス研究会参加	盛岡市 岩手大学	I N S	佐々木 英幸
7/3	交通安全研修	盛岡市 県庁	県	富手 壮一
7/5~7	第48回全国発明振興会議出席	鹿児島市	発明協会	和合 健
7/14	岩手大学福祉システム工学科設置記念フォーラム出席	盛岡市 岩手大学	岩手大学	齋藤 博之
7/28	手・木質バイオマス研究会出席	玉山村工業団地	木質バイオマス研究会	齋藤 博之
8/3	第49回全国発明振興会議用務	雫石町	発明協会	齋藤 博之
8/3	花巻市起業化支援センター開放事業に係る展示物の搬入	花巻市 花巻市起業化支援センター	花巻市起業化支援センター	佐々木 英幸
8/4	花巻市起業化支援センター開放事業出席	花巻市 花巻市起業化支援センター	花巻市起業化支援センター	齋藤 博之 佐々木 英幸
8/8	研究展示会「イーハトーブ・ミレニアム・サイエンス」出席	盛岡市 カワトク	岩手大学	高橋 政江
8/9	研究展示会「イーハトーブ・ミレニアム・サイエンス」出席	盛岡市 カワトク	岩手大学	齋藤 博之
8/10	研究展示会「イーハトーブ・ミレニアム・サイエンス」出席	盛岡市 カワトク	岩手大学	佐々木英幸、和合健 富手 壮一
9/25	物質工学連合部会高分子分科会出席	盛岡市	物質工学連合部会	佐々木 英幸
9/26	異業種グループネットワークフォーラム参加	盛岡市 岩手大学	異業種ネットワークフォーラム	齋藤 博之
10/6	異業種グループネットワークフォーラム参加	盛岡市 岩手大学	異業種ネットワークフォーラム	佐々木英幸、和合健 富手 壮一
10/27	東北地方公設試験研究機関企画情報担当部長会議	盛岡市 岩手大学	東北通産局	齋藤 博之
10/30	東北工学教育協会第48回年次大会	盛岡市 岩手大学	東北工学教育協会	高橋 政江
11/9	科学技術フォーラム分科会に係るうち合わせ	盛岡市 県庁	情報科学課	佐々木 英幸
11/15	夢県土いわて科学技術フォーラム分科会	盛岡市	情報科学課	齋藤博之、佐々木英幸 高橋 政江、和合健
11/16	商品化・事業化可能性調査報告会	盛岡市	中小企業団体中央会	齋藤 博之
11/16	夢県土いわて科学技術フォーラム	盛岡市	情報科学課	富手 壮一
11/20	ジェットロLL事業検討会	盛岡市	JETRO	齋藤 博之
11/21	沿岸地区移動工業技術相談	盛岡市	工業技術センター	齋藤 博之
11/28~29	AFRシンポジウム参加	釜石市	釜石市	齋藤 博之
12/11	工業所有権施策説明会出席	盛岡駅前	特許庁	齋藤 博之
12/18	通産省事業説明会（コンソーシアム、福祉用具）	盛岡駅前	東北通産局	齋藤 博之
1/15	ペルー鑄造技術研修成果発表会出席	盛岡市 県庁	文化国際課	齋藤 博之 富手 壮一
1/17	研究推進会議打ち合わせ	雫石町	工業技術センター	齋藤 博之

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
1/17	発明振興会議用務	雫石町	発明協会	和合 健
1/18	ネットワーク連絡会2001 (Winter) の出席について	盛岡市 岩手大学	岩手大学	和合 健
1/23	入居企業技術評価等指導会への出席	盛岡市 マリオス	いわて産業振興センター	和合 健
1/24	平成13年度産業集積補助金事前ヒアリング	仙台市	東北経済産業局	佐々木 英幸
1/29	研究推進会議打ち合わせ	盛岡市 岩手大学	工業技術センター	齋藤 博之
2/2~3	南三陸けせん食品見本市に係る技術相談会	大船渡市	工業技術センター	佐々木 英幸
2/2	KNF環境セミナー	北上市 北上市基盤技術支援センター	北上市	高橋 政江
2/2	農林水産資源等利用技術関係の研究課題等に係る打ち合わせ	盛岡市	情報科学課	冨手 壮一
2/7	発明振興会議用務	盛岡市本宮蛇屋敷 子ども科学館	発明協会	齋藤 博之
2/8	平成12年度岩手県工業技術研究推進会議	盛岡市 県庁	工業技術センター	齋藤 博之
2/8	工業所有権教育・普及事業中小企業支援者向け講習会	盛岡市	特許庁	高橋 政江
2/15	東北ブロック・バイオ施策意見交換会	盛岡市	東北経済産業局	齋藤 博之
2/15	平成12年度岩手県工業技術研究推進会議	盛岡市	工業技術センター	佐々木英幸、高橋政江 和合健、冨手壮一
2/21	岩手・木質バイオマス研究会出席	仙台市	木質バイオマス研究会	齋藤 博之
3/16	発明振興用務	盛岡駅西通2 マリオス	発明協会	齋藤 博之
3/22	新生東北経済産業局シンポジウム	盛岡市 県庁	東北経済産業局	齋藤 博之
3/23	平成13年度産業支援機関等情報ネットワーク整備事業打合せ	盛岡駅北通 マリオス	いわて産業振興センター	齋藤 博之
3/23	産業集積活性化・連携連絡交流会	盛岡駅前通 マリオス	工業振興課	佐々木 英幸
3/30	東北特許流通フェア2000参加	盛岡駅前北通 マリオス	特許庁	齋藤 博之

電子機械部

4/27	デジタルエンジニアリング研究会	盛岡市 サンセル盛岡	INS	若槻 正明
5/20	INS総会	盛岡市 岩手大学	INS	南幅 留男 泉田 福典 飯村 崇
6/1	デジタルエンジニアリング研究会	玉山村 アルプス電気	INS	若槻 正明
6/9	精密工学研究会	仙台市 東北大学	超精密加工技術研究	若槻 正明 堀田 昌宏 飯村 崇
6/14~16	レザ-精密加工国際学会	大宮市 ソニックシティ	日本レザ加工学会	大坊 真洋
6/29	KNFフォーラム	北上市 北上市基盤技術支援センター	北上市	南幅 留男 泉田 福典 飯村 崇
7/11	岩手地区ギガビットネットワーク連絡会設立総会	滝沢村 県立大学	情報科学課	南幅 留男
7/13	シミュレーション研究会	滝沢村 (株)ミクニアデック	INS	若槻 正明 飯村 崇

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
7/14	岩手大学福祉システム工学科講演会	盛岡市 岩手大学	岩手大学	南幅 留男 藤澤 充
8/29	地域結集事業研究成果報告会	盛岡市 工業技術センター	産業振興センター	南幅 留男 大防 真洋
8/29	超精密加工技術研究	仙台市 東北大学	超精密加工技術研究	堀田 昌宏 飯村 崇
8/31	岩手地区ギガビットネットワーク研究会	滝沢村 県立大学	情報科学課	長谷川 辰雄
9/2~7	2000年秋季応用物理学会全国大会	札幌市 北海道大学	応用物理学会	泉田 福典 大防 真洋
9/12~13	第2回福祉技術シンポジウム及び国際機器展	東京都 北トピア・国際展示場	・社会福祉協議会他	藤澤 充 長嶋 宏之
9/13	知的所有権セミナー	盛岡市 岩手大学	岩手大学	河野 隆年 南幅 留男
9/14	行政マンのためのマルチメディア講演会	盛岡市 マリオス	マルチメディアセンター	南幅 留男
9/28~29	高度非破壊センシングシステム開発推進委員会	山形市 山形工技センター	山形県工業技術センター	南幅 留男 泉田 福典 大坊 真洋
9/28~10/1	英会話研修前期	滝沢村 国立岩手山青年自然の家	(財)岩手県国際交流協会	飯村 崇
9/29	第6回デジタルエンジニアリング研究会	滝沢村 県立大学	INS	若槻 正明
10/7~9	精密工学会秋季学術講演会	名古屋市 名古屋工業大学	精密工学会	堀田 昌宏
10/11	地域結集事業研究成果発表会	盛岡市 ホテルメトロポリタン	産業振興センター	南幅 留男
10/12~13	職員自治研修	盛岡市 自治研修所	自治研修所	長谷川 辰雄
10/12~13	自動制御学会第17回センシングフォーラム	東京都 東京工大	自動制御学会	大坊 真洋
10/14~16	第13回国際超電導学会	東京都 千代田区都市センターホテル	国際超電導学会	大坊 真洋
10/26~29	英会話研修後期	滝沢村 国立岩手山青年自然の家	(財)岩手県国際交流協会	飯村 崇
10/26	マルチメディア通信セミナー	盛岡市 東日本ホテル	N T T ユーザー協会	南幅 留男
10/30/11/1	第20回日本国際工作機械見本市	東京都 東京ビッグサイト	(社)日本機械工作工業会	若槻 正明 堀田 昌宏
10/30~11/2	日本国際工作見本市	東京都 東京ビッグサイト	日本機械工業会他	若槻 正明 堀田 昌宏
11/6	第7回デジタルエンジニアリング研究会	花巻市 花巻起業化支援センター	INS	若槻 正明
11/7	超精工学会研究会	米沢市 ハイメカ(株)他	超精工学会東北支部	飯村 崇
11/7	BSデジタルセミナー	盛岡市 グランドホテル	N H K	南幅 留男
11/10	精密工学会第269回講習会	東京都 総評会館	精密工学会	堀田 昌宏
11/29	INSメンバー研究会第20回講演会	盛岡市 岩手大学	INS	大坊 真洋
12/1	第2回技術情報交流研究会	花巻市 ホテル花城	精密工学会東北支部他	南幅 留男 堀田 昌宏 飯村 崇
12/1	岩大福祉システム工学科第2回フォーラム	盛岡市 岩手大学	岩手大学	藤澤 充
12/5	精密加工研究会	仙台市	精密工学会東北支部他	堀田 昌宏 飯村 崇

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
12/7	国際画像機器展2000	横浜市 パシフィコ横浜	日本画像・計測機器協議会	長谷川 辰雄
12/12~14	マイクロウエーブ展・講習会	横浜市 パシフィコ横浜		泉田 福典
12/13~15	平成12年度創造性開発講座	盛岡市 自治研修所	自治研修所	大坊 真洋
1/11	INSニューマテリアル研究会磁気活用研究会	盛岡市 岩手大学	INS	大坊 真洋
12/22	第8回デジタルエンジニアリング研究会	北上市 北上基盤技術支援センター	INS	若槻 正明
1/9~12	職員自治研修「経済学」	盛岡市 上野教育学園	自治研修所	堀田 昌宏
1/11	INSニューマテリアル研究会	盛岡市 岩手大学	INS	大坊 真洋
1/17	第2回半導体パッケージ技術展	東京都 東京ビッグサイト		大坊 真洋
1/27	IT活用型新事業創造支援人材育成フォーラム in 岩手	盛岡市 H未来ロケット盛岡	中小企業事業団、INS他	南幅 留男 大防 真洋
1/30	カスタマスクール「オンロスコフ入門」	仙台市 仙台森ビル	リニ-テクト(株)	若槻 正明
2/6~9	FANAUC CIMPLICITYコース	山梨県忍野村 ファナック(株)	(株)ファナック	若槻 正明
2/9	NET&com21	幕張メッセ		長谷川 辰雄
2/21	住環境を考える会	盛岡市 盛岡ガス	盛岡建築士会	藤澤 充
3/2	新産業創出コーディネートシンポジウム	仙台市 仙台ホテル	東北インテリジェントコスモス協議会	南幅 留男
3/13	岩手金型フォーラム	盛岡市 岩手大学	産業振興センター	南幅 留男 若槻 正明 飯村 崇
3/14	福祉介護機器研究成果発表会	仙台市 サンプラザホテル	東北経済産業局	河野 隆年 南幅 留男 藤澤 充
3/25~29	電子情報通信学会2001年総合大会	草津市 立命館大学	電子情報通信学会	泉田 福典
3/28~29	精密工学会2001年春季学術講演会	東京都 東京都立大学	精密工学会	若槻 正明
3/28~30	応用物理学会2001年春季学術講演会	東京都 明治大学	応用物理学会	大坊 真洋

特産開発デザイン部

5/21	岩手県縫製企業協議会平成12年度通常総会	花巻市 大沢温泉	岩手県縫製企業協議会	大和進
5/27	岩手県ニット工業組合平成12年度通常総会	江刺市 江刺ロイヤルホテル	岩手県ニット工業組合	大和進
6/19	岩手県アパレル協同組合創立総会	盛岡市 自治会館	岩手県アパレル協同組合	大和進
2000/6/21~22	協同組合「大志」創立総会	大船渡市 (有)クチュ-レ会議室	(株)スコ-ボ	大和進
11/6	岩手県ニット工業組合臨時総会	盛岡市 ホテルメトロポリタン	岩手県ニット工業組合	大和進

金属材料部

6/1	第40回岩手県溶接技術競技会表彰式	ホテル東日本	(社)日本溶接協会岩手県支部	川原 正弘 桑嶋 孝幸
6/28	岩手県鉄構工業協同組合青年部通常総会	ホテル東日本	岩手県鉄構工業協同組合青年部	高橋幾久雄
6/23	精密工学会東北支部講演会	山形県高度技術開発センター	精密工学会東北支部	桑嶋 孝幸

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
7/12	平成12年度第1回新産業創造技術研究開発事業推進会議	マリオス6階会議室	いわて産業振興センター	川原正弘 高橋幾久雄
12/5	第1回溶接学会全国大会(盛岡大会)実行委員会	ホテル東日本	溶接学会東北支部	高橋幾久雄 桑嶋 孝幸
3/15	平成12年度第2回新産業創造技術研究開発事業推進会議	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	(財)いわて産業振興センター	米倉 勇雄

応用生物部

4/25	いわて麦・豆・そば等高度生産対策協議会	盛岡市 エスポワールいわて	農政部農産園芸課	大澤純也、
5/19	岩手県パン工業組合総会	盛岡市 つなぎ愛真館	県パン工業組合	川村杉生 大澤純也
7/13	岩手県農業試験研究推進会議園芸畑作部会	北上市 農業研究センター	県農業研究センター	平野高広
7/21	平成12年度県産品普及推進連絡会全体会議	盛岡市 地区合同庁舎	県産品普及推進連絡会	大澤純也
10/27	A F R 拡大幹事会	盛岡市 岩手大学	A F R 幹事長	大澤純也 斉藤博之
12/15	第2回県産大豆地場加工促進調査・研究事業委員会	盛岡市 農林会館	岩手県食品産業協議会	伊藤良仁
1/10	岩手県農業試験研究推進会議園芸畑作部会	北上市 農業研究センター	県農業研究センター	伊藤良仁
1/30	県産大豆生産及び販売担当者連絡会	盛岡市 県公会堂	県食品産業協議会	伊藤良仁
2/14	平成11年度ふるさと食品検討委員会	盛岡市 県水産会館	農政部農産物流課	大澤純也
2/21	東北ブロック・バイオ施策に係る意見交換会	仙台市 第1合同庁舎	東北経済産業局	大澤純也
3/8	海洋深層水の水質調査に係る打ち合わせ	盛岡市 県衛生研究所	県情報科学課	平野高広
3/12	A F R 幹事会	盛岡市 岩手大学	岩手農林研究協議会幹事長	大澤純也 斉藤博之

醸造技術部

4/27	岩手県酒造組合総会	盛岡市 酒造組合	岩手県酒造組合	川村杉生、櫻井廣
6/14	県産吟醸酒商品化研究会	盛岡市 県庁	岩手ブランド推進室	桜井廣
7/5	酒造技術委員会	盛岡市 酒造組合	岩手県酒造組合	川村杉生、櫻井廣
8/7	水稲品種開発推進会議	盛岡市 エスポワール岩手	農産園芸課	櫻井廣
9/12	南部杜氏夏期酒造講習会特科試験選考委員会	盛岡市 工業技術センター	(社)南部杜氏協会	川村杉生、桜井廣、中山繁喜
9/14	岩手県卓越技能被表彰者選考予備部会	盛岡市 県庁	労政能力開発課	櫻井廣
9/26	酒造技術委員会	盛岡市 盛岡市	岩手県酒造組合	川村杉生、櫻井廣、中山繁喜
10/16	全国酒造指導機関合同会議	東京都 中央合同庁舎	国税庁鑑定企画官室	畑山 誠
10/25	杜氏後継者育成のためのシステムづくり検討会	石鳥谷町 石鳥谷道の駅	石鳥谷町	川村杉生 中山繁喜
10/25	6県協議会	仙台市 仙台国税局鑑定官室	仙台国税局鑑定官室	桜井 廣
1/10	全員協議会	盛岡市 ホテルロイヤル盛岡	岩手県酒造組合	川村杉生、桜井 廣、中山繁喜
1/26	酒造技術委員会	盛岡市 盛岡市	岩手県酒造組合	櫻井廣 中山繁喜

月日	名称	開催場所	依頼機関	派遣職員名
食品開発部				
4/25	岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会設立会議	盛岡市 エスポワールいわて	協議会（岩手県農産園芸課）	荒川 善行 笹島 正彦 関村 照吉
11/16	第1回「簡易高温高圧調理法による雑穀利用食品の製造」専門委員会	盛岡市 工業技術センター	工業技術センター	荒川 善行 笹島 正彦
2/8	第2回「簡易高温高圧調理法による雑穀利用食品の製造」専門委員会	盛岡市 工業技術センター	工業技術センター	荒川 善行 笹島 正彦
3/8	第3回「簡易高温高圧調理法による雑穀利用食品の製造」専門委員会	盛岡市 工業技術センター	工業技術センター	荒川 善行 笹島 正彦

- 5 移動工業技術相談

経済の活性化が期待される釜石、大槌、大船渡地区において、企業訪問、講習会及びパネル展示を行うことにより、工業技術センターのPRに務めるとともに県内中小企業の技術力の向上に努めました。

開催年月日	開催場所	内 容
11月28日(火) ～11月29日(水)	釜石、大槌地区	企業訪問、27企業 食品加工、醸造、機械加工、電子、金属、プラスチック、 特許等の各分野における技術相談、指導を実施
2月2日(金) ～2月3日(土)	大船渡地区	南三陸けせん食品見本市 パネル展示 工業技術センター業務紹介 " 研究紹介 技術相談 13企業

試験・設備利用業務

-1 依頼試験

項 目	件 数	試験手数料の額	担 当 部	
科学技術情報	1	79,813	企画情報部	
企画情報部計	1	79,813		
燃料試験	69	219,070	化学部	
窯業試験	109	340,190		
非金属材料試験	60	126,600		
金属材料試験	38	110,140		
非金属総合試験・金属総合試験	59	1,330,620		
定性分析	34	81,260		
定量分析	1,187	4,793,390		
重量・測定試験	7	11,050		
塗装・塗膜試験	6	5,940		
定性分析	16	67,510		
化学部計	1,585	7,085,770		
金属材料試験	278	321,680		金属材料部
金属組織試験	14	33,230		
金属非破壊試験	2	1,180		
定性分析	37	551,300		
金属材料部計	331	907,390		
精密測定試験	49	155,240	電子機械部	
金属組織試験	11	68,860		
電子機械部計	60	224,100		
木製材料試験	8	48,000	特産開発デザイン部	
繊維及び繊維製品の化学試験	58	54,900		
染色物洗濯堅ろう度試験	35	9,940		
特産開発デザイン部計	101	112,840		
副本	64	19,200	総務部	
総務部計	64	19,200		
合 計	2,142	8,429,113		

-1 設備利用

(1) 施設貸付

施設名	単位	単価(円)	件数	使用時間等	使用料の額
【電子機械部】					
電波暗室	時間	8,140		466	3,793,240

(2) 機械器具貸付

平成12年度(実績)

機械器具名	単位	貸付料単価	件数	使用時間等	金額
【化学部】					
分子量分布測定装置	1時間	800	5	54	43,200
原子間力顕微鏡	1時間	1,700	3	16	27,200
【金属材料部】					
熱間等方圧加圧装置	1時間	1,330	2	18	23,940
【電子機械部】					
CNC超精密鏡面加工機	1時間	4,000	12	175	700,000
軟X線装置	1時間	1,060	16	17	18,020
インピーダンスアナライザー	1時間	420	1	1	420
高精度電気特性試験装置	1時間	210	1	1	210
ビデオ測定顕微鏡	1時間	1,060	1	1	1,060
マイクロフォーカスX線装置	1時間	4,660	26	28	130,480
熱衝撃試験器	1時間	1,330	9	208	276,640
CNCパイプベンダー	1時間	1,400	10	23	32,200
マシニングセンタ	1時間	1,800	3	45	81,000
【特産開発デザイン部】					
倣い木工旋盤	1時間	100	1	19	1,900
縦突きスライサー	1時間	1,270	4	18	22,860
カード機	1時間	210	6	22	4,620
商品性能試験用環境シミュレーション	1時間	4,540	2	12	54,480
仕上機械器具	m	140	53	7,450	1,043,028
巾出乾燥機刷毛機械設備	m	50	11	337	16,825
乾燥刷毛蒸織設備	m	120	23	1,443	173,160
光硬化樹脂モデル作成装置	1時間	4,190	8	83	347,770
コンブウッド圧縮プレスシステム	1時間	2,100	2	3	5,250
コンブウッド蒸気加熱システム	1時間	2,000	2	7	14,000
鋳造原型作成装置	1時間	100	3	12	1,200
合計			204	9,992	3,019,463
総計				10,458	6,812,703

人材養成業務

- 1 技術パイオニア養成事業（ORT事業）

研修生氏名	所属	研修内容	受入部	担当者	研修期間
行方 学	㈱小林精機	コンピュータ利用による生産技術のシステム化	電子機械部	若槻上席専門研究員	H12・6 ～H13・3
細田 俊英					
大崎 満弘	㈱ヒロ	半導体搬送ロボットの開発	電子機械部	長谷川主任専門研究員	
中村 吉信	㈱でん	人体形状スキャナーシステムの開発	電子機械部	長谷川主任専門研究員	
鄭 綱	㈱ニュートン	高精度モールド歯車製造技術の開発	電子機械部	飯村専門研究員	
小池 龍太	シチズン時計㈱	ダイヤモンドライクカーボン（DLC）についての評価、応用、開発	電子機械部	鎌田主任専門研究員	
太田 利夫	㈱釜石電機製作所	溶射による表面改質技術に関する研究	金属材料部	高橋(幾)上席専門研究員	
田端 亮一					
千葉 喜四郎	ユニカ㈱岩手工場	ダイヤモンドコアドリルの開発	金属材料部	茨島主任専門研究員	
赤石 晃				勝負澤上席専門研究員	
今井 純二				高川専門研究員	
本山 勝見	横河電子機器㈱	A1-Cu系合金の機械的性質の研究	金属材料部	勝負澤上席専門研究員 茨島主任専門研究員 高川専門研究員	

- 2 アドバンスORT事業

研修生氏名	所属	研修内容	受入部	担当者	研修期間
佐藤 幹也	㈱エグゼキュートシステム	無線を利用した乗車人数計測システムの開発	電子機械部	泉田主任専門研究員	H12・7 ～H13・3
中居 聡 玉川 公彦	㈱東北パワープロジェクト	研削加工の超精密化	電子機械部	飯村専門研究員	H12・9 ～H13・3
千葉 征治	㈱モディー	CAD、光造形装置、三次元スキャナを用いるリバースエンジニアリング	木工特産部	町田上席専門研究員	H12・8 ～H13・3
及川 一郎	リコー光学㈱	小物金属部品のレーザ溶接	金属材料部	高橋(幾)上席専門研究員 桑嶋主任専門研究員	H12・9 ～H13・3
昆野 武晴	岩手鑄機工業㈱	オーステンパ熱処理技術の高度化	金属材料部	勝負澤上席専門研究員	H12・8 ～H13・3
川村 智	竹内真空被膜㈱	表面改質技術	化学部	鈴木主任専門研究員	H12・9 ～H13・3
伊藤 乃	㈱スベック	表面改質技術	化学部	鈴木主任専門研究員	H12・8 ～H13・3
杉沢 薫 牧野 創 千田 元 千葉 大輔 小原 卓也	㈱後藤製作所	表面分析技術	化学部	鈴木主任専門研究員	H12・8 ～H13・3

- 3 研修生の受入れ

研修生氏名	所属	研修内容	受入部	担当者	研修期間
菅原 健 石井 勝洋	㈱わしの尾	清酒製造技術	醸造技術部	櫻井部長	H12・6 ~ H12・9
小田島 尚行	菊の司酒造(株)	清酒製造技術	醸造技術部	櫻井部長	H12・7 ~ H12・10
佐々木 香織	大野村産業デザイン センター	木工製品の高度化	木工特産部	町田上席専門研究員	H12・8 ~ H13・3
村上 詩保	個人事務所	コンピュータによる立体製品のデザイン作成技術	木工特産部	町田上席専門研究員	H12・12 ~ H13・3
佐々木 博規	岩手大学工学部	ホログラム技術	電子機械部	大坊主任専門研究員	H13・1 ~ H13・3
丸山 誠司	岩手大学工学部	ホログラム技術	電子機械部	大坊主任専門研究員	H13・1 ~ H13・3

- 4 海外技術研修員の受入れ

研修生氏名	所属	研修内容	受入部	担当者	研修期間
Asmat Cesar Ivan ROMERO	SENATI 鑄造技術センター (ペルー)	鑄造技術	金属材料部	勝負澤上席専門研究員	H12・6 ~ H13・1
Salas Ysaac CORDERO	SENATI 鑄造技術センター (ペルー)	鑄造技術	金属材料部	勝負澤上席専門研究員	H12・6 ~ H13・1
Milton Bastos de Souza	SENATI (ブラジル)	PC 機器制御及びプログラミング	電子機械部	若槻上席専門研究員	H12・8 ~ H13・3

技術情報業務

- 1 定期刊行物の発行

- (1) 研究報告第7号 [1999(平成11)年度版] 800部

掲載テーマ：56テーマ

平成11年度に工業技術センターで実施した研究の論文集で「工業技術センター研究報告第7号」として刊行した。

(平成12年8月発行)

- (2) 平成11年度業務年報 850部

平成11年度に実施した工業技術センター業務について取りまとめた。

(平成12年8月発行)

- (3) 技術情報誌

年2回発行。

No.17：平成12年6月発行

2,700部

(主な内容)

- (財)いわて産業振興センター発足にあたって
(財)いわて産業振興センター 理事長 海妻矩彦氏
- 平成12年度工業技術センター業務計画
- 電源地域産業集積活性化対策費補助事業導入設備
- 学位取得の内容紹介
- 新しい曲げ技術
- 商工労働観光部長賞受賞...木肌塗料の開発
- 職員名簿・人事異動

No.18：平成13年2月発行

2,700部

(主な内容)

- 岩手県の新産業創造について
商工労働観光部工業振興課長 三浦 聡
- 岩手県工業技術センターにおけるISO14001認証取得への取り組みについて
- 電源地域産業集積活性化対策費補助事業導入設備
- 特定産業集積活性化関連機関支援強化事業
- 吟ぎんがによる吟醸酒造り
- JICA研修生のご紹介
- 平成12年度日本自転車振興会補助事業導入設備

- (4) 工業技術センターまるごとガイドブック 約1,000部

工業技術センターの案内、利用方法、設備紹介等を掲載した職員手作りのガイドブックを随時配布した。

- 2 技術情報のオンライン検索

科学技術文献情報(JOIS) 11件(外部1件)

- 3 特許情報等の提供

工業技術センター内の知的所有権センターでは、「特許電子図書館専用回線端末機器」を設置し、工業所有権情報の閲覧、提供を行っています。

特許電子図書館	CD-ROM 公報	紙媒体公報(特許・実用)	紙媒体公報(意匠・商法)	索引・抄録等	合計
391人	163人	27人	17人	5人	603人

文献閲覧物複写状況

[(社) 発明協会岩手県支部委託] 462 件 6,427枚

- 4 知的所有権センター

特許情報の有効活用を促進するため、岩手県知的所有権センターでは、平成 12 年度において次の事業を実施した。

1 相談・指導

(1) 知的所有権アドバイザー相談指導件数

開催日	開催場所	件数	開催日	開催場所	件数
12. 4.19	北上市基盤技術支援センター	3	12. 5.24	二戸地方振興局	1
12. 6.21	千厩地方振興局	2	12. 7.19	久慈地方振興局	3
12. 8.23	宮古振興局	1	12. 9.20	釜石大槌地域産業育成センター	4
12.10.18	遠野振興局	2	12.11.15	花巻市起業化支援センター	2
12.12.13	(財)岩手県南技術研究センター	2	13. 1.17	(財)岩手県南技術研究センター	2
13. 2.14	水沢地方振興局	4	合計	26 件	

(2) 相談内容

No	相談内容	件数	No	相談内容	件数
1	権利化の手続きに関する相談	14 件	2	出願審査請求に関する相談	2 件
3	実施化に関する相談	2 件	4	特許性の有無に関する相談	1 件
5	拒絶理由通知への対応の相談	1 件	6	特許出願に関する相談	2 件
7	実用新案の運用に関する相談	1 件	8	発明の内容に関する相談	1 件
9	明細書の書き方に関する相談	1 件	10	商標権侵害に関する相談	1 件
合計					26 件

2 情報提供

(1) 特許情報検索システム利用実績

(単位:件)

端末設置箇所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
岩手県知的所有権センター	23	19	21	14	17	13	14	15	16	19	15	13	199
(財)いわて産業振興センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
花巻市起業化支援センター	1	0	1	0	3	2	0	1	0	0	0	0	8
北上市技術交流センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(財)岩手県南技術交流センター	7	1	2	1	1	2	1	0	0	1	3	0	19
(財)釜石・大槌地域産業育成センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	31	20	24	15	21	17	15	16	16	20	18	13	226

(2) 特許電子図書館(IPDL)端末機利用実績

(単位:件)

端末設置箇所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
専用回線端末機器	29	17	18	13	21	29	10	15	15	16	16	21	220
インターネット端末機	2	7	3	1	3	5	3	3	2	7	2	7	45

(3) 特許電子図書館 (IPDL) 操作説明会

インターネットによる特許電子図書館に関する操作説明会を次のとおり行った。

開催日時：平成 12 年度 6 月 28 日 (水) 13:00 ~ 16:00

開催場所：北上市基盤技術支援センター

参加人員：16 人

開催日時：平成 12 年度 6 月 29 日 (木) 9:00 ~ 12:00

開催場所：(財)釜石・大槌地域産業育成センター

参加人員：10 人

3 流通支援

(1) 平成 12 年度 (詳細別紙)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特許仲介件数		2	2	3	7	3	6	6	3	3	4	6	3	48
特許流通説明会	回数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	人数	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	50
企業等訪問件数		3	4	6	4	7	4	4	2	4	3	6	3	50
相談件数		11	16	21	13	9	15	18	12	6	4	10	7	142

(2) 特許流通成立案件

実施権許諾契約件数 11 件

ノウハウ実施権許諾契約件数 2 件

(3) 「東北特許流通フェア 2000」の出展

特許流通を促進させることにより、地域中小企業の活性化、ベンチャー企業の育成及び新規事業の創出を支援する「東北特許流通フェア 2000」に出展し、当センターの保有特許を展示、紹介した。

開催日時 平成 12 年 11 月 8 日 (水) ~ 9 日 (木)

開催場所 山形国際交流プラザ (山形市平久保 100 番地)

展示保有特許等

廃棄物を用いたコンクリート組成物

リンゴジュースの製造方法

単板積層材及び単板積層材の製造方法

ロボットの動作教示装置

木材の炭化処理方法

走査型スクイッド顕微鏡

多孔性酸化木材チップと水砕スラグを用いた生ゴミ処理装置の開発

(4) 岩手県知的所有権センター印刷物

岩手県知的センターだより第 5 号 (平成 12 年 7 月 3 日)

- 5 広報活動

(1) 研究発表会

4月20日、工業技術センター大ホールにおいて、海外研修、企業支援を含め23のテーマについて研究発表を行い、外部からの聴講者は96名でした。

1	次世代金型製造プロセスに関する研究	電子機械部 若槻正明
2	視覚的動作プログラミングによる半導体搬送ロボット制御	電子機械部 長谷川辰雄
3	研削による仕上げ加工技術の開発	電子機械部 飯村 崇
4	硫化水素型地熱水を利用した間伐材の化学的改質と地場産業興しについて	化学部 佐々木 陽
5	廃プラスチックの再利用	化学部 酒井晃二
6	生分解性プラスチックの袋で収集した生ごみ堆肥化における微生物の変化	応用生物部 山本 忠
7	複合ADIの高度化に関する研究	金属材料部 茨島 明
8	鋳鉄の表面改質による高機能化	金属材料部 高橋幾久雄
9	希土類系高温酸化物超電導バルク材の接合技術	金属材料部 齊藤 貴
10	超撥水有機蒸着薄膜の作製	化学部 鈴木一孝
11	速乾性漆の開発	木工特産部 小林正信
12	漆の木を活かす	木工特産部 浪崎安治
13	人に優しい福祉機器の開発	電子機械部 藤澤 充
14	北欧フィンランドの家具デザイン	木工特産部 有賀康弘
15	ニューひつつみの開発	食品開発部 関村照吉
16	雑穀入り冷麺の開発	食品開発部 武山進一

17	新品種小麦の品質評価	食品開発部 笹島正彦
18	食品に関するいくつかの技術相談・指導事例	食品開発部 遠山 良
19	岩手県産大豆の豆腐加工適性評価	応用生物部 伊藤良仁
20	オーストラリアにおける酒類状況	醸造技術部 櫻井 廣
21	岩手オリジナル酒造好適米「吟ぎんが」による吟醸酒の製造	醸造技術部 高橋 亨
22	新系統山ブドウによるワイン醸造	応用生物部 平野高広
23	新規岩手酵母の育種	応用生物部 小浜恵子

(2) 一般公開

試験研究や企業支援の成果及び試験研究設備等を公開し、広く県民に工業技術センターの業務を周知することを目的として、9月8・9日(金・土)の2日間一般、学生、生徒、児童、企業を対象に一般公開を行いました。

究紹介パネル、研究成果製品・物品等展示

平成11年度の研究成果等をパネルおよび成果物品の展示により紹介する。

験研究機器紹介、加工機械等実演、試食試飲等

- ・電子機械部：パソコンを利用したロボットの遠隔操作、精密測定、精密加工機械の紹介、X線透過装置を利用した透視実験
- ・木工特産部：繊維の染め実験、象嵌装飾品の製作、デザインCADを利用したオリジナルカレンダーの製作
- ・金属材料部：精密鑄造による小物作り、超電導マグネットによる浮上実験、電子顕微鏡観察等
- ・化学部：プラスチック成形実験、ケミカルガーデン展示等
- ・応用生物部：開発調味料を使ったソーセージ、ホットドッグ試食等
- ・醸造技術部：リンゴジュースの試飲
- ・食品開発部：雑穀入り冷麺の試食
- ・福祉機器開発プロジェクト：三次元人体スキャナー、三次元動作解析実演福祉機器試乗(車椅子、リフタ、他)等
業デザインセンター、知的所有権センターの開放、紹介催行事等
- ・企業発明くふう展まつり(発明協会岩手県支部との共催)
県内企業の新製品、新技術を展示紹介。
- ・岩手県障害者作業所製品展示
県内障害者作業所で製作された工芸品等の展示及びこれらにデザイン等に対する技術相談

(岩手県障害者作業所連絡協議会からの技術相談の依頼)

(3) 各種展示会での成果発表

花巻市起業化支援センター開放事業(場所:花巻市起業化支援センター)

8月4・5日(金・土)花巻市起業化支援センター開放事業に工業技術センター研究成果等のパネル等を展示することにより、当該地域の企業に対して技術シーズの提供を行った。なお、職員による技術相談も併せて実施した。

展示パネルは以下のとおりである。

	パネル名称	枚数	展示物
1	工業技術センター紹介	1	要覧、研究報告、 アドバイザー活用ガイド
2	知的所有権センター紹介	1	
3	盛岡冷麺、雑穀冷麺	1	冷麺
4	象嵌	1	象嵌小物
5	単板積層塗装材	1	床材
6	ホログラム(特許)	1	試験サンプル
7	畜産未利用資源	1	なし
8	吟ぎんが	1	酒瓶
9	超電導マグネット	1	試験サンプル
10	さびを防ぐ超薄い有機薄膜	1	なし
11	福祉機器開発	1	車椅子、コンブウッド

イーハトーブ・ミレニアム・サイエンス(場所:パルクアベニュー川徳)

8月8日(火)~10日(木)に岩手大学地域共同研究センター、INS、いわて産業振興センターほか主催するイーハトーブ・ミレニアム・サイエンスに工業技術センターの研究や企業との共同研究等により出された成果(製品等)を出展し、研究や企業支援業務を広く県民に周知した。

出展物は以下のとおりである。

- ・車椅子(福祉機器プロジェクト、岩手木工センターとの共同研究)
- ・撥水ミラー(産業集積研究開発事業、竹内真空と共同研究)
- ・インターネット触感(半導体搬送ロボット制御、宍戸との共同研究)
- ・ホログラム(立体像書込による工芸製品の高付加価値化)
- ・吟ぎんが(県産酒米岩南酒13号を用いた吟醸酒)
- ・ウイナーソーセージ(畜産未利用資源からの有効成分の抽出、岩手畜産流通センターとの共同研究)

テクノフェアはなまき 2000（場所：花巻市総合体育館）

11月3・4日（金・土）にテクノフェアはなまき 2000 実行委員会が主催するテクノフェアはなまき 2000 に工業技術センター研究成果等のパネル等を展示することにより、当該地域の企業に対して技術シーズの提供を行うとともに、職員による技術相談を実施した。

展示物は以下のとおりである。

	展示パネルの内容	枚数	展示物
1	工業技術センター紹介	1	要覧、研究報告、 アドバイザー活用ガイド等
2	知的所有権センター紹介	1	
3	産業デザインセンター紹介	1	
4	雑穀冷麺	1	試作冷麺
5	象嵌	1	象嵌小物
6	単板積層塗装材	1	床材、
7	ホログラム	1	試験サンプル
8	力感覚伝達ロボットシミュレーション	1	パソコン
9	コンブウッド	1	曲げ木、車椅子
10	さびを防ぐ超薄い有機薄膜	1	撥水ミラー、撥水タイル
11	企業技術支援成果事例（木材加工）	1	ミニ琴（木工センター）

(3) 成果の新聞等への掲載

1	河北新報	平成12年4月14日	ジェットロ LL事業に本県から2件選出 先進地の技術指導期待 フィンランドとのデザイン・技術交流 スウェーデンとの木質バイオマス燃焼技術開発交
2	日刊工業新聞	平成12年4月19日	岩手県から2事業採択 産業交流で活性化 ジェットロ盛岡貿易情報センター
3	朝日新聞	平成12年4月19日	「ひつつみ」を機械で作る 県工業技術センターで開発
4	盛岡タイムス	平成12年4月20日	フィンランドへ専門家派遣 フィスカース工芸村など訪問 デザイン技術交流 今年度の事業決まる
5	河北新報	平成12年4月21日	40分ですぐ乾く漆塗り技法開発 県工業技術センター 時間、10分の1に 業界に朗報コストアップ解消
6	盛岡タイムス	平成12年4月24日	人に優しい福祉機器を 県工業技術センター 23テーマの成果を発表 人体形状や動作など考慮
7	岩手日報	平成12年5月7日	アカマツ利用に光 県2技術センターと岩泉の企業 表面硬化材を開発 広葉樹並み 特許出願、既に商品化
8	河北新報	平成12年5月10日	岩手フィンランド付加価値増す技術交換 海越え地域産業交流 弾みつく東北のLL事業 工芸デザイン
9	岩手日報	平成12年5月12日	岩手経済この人に聞く 株式会社道奥社長 阿部ゆう子さん(花巻市) 雑穀文化 全国に普及
10	日本経済新聞	平成12年5月12日	岩手県日本木材工業 アカマツの表面を硬化 新技術開発 床材などに用途拡大
11	河北新報	平成12年5月19日	雑穀入り冷麺開発 ヒエ、アワなど県特産物を利用促進 県工業技術センター 製法と食感クリア 商品化の課題は価格と味
12	日刊岩手建設工業新聞	平成12年5月19日	アカマツ表面硬化材 需要拡大に期待 床材などに導入検討へ 県林業技術センターなど開発 コクヨが採用実用化1号は外務省
13	河北新報	平成12年5月20日	ひつつみ93パーセントが「いつも自宅で」 健在おふくろの味 盛岡で女子高生にアンケート 「手作り」が83パーセント 「昔の食べ物じゃない」
14	盛岡タイムス	平成12年5月22日	ベンチャーの事業計画策定を代行 INSが研究会発足 バーチャルカンパニー
15	盛岡タイムス	平成12年5月26日	表面が硬いアカマツ 針葉樹に付加価値 県林業技術センターなど共同で開発に成功 コクヨが商品化第1号
16	朝日新聞	平成12年5月28日	燃料から布団へ生活の知恵で新しい道開く 応用製品が30種類も誕生

17	盛岡タイムス	平成12年5月31日	介護用木工家具を街頭展示
18	日本経済新聞	平成12年6月13日	新技術・事業を開拓 ベンチャーなど70社が参加 北上市で交流活動 産学官が連携 設備の相互活動模索
19	岩手日報	平成12年6月14日	鉄器鑄造技術学びたい ペルーの男性2人本県で半年間研修 県庁を表敬
20	盛岡タイムス	平成12年6月16日	職人の技に感心 南部鉄器を研修へペルーから技術者 半年間滞在し技術習得
21	岩手日報	平成12年6月17日	南部鉄器工芸に興味津々 ペルーの研修生水沢で工業など視察
22	河北新報	平成12年6月22日	根づく産学協同 東北の大学研究センター トリアジンチオール 用途の可能性無限
23	盛岡タイムス	平成12年8月9日	これで分かった岩手の先端技術 無添加ソーセージに納得 科学と技術展が開幕
24	岩手日報	平成12年8月21日	小型の琴開発、商品化 入門用に最適です 扱い簡単、値段格安 水原さん（県三曲協会副会長）考案 岩手木工センター
25	岩手日報夕刊	平成12年8月24日	就業体験と理解ダブル効果期待 県が初のインターンシップ 学生8人が挑戦 行政のチェックも
26	盛岡タイムス	平成12年8月26日	就労困難な在宅障害者も作業所技術支援 県工業技術センター 製品を商品に 期待寄せる福祉関係者
27	盛岡タイムス	平成12年9月1日	日本で情報技術学ぶ 県工業技術センター ブラジルから研修
28	岩手日報	平成12年9月2日	岩手大から今井助手 県との交流人事「行政も勉強したい」
29	盛岡タイムス	平成12年9月4日	県工業技術センター 満を持して放つ デビュー待つ新製品 食前酒の代わりもリンゴサイダー これこそ岩手の味雑穀入り冷麺
30	岩手日報	平成12年9月5日	未来を開く雑穀 東京国際シンポから 食文化の見直し県人も実例発表 可能性現代病に大きな効果
31	日刊工業新聞	平成12年9月7日	8.9日に一般公開 県工業技術センター 産業デザインセンター
32	岩手日報	平成12年9月10日	売れる商品開発へ 県工業技術センターが支援 県内の福祉作業所 品質向上へ協力、指導 経営の「自立」目指す
33	朝日新聞	平成12年9月13日	「リンゴサイダー」を開発 県工業技術センター 年明けにも販売開始 果汁100%発酵/特許を出願

34	盛岡タイムス	平成12年10月1日	特許出願パン用玄米粉を開発 岩手大学の三浦助教化学薬品使わず安全 広がる消費改質キビ粉も転作へ可能性
35	岩手日報	平成12年10月4日	キビ粉使い「健康パン」 県パン工業組合 製品向けの技術開発 栄養価を保ちふっくら食感
36	朝日新聞	平成12年10月4日	玄米とキビをパンに 小麦粉と同様な仕上がり 加工技術で特許申請 粘度調整し粉の開発成功
37	盛岡タイムス	平成12年10月9日	鋳物技術を実地研修 ペルー研修員
38	岩手日報夕刊	平成12年10月12日	フィンランドのデザイン導入 野趣に富む木工製品完成 大野民芸家具組合 「こぶ」など活用 あすから交流展、披露
39	盛岡タイムス	平成12年10月13日	鉄の技術に関心 北国デザインワークショップ フィンランドから工芸家 木の伝統と融合探る 南部鉄器の工房訪問
40	朝日新聞	平成12年10月13日	製鉄の全工程学ぶ
41	岩手日報	平成12年10月16日	工芸振興へ東北連携 大野でデザインサミット技術者ら意見交換
42	盛岡タイムス	平成12年10月25日	速乾性漆塗料を開発 県工業技術センター木工特産部 職人の技可能に
43	岩手日報	平成12年11月22日	フジモリ大統領辞任のペルー 本県鋳物交流影響なし 技術協力に進む連携
44	河北新報	平成12年11月24日	超硬チップを有効利用 小西鋳造（宮古市）
45	岩手日日	平成12年12月24日	優秀ポスター論文賞を受賞 県工業技術センター研究グループ 国際学会で快挙
46	盛岡タイムス	平成13年1月12日	和楽器「和音」に学校注目 琴の音色がうれしい 岩手木工センターに問い合わせ 岩手から大ヒットの予感
47	盛岡タイムス	平成13年1月15日	お披露目も間もなく 和楽器「和音」ホットラインで教室
48	朝日新聞	平成13年1月15日	県商工労働観光部長の鈴木清紀さん（57） 進出後のケアを重視「地場化」 企業閉鎖・撤退の対策は？
49	盛岡タイムス	平成13年1月20日	技術移転大統領は代わっても... ペルーから研修の2人が帰国へ 南部鉄器を学んで
50	岩手日報	平成13年1月20日	南部鉄器を海越え普及 ペルー研修生 鋳造技術学び帰国へ 知事にあいさつ 母国で活躍誓う
51	岩手日報	平成13年1月25日	岩手木工センター開発の小型琴 「和音」輝く優秀賞 全国地場産業の技術・製品表彰 使いやすさ、音色評価 安定供給の実現に励み

52	盛岡タイムス	平成13年2月7日	好評の小型琴「和音」 水原月童氏（岩手三曲協会副会長）に聞く 恵まれた幸運な偶然 来年から学校で和楽器を折り曲げる技術で小型に
53	岩手日日	平成13年2月23日	県内初 「エコ象眼」の商品化に成功 来月中にも販売へ 江刺民芸工房
54	岩手日報	平成13年3月3日	無溶剤型硬化塗料 県工業技術センター開発 人体影響少なく生産効率アップ 学校に床材に活用 千葉の民間会社商品化
55	岩手日報	平成13年3月15日	「木口象眼」で新工芸品 安代のグループが特産化に挑戦 県工業技術センターの技法導入 枝打ちの端材を活用
56	岩手日報	平成13年3月16日	「鋳物の街」振興拠点に 水沢市 技術交流センター 来年春開所 時代に合う商品開発 研修や体験にも活用

(4) 所内見学者

団体数	県内	15
	県外	2
	小計	17
見学者数	県内	436
	県外	131
	小計	567

(見学者一覧)

H12. 2.20	市町村研修職員	22 名
H12. 4.26	フィンランド大使館	2 名
H12. 5.11	エネルギー技術研究開発課、産業科学技術研究開発課	3 名
H12. 5.17	盛岡市教育研究会 理科部会化学班	7 名
H12. 6. 7	トルコ副首相一行	10 名
H12. 6. 9	中華人民共和国札幌総領事・首席領事	2 名
H12. 6.29	銭形平次のふるさと岩手県紫波町(浄化センター)	10 名
H12. 7. 6	エジプトJICA研修生	2 名
H12. 7. 7	(財)日本立地センター理事長	4 名
H12. 8.24	社団法人山形県経営者協会水曜会	24 名
H12. 8.28	盛南開発協議会	30 名
H.12. 9. 4	岩手県統計調査員協議会連合会合同会二戸支部	70 名
H12. 9.27	職業訓練法人 東磐職業訓練開発協会	40 名
H12. 9.29	日本石灰協会	100 名
H12. 9.29	県民生活センター	44 名
H12. 9.29	岩手県職員退職者会	35 名
H12.10. 6	高円宮殿下・高円宮妃殿下	2 名
H12.10.11	株式会社 ユアテック 岩手支店	5 名
H12.10.12	岩手大学附属中学校3年生	1 名
H12.10.31	盛岡西リサーチパーク企業誘致推進協議会	26 名
H12.11. 8	物質光学研究所産学官推進連携センター長	1 名
H.12.11.14	岩手大学教育学部家政科	16 名
H12.11.17	埼玉県議会議員	5 名
H12.11.17	岩手県高等学校教育研究会化学部会	30 名
H12.12. 1	岩手県高等学校教育研究会生物部会	25 名
H12.12.22	盛岡大学短期大学部食物栄養科2年生	51 名
合計	団体	567 名

その他の業務

- 1 工業技術連絡会議関連会議

(1)工業技術連絡会議本会議

会議名称	出席職員	月 日	開催地	開催機関
公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	川村	6/15～16	浦和市 埼玉県県民健康センター	公立鉦工業試験研究機関長協議会
東北農業試験研究推進会議企画部会幹事会	川村	7/6	盛岡市 東北農業試験場	東北農業試験場長
物質工学連合部会幹事会	河野	8/2～3	つくば市 研究所会議室	工業技術院物質工学工業技術研究所長
食品総合研究所及び生命工学工業技術研究所との交流会	川村	8/28～29	つくば市 研究所会議室	全国食品関係試験研究機関場所長会
物質工学連合部会幹事会	河野	11/28～29	つくば市 研究所会議室	工業技術院物質工学工業技術研究所長
工業技術連絡会議	河野	12/4	東京都 発明会館	通商産業省工業技術院長
全国食品関係試験研究場所 長会編集委員会	川村	12/12	東京都 南青山会館	全国食品関係試験研究場所長会会長
東北地域総合研究推進委員会	川村	12/18	盛岡市 東北農業試験場	東北農業試験場長
東北農業試験研究推進会議	川村	1/26	盛岡市 東北農業試験場	東北農業試験場長
東北農業試験研究推進会議 評価・情報部会	川村	2/9	盛岡市 東北農業試験場	東北農業試験場長
全国食品試験研究連絡会議	川村	3/1	つくば市 研究所会議室	食品総合研究所長

(2)機械金属連合部会

会議名称	出席職員	月 日	開催地	開催機関
春季東北・北海道地方部会	若槻 高橋幾久雄	5/17	仙台市	秋田県工業技術センター
秋季東北・北海道地方部会	藤澤、堀田、飯村 桑嶋孝幸	10/5～6	秋田市	秋田県工業技術センター
第29回計測分科会	飯村	10/12～13	滋賀市	計量研究所
工業技術連絡会議第44回機械・金属連合部会総会	高橋幾久雄	6/1～2	山梨県	
生産情報システム研究会	若槻	11/1～2	静岡市	機械技術研究所
工業技術連絡会議・機械金属連合部会素形材技術分科会 第41回全	茨島明 高川貫仁	11/16～17	名古屋市	

(3)物質工学連合部会

会議名称	出席職員	月 日	開催地	開催機関
繊維部会第8回関東・東北地方部会総会	大和進	5/11～12	会津若松	福島県ハイテクプラザ 福島技術支援センター
平成12年度春季東北・北海道地方部会	多田部長 浪崎安治	5/12	仙台市	岩手県工業技術センター

会議名称	出席職員	月 日	開催地	開催機関
春季東北・北海道地方部会	河野 多田 浪崎 小林 大内	5/12	仙台市	岩手県工業技術センター
物質工学連合部会・表面技術分科会	鈴木一孝	5/24・25	東京都城南地区中小企業	東京都城南地区中小企業振興センター
物質工学連合部会総会	河野、多田	6/15～16	つくば市	物質工学工業技術研究所
物質工学連合部会デザイン分科会	小林	6/21～24	宇部市	山口県工業技術センター
物質工学連合部会・高分子分科会	化学部全員	9/25～26	ホテルロイヤル盛岡	岩手県工業技術センター
秋季東北・北海道地方部会	多田 高橋 浪崎 有賀	10/5～6	金ヶ崎町	岩手県工業技術センター
物質工学連合部会秋季地方部会	化学部全員	10/5～6	金ヶ崎町 サンピア金ヶ崎	岩手県工業技術センター
平成12年度物質工学連合部会第8回包装分科会	武山進一	10/12～13	三重県	三重県科学技術振興センター工業技術総合研究所
物質工学連合部会・分析分科会	瀬川晃児、藤原智徳	10/19～20	秋田ビューホテル	分析分科会事務局
平成12年度物質工学連合部会第9回木質科学分科会	浪崎安治	10/31～11/1	千葉市	千葉県工業試験場

(4) 窯業連合部会

会議名称	出席職員	月 日	開催地	開催機関
窯業連合部会春季地方部会	瀬川晃児	5/16	KKR HOTEL 仙台錦	福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
窯業連合部会総会	大内康弘、 瀬川晃児	5/25～26	富山県工業技術センター	名古屋工業技術研究所
窯業連合部会秋季地方部会	大内康弘、 今井潤	10/19～20	サンピア会津	福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター

(5) 資源環境連合部会

会議名称	出席職員	月 日	開催地	開催機関
資源環境連合部会春季地方部会	大内康弘	5/18	仙台合同庁舎	北海道立工業試験場
資源環境連合部会総会	大内康弘、佐々木陽 佐々木秀幸	6/8～9	秋田市アトリオン	資源環境連合部会
資源環境連合部会秋季地方部会	化学部全員	10/5～6	サンピア金ヶ崎	北海道立工業試験場
第8回資源環境連合部会シンポジウム	小向隆志	11/30	広島ガ・デンパレス	資源環境連合部会

(6) 生命工学連合部会

会議名称	出席職員	月 日	開催地	開催機関
春季東北・北海道地方部会	川村杉生 大澤純也	4/18	青森市	青森県産業技術開発センター
総会	川村杉生 大澤純也	6/8～9	宮崎市	工業技術院生命工学工業技術研究所
秋季東北・北海道地方部会	川村杉生 大澤純也 小浜恵子	9/13	青森市	青森県産業技術開発センター

会議名称	出席職員	月 日	開催地	開催機関
------	------	-----	-----	------

(7)電子連合部会

会議名称	出席職員	月 日	開催地	開催機関
春季東北・北海道地方部会	藤澤	5/15	仙台市	山形県工業技術センター
総会	南幅、大坊	6/1～2	長崎市	長崎県工業技術センター
秋季東北・北海道地方部会	泉田	10/12～13	天童市	山形県工業技術センター
第5回電磁環境分科会並びに第10回EMC研究会	河野、南幅、藤澤、泉田、長谷川、大坊	10/19～20	花巻市	岩手県工業技術センター
第1回信頼性・評価技術研究分科会	大坊	11/1～2	つくば市	電子技術総合研究所

(8)ファインセラミックス研究会

会議名称	出席職員	月 日	開催地	開催機関
ファインセラミックス研究会	大内康弘 今井潤	10/19	サンピア会津	福島県ハイテクプラザ 会津若松技術支援センター

- 2 試験研究機関関連会議

名称	月日	開催地	出席職員	開催機関
全国食品関係試験研究場所 長会平成12年度定期総会	6/8～9	宮崎市	川村杉生 大澤純也	全国食品関係試験研究場 所長会
農業試験研究推進会議農産 部会	7/11	北上市	高橋亨	農業研究センター
平成12年度岩手県農業試験 研究推進会議専門部会	7/14	北上市	武山	農業研究センター
水稲品種開発推進会議	8/7	盛岡市	桜井 廣	農産園芸課
次世代稲作現地検討会	8/30～31	つくば市	米倉裕一 高橋亨	農林水産技術会議事務局
平成12年度食品関係技術 研究会	9/5～6	つくば市	荒川、笹島	農林水産省食品総合研究 所
中小企業技術開発産学官卵 形促進事業第1回推進協議 会	9/18	大阪市	大澤純也 岸 敦	中小企業技術開発産学官 連携促進事業幹事県
中小企業技術開発産学官連 携推進事業「高度非破壊セン シングシステムの開発」	9/28～29	山形市	南幅 泉田 大坊	広島県工業技術センター
中小企業技術開発産学官連 携推進事業「広域高速ネット ワーク応用次世代インテリジェント分散	10/17～18	福島市	長谷川	福島ハイテクプラザ
中小企業技術開発産学官連 携推進事業「生産機械システム のオープン制御技術開発」	10/18	広島市	若槻	広島県東部工業技術セン ター
バイテク研究調整会議打ち 合わせ	10/20	盛岡市	桜井 廣	農業技術課
農業試験研究推進会議専門 部会	1/9	北上市	高橋亨	農業研究センター
平成12年度東北農業試験 研究推進会議流通・加工部 会	1/30～31	福島市	大澤純也	流通・加工部会長
平成12年度東北農業試験 研究推進会議生物工学部会	2/2	盛岡市	大澤純也	生物工学部会長
バイテク研究成果等検討会 議	2/13	盛岡市	桜井 廣	農業技術課
次世代米推進会議	2/20～22	つくば市	川村杉生 高橋亨	農林水産技術会議事務局
地域先端技術共同研究開発 促進事業	2/26	つくば市	大澤純也 伊藤良仁	農林水産省食品総合研究 所

他団体支援業務

- 1 工業所有権制度の普及・発明くふう展

(発明協会岩手県支部関係)

月 日	支 援 し た 業 務	場 所	担当部・出席者
5.16	会計監査	発明協会岩手県支部	企画情報部 齊藤
5.26	12 理事会・総会	岩手県自治会館	企画情報部 齊藤
6.2	盛岡市少年少女発明クラブ 第1回企画運営委員会	盛岡市子ども科学館	企画情報部 齊藤
7.6 ~7	第48回全国発明振興会議	鹿児島市	企画情報部 和合
9.7	東北地方発明表彰選考委員会	郡山市	企画情報部 齊藤
1.8~ 9	企業の発明くふう展まつり	工技センター大ホール	企画情報部 外
10.20	第36回岩手県発明くふう展審査会	岩手教育会館	河野、川村副所長 企画情報部 齊藤 木工特産部 久慈
10.24	同上表彰式	岩手教育会館	菊池副所長 企画情報部 齊藤 木工特産部 久慈
11.29 ~30	中小企業特許講習指導相談会	工技センター大会議 室	企画情報部 齊藤 和合
2.7	盛岡市少年少女発明クラブ 第2回企画運営委員会	盛岡市こども科学館	企画情報部 齊藤

- 2 (財) いわて産業振興センター支援業務

月日	支援した業務	開催場所	出席者
7.24	第2回地域プラットフォーム整備推進連絡会	岩手県商工会連合会	齊藤
7.26	第1回財団法人いわて産業振興センター支援対象企業審査委員会	マリオス	齊藤
8.1	第1回RSP事業推進会議ワーキング委員会	マリオス	佐々木(英)
8.28	第1回事業可能性評価委員会	マリオス	齊藤
8.29	第1回RSP事業推進会議ワーキング委員会	マリオス	齊藤
9.6	第3回地域プラットフォーム活動推進連絡会	盛岡市繋	齊藤
10.2	2回RSP第事業推進会議ワーキング委員会	マリオス	佐々木(英)
10.11	第3回財団法人いわて産業振興センター支援対象企業審査委員会	マリオス	齊藤
12.4	第3回RSP事業推進会議ワーキング委員会	マリオス	和合
10.23	第4回地域プラットフォーム活動推進連絡会	盛岡市繋	齊藤
12.11	第5回財団法人いわて産業振興センター支援対象企業審査委員会	マリオス	齊藤
2.5	第4回RSP第事業推進会議ワーキング委員会	ホテルトリオ盛岡	佐々木(英)
2.14	第6回財団法人いわて産業振興センター支援対象企業審査委員会	マリオス	和合
3.9	第7回財団法人いわて産業振興センター支援対象企業審査委員会	マリオス	齊藤
3.16	第2回事業可能性評価委員会	マリオス	齊藤
3.23	第5回地域プラットフォーム活動推進連絡会	ホテルトリオ盛岡ニューイング	齊藤、佐々木(英)

- 3 技能検定

技能検定職種	月日	実施場所	担当者	担当部
前期技能検定実技試験実施打合	6/6	岩手ポリテクセンター	若槻	電子機械部
技能検定実技試験「フライス、NC型彫」	7/29	サマ・ジャパン(株)	堀田	
技能検定実技試験「NC旋盤、平面研削」	8/5	(株)ミクニアデック	飯村	
技能検定実技試験「NC型彫放電加工」	8/26	SSIダイエンジニアリング(株)	堀田	
技能検定実技試験集中採点	9/11～13	工業技術センター	堀田、飯村	
前期技能検定試験	2/10	岩手ポリテクセンター	堀田	
溶接技能者評価試験	4/28	宮古高等技術専門学校	高橋(幾)	金属材料部
2級コールドチャンバダイカスト	7/9	品川ダイカスト工業(株)	茨島	
	8/26	S M C(株)釜石工場	茨島	
南部鉄器伝統工芸士認定産地試験	9/25	水沢：長寿堂工房	勝負澤	
	9/26	盛岡：照亦工房、虎山工房、御釜	勝負澤	
溶接技能者評価試験	11/16	県立種市高校	高橋(幾)	
金属熱処理	9/3	工業技術センター	鎌田、齋藤貴	
溶接技能者評価試験	2/16	釜石市・(株)白川釜石工場	高橋(幾)	
技能五輪岩手県予選(電気溶接)	2/25	玉山村・北日本機械(株)	高橋(幾)	
家具手加工作業	8/23	江刺職業訓練協会	高橋(民)	
家具手加工作業・木製建具手加工作業	8/28	盛岡地域職業訓練センタ-	高橋(民)	
基礎2級木製建具作業	9/20	岩手工業技術センタ-	高橋(民)	
みそ 2級	2/16	工業技術センター	桜井、畑山	醸造技術部

- 4 研究会

1 岩手県メカトロニクス研究会

名称	開始年月日	テーマ	講師	開催場所	受講者数
役員会	6/7	役員会		工業技術センター	13
総会	6/7	総会		リリオ	16
講演会	6/7	(1)多目的走行型車椅子の研究の取り組みについて	産業技術短期大学校助教授 田中慎造	リリオ	20
		(2)人工知性対実現のための仮説(パート3)	泉山会計センター代表取締役 泉山恒男		
第1回研修会	6/30	「福祉機器開発に関するリトキングpart1」		工業技術センター	13
第1回講習会	7/13	「高速・高能率加工技術」	MMCコパルコウ-ル 営業技術部長 五反田修	工業技術センター	29
見学会	7/28	「見学先：岩手県立大及び産業技術短期大学校」			19
第2回研修会	8/28	「福祉機器開発に関するリトキングpart2」	産業技術短期大学校助教授 田中慎造	工業技術センター	10
第3回研修会	9/27	「福祉機器開発に関するリトキングpart3」		工業技術センター	7
第4回研修会	10/25	「福祉機器開発に関するリトキングpart4」		工業技術センター	8
第2回講習会	11/21	「工程改善による生産性の向上と難削材加工」	京セラ(株)機械工具事業部 松井寛	工業技術センター	29
第5回研修会	11/29	「福祉機器開発に関するリトキングpart5」		工業技術センター	5
第6回研修会	1/24	「福祉機器開発に関するリトキングpart6」		工業技術センター	5
第6回研修会	2/22	「福祉機器開発に関するリトキングpart7」		工業技術センター	7

2 岩手食品加工研究会

講演会(ABOC合同)	5/26	雑穀たんぱく質の構造と生理機能	県工業技術センター 小浜恵子	岩手大学工学部	62
		カルコゲノカルボン酸誘導体群の系統的な開発	岐阜大学工学部教授 加藤晋二		
役員会	6/2	平成11年度会計監査・平成12年事業計画			
総会・特別技術講演会	6/13	食品加工原料と高度化高技術	小林昭一 岩手大学農学部教授	工業技術センター	29
技術講演会	9/1	改正JAS法について	佐藤博実 岩手県農政部農産物流通課主任	工業技術センター	21
技術講演会	3/5	宿品行政、食品研究を振り返って	荒川善行 工業技術センター	工業技術センター	32
		異物混入を主体とした最近の相談事例から	遠山良 工業技術センター	工業技術センター	

名称	開始年月日	テーマ	講師	開催場所	受講者数
3 岩手県果実酒研究会					
岩手県果実酒研究会	11/20	岩手のブドウ栽培及びワイン製造技術		岩手県林業技術センター	28
4 岩手県商品開発研究会					
商品開発研究会	6/20	フィランドとの交流	ジエトロ盛岡 花井敬昌	プラザおでって	21
商品開発研究会	7/15	デザインの教え方	荻野克彦デザイン事務所 荻野克彦	小岩井農場	32
商品開発研究会	9/30～ 10/1	共同研究の進め方	工業技術センター - 町田俊一	岩泉かむら旅館	19
5 岩手県接合技術研究会					
役員会	4/19	役員会		工業技術センター	4
		会計監査			2
第35回研究会	5/19	特別講演「有珠山の火山 対応に学ぶ岩手山の防災」	岩手大学 斎藤徳美	ホテルリッチ盛岡	8
		定期総会 懇親会			
第36回研究会	7/27	技術研修「ISO9000認証取 得までの我が社の取り組 み」	北上鉄工(株) 小原義和	工業技術センター	9
		共同研究「溶接部の品質 に及ぼすレーザ溶接条件」			10
第37回研究会	9/21～22	八戸地区企業視察 三浦建設工業(株)、北日 本造船(株)、北日本鍍金 (株) 青森県機械金属技術研究所		八戸市	(6社)
第38回研究会	10/19	技術研修「レーザ加工」	日鐵溶接工業(株) 園田弘文	工業技術センター	4 (4社)
第39回研究会	12/7	技術研修「金属の表面処 理による改質 技術」	工業技術センター 鈴木一孝		6 (6社)
		技術研修「最近の溶接省 力化機器」	マツモト機械(株) 安部富士雄		
第40回研究会	12/14	技術研修「レーザを用い る複合溶射」	工業技術センター 桑嶋孝幸	工業技術センター	4 (4社)
		技術実験「レーザ溶接の 実際」			
		共同研究「溶接部の品質 に及ぼすレーザ溶接条 件」			

名称	開始年月日	テーマ	講師	開催場所	受講者数
6 岩手県材料応用技術研究会					
理事会	6/2	平成11年度事業報告及び収支決算		ホテルリッチ盛岡	10
		平成12年度事業計画及び収支予算案			
定例総会	6/2	平成11年度事業報告及び収支決算		同上	20
		平成12年度事業計画及び収支予算案			
第139回研究会	6/2	「岩手県における産学官連携の事例とその支援について」	県立大学企画課 主任情報システム主査 小山康文	同上	20
		「製造業における産業廃棄物のリサイクルについて」	高弥環境整備(株) 盛岡営業所々長 高橋修三		
第140回研究会	7/13	「エンドミルによる高速、高能率加工の実際」	MMCコベルコツール(株) 次長 五反田 修	工業技術センター	27
第141回研究会	11/21	「工程改善による生産性の向上と難削材加工」	京セラ(株) 東日本営業課 松井 寛	工業技術センター	29
第142回研究会	1/30	「接合技術の最新技術動向～最近の話題から～」	岩手大学工学部 助教授中村 満	釜石・大槌地域産業育成センター	29
		「ステンレス鋼およびアルミニウム合金の溶接加工の実際」	(株)神戸製鋼所溶接カンパニー 営業部 蛸谷 正敏		
第143回研究会	3/2	「地球環境問題と資源循環型社会への取り組み」	(株)本田技術研究所栃木研究所 チーフエンジニア 佐藤 登	工業技術センター	59
第141回研究会	11/21	「工程改善による生産性の向上と難削材加工」	京セラ(株) 東日本営業課 松井 寛	工業技術センター	29
第144回研究会	3/6	「28GHzマイクロ波加熱装置について」	富士電波工業(株)筑波研究所 所長 岡村 清高	工業技術センター	19
		「放電プラズマ焼結(SPS)システムの現状と将来性」	(株)イズミテックSCM事業部 主任研究員 川原正和		

7 岩手県非鉄金属加工技術研究会

総会	4/21	・総会		エスポワールいわて	22
第21回研究会		・補助金制度の活用について	岩手県商工労働観光部 畠山幸男		(10社)
		・発光分光分析用標準試料データについて	工業技術センター 高川貫仁		
第22回研究会	5/26	「透過型磁気センサによる金属製品の非破壊検査」	偕成エンジニア(株) 小濱博明	工業技術センター	12 (4社)
第23回研究会	8/25	・見学会		北上市基盤技術	7 (7社)
第24回研究会	10/3	・「アルミニウム合金の半溶融・半凝固鑄造について」	東京工業大学 前教授 神尾彰彦	工業技術センター	11 (5社)
		・情報交換会			
第25回研究会	3/8	「Al、Mg、Zn合金の組織とダイカスト欠陥解析と対策」	東京都立産業技術研究所 佐藤健二	工業技術センター	18 (10社)

デジタルエンジニアリング研究会

第5回研究会	2000/8/4	(1)モールド金型CAEソフトを用いた解析結果と実製品の比較について	岩手大学 廣瀬宏一	工業技術センター	25
		(2)樹脂金型解析用CAEソフトMOLD FLOWについて	モールドフロージャパン 立花一成		
		(3)有限要素法による熱解析について	県立大学 小山田耕二		

運営業務

- 1 工業技術研究推進会議

(1) 工業技術研究推進会議部会

岩手県工業技術研究推進会議要綱を改正し、デザイン部会を生産技術部会に統合して開催した。
【内容】部会（各部）ごとに開催し、平成10年度終了研究課題・指導成果等を説明、平成11年度及び12年度研究計画に対して技術的かつ専門的な助言・指導・評価等を部会ごとに受けた。評価は工業技術センターで試行的に作成した評価調書を基に受けた。

【日時】10月29日（金）食品技術部会 醸造技術部 9:00～12:00
食品開発部 13:30～15:55
11月 1日（月）食品技術部会 応用生物部 13:00～16:45
11月 9日（火）生産技術部会 木工特産部 9:30～11:45
電子機械部 13:00～16:40
11月17日（水）材料技術部会 金属材料部 9:00～11:45
化学部 13:30～15:55

【場所】工業技術センター 小ホール

(2) 工業技術研究推進会議全体会議

【内容】全部会合同で開催し、平成11年度進捗状況及び平成12年度研究計画を報告するとともに、センター全体に係る総合的な助言・指導・評価等を受けた。また、評価は工業技術センターで作成した様式に従い試行した。

【日時】2月16日（水） 13:30～15:30

【場所】エスポワールいわて

(3) 岩手県工業技術センター 工業技術研究推進会議委員名簿

氏名	所属	役職	部会名	担当部
土井 章男 厨川 常元 名須川利通	岩手県立大学ソフトウェア情報学部 東北大学大学院工学研究科機械電子工学専攻 リコー光学（株）開発技術部	教授 助教授 部長	生産	電子機械部
田村 邦彦 梨原 宏 平佐 興彦	（有）一戸チップ工業所 東北工業大学工学部工業意匠学科 岩手大学教育学部家政科	代表取締役 教授 教授	技術	木工特産部
小山田 周右 堀江 皓 阿部 利彦	（株）小山田工業所 岩手大学工学部材料物性工学科 工業技術院東北工業技術研究所材料システム研究室	代表取締役社長 教授 室長	材料	金属材料部
田面木 哲也 紺谷 和夫 中澤 廣	（有）トーノ精密 工業技術院中国工業技術研究所 岩手大学工学部建設環境工学科	取締役 所長 教授	技術	化学部
小林 昭一 中沢 伸重	岩手大学農学部農業生産環境工学科 秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学	教授 助教授	食品	応用生物部
佐藤 智博 五枚橋 裕	（株）あさ開 （株）エーデルワイン	生産部部长 常務取締役	技術	醸造技術部
阿部 ゆう子 菅原 悦子	（株）道奥 岩手大学教育学部家政科	代表取締役社長 教授	技術	食品開発部
岩淵 明 小野 伴忠 丹野 和夫	岩手大学工学部機械工学科 岩手大学農学部応用生物学科 （財）岩手県高度技術振興協会研究開発センター	教授 教授 センター長	共 共 会	通 通 長

計21名

〔参考資料〕

1 主要設備機器

(1) 日本自転車振興会補助事業

(平成元年度以降)

(取得価格100万円以上)

年度	機 器 名	メーカー名	型 式	部 名
5	ESCA表面解析装置	アルバック・ファイ	ESCA5600ci	化 学
5	オーシエ表面解析装置	日本電子	JAMP-7100E	化 学
6	フーリエ変換磁気共鳴装置	日本電子	JNM-LA400	化 学
7	電源切換式真空溶解炉	富士電波工業(株)	FTH-50-3VM	金属材料
7	サンドミキサー	(株)キタニ	MSU-2E型	金属材料
7	デジタル式微少硬度計	(株)東栄科学産業	MVK-H100A2	金属材料
7	精密切断機	中外機工(株)	HS-100	金属材料
8	ノイズ解析装置	ヒューレットパッカート	8753	電子機械
8	三次元表面解析顕微鏡	ZYGO(株)	New View100	電子機械
9	放射電磁界イミュニティ試験設備	日本オートマチックコントロール(株)	IEC1000-4-3, ENV50140, CISPR	電子機械
10	水銀圧入式細孔分布測定装置	(株)島津製作所	155353500350	化 学
	レーザー光散乱式粒度分布測定装置	マルバーン社	33544/345	
11	300KN精密材料試験機	(株)エー・アンド・テイ	テンシロン万能試験機	金属材料
	金属用光学顕微鏡	ライカ(株)	ライカDMR/DC12	
	精密切断機	リファインテック(株)	リファインテックRCO-270	
12	量子計測システム	(株)アオバサイエンス	Tristan Technology Inc. Model 601 NDE System他	電子機械
	不良解析前処理システム	(株)東栄科学産業	オリンパス光学工業 SZ6045CHI他	
	構造解析システム	(株)電通国際情報サービス	デルコンピューターLatitude Cpt他	

(2)国庫補助事業

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名	研究テーマ	部名
5	ニューロボード	東日本電子計測	マイテック Neuro Turbo	人材	精密部品製作の無人化システムの試作開発	電子機械
5	アナログ信号処理システム	カーパス	HYPAQ-6200	人材	"	電子機械
5	ビジョンモニタリングシステム	日本電気	PC9821Ap/u2	人材	"	電子機械
5	XYステージ	日本トムソン	GT220/220AE	人材	"	電子機械
5	3Dビデオトラッキングシステム	応用計測研究所	G2620-0083S	人材	"	電子機械
5	ビデオ測定顕微鏡	OGP社	SMART SCOPE 200	人材	"	電子機械
5	無人化システム開発支援装置	(株)安川電機	MOTOMAN-K35	人材	"	電子機械
5	5軸同時制御NC自動加工装置	平安コーポレーション	NC-151-MC1508	指導		木材工業
5	粉末供給装置	第一メテコ	4MP デュアルタイプ	加速	セラミックスの接合加工技術の開発	金属材料
5	精密切断機	マルト-	MX-833	加速	"	金属材料
5	AF計測装置	島津製作所	SAE-1000A	広域1	自由曲線を有するセラミックスと金属の接合技術	金属材料
5	冷間等方圧加圧装置	神戸製鋼所	Dr.CIP	広域1	"	金属材料
5	セラミックス強さ測定機	マルト-	MZ-401	広域1	"	金属材料
5	糖分析用高速液体クロマト	ダイオネクス	BIO-LCシステム	一般4	食品副産物の高度利用技術に関する研究	応用生物
5	酵素分離システム	ファルマシア	SMARTシステム	一般4	"	応用生物
5	データステーション	ウォーターズ	805	強化	製造工程中の微生物管理	応用生物
5	オートサンプラー	ウォーターズ	717プラス	強化	"	応用生物
6	真円度測定機	ランクレーホブソン	トリロッド300	指導		電子機械
6	DB及びCG開発装置	東芝	AS4085UniS	広域2	三次元画像による製品検査技術の高度化	電子機械
6	3次元凝固解析システム	コマツソフト	コマツソフトSOLDIA	指導		金属材料
6	原子吸光分光光度計	島津製作所	AA-6400	流動	トリファンチオールのスーパーファイン化に関する総合的研究	化学
6	動的接触角測定装置	オリエンテック	DCA-1	流動		化学
7	真空ミキサー	(株)橋市	大竹式	地域食品	冷麺の製造技術の高度化	食品開発
7	ガス分析ユニット	共立医科機械	GC390型	地域食品	"	食品開発
7	マイクロフォーカス線装置	東芝岩手電機(株)	TOSMICRON-6125	広域2	三次元画像による製品検査技術の高度化に関する研究	電子機械
7	データ収集装置		POWAERMAC	広域2	"	電子機械
7	酵母発酵力測システム	(株)サガワサイエンス	フォーモグラフSS, サーマルタンク, ミキサー			醸造技術
7	窒素分析システム	(株)成瀬器械	ケルダール窒素、タンパク質分析装置			醸造技術
7	調味食品製造装置	銘醸機械(株)	洗米機、チョッパー、ろ過機			醸造技術
7	酵母発酵力測システム	(株)サガワサイエンス	高沸点成分抽出装置			醸造技術
7	三次元自動変角光度計	(株)成瀬理工	GP-200	国際創造	軟質材の高度利用開発の研究	化学
7	薄膜物性評価装置	(株)成瀬理工	MHA-400	国際創造	"	化学
7	表面界面物性測定装置	(株)成瀬理工	AN型	国際創造	"	化学

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名	研究テーマ	部名
8	CD-ROM公報編集機器	日立製作所	FLORA-DM2	知的所有	CD-ROM公報閲覧整備事業	企画情報
8	CCDマイクロスコープ	キーエンス	VH-620	戦略的	高硬度難加工金属材料の高精度加工技術の開発	電子機械
8	信号解析装置	(株)ツートップ	VIEW	戦略的	"	電子機械
8	大型精密定盤	ナベヤ	GP-011-0	戦略的	"	電子機械
8	横切り丸鋸盤	協和機工	PW-1000A-H	国際創造	軟質材の高度利用開発	木工特産
8	加工木材物性評価用制振性能解析装置	松下インターテクノ	ブリュ-&ケア-	国際創造	"	木工特産
8	家具デザイン用パソコンシステム	Apple	PowerMacintosh9500/200	国際創造	軟質材の高度利用開発	木工特産
8	自動一面かんな盤	桑原製作所	KU-N600	国際創造	"	木工特産
8	手押かんな盤	桑原製作所	KPN-400	国際創造	"	木工特産
8	鋳込み形成装置	高木製作所	CVP050LS	指導		木工特産
8	焼成試験装置	デンケン	KDF1700KDF7	指導		化学
8	窯業原料精製装置	日陶科学	ALM-300W他	指導		化学
8	O2-CO2細胞培養装置	ヒラサワ	CPO2-17	地域先端	畜産未利用資源からの有用成分の抽出	応用生物
8	純水/超純水製造装置	日本ミリポア	RFG-40	地域先端	"	応用生物
8	マイクロコンピュータ	TPI	フォンブランタイプ	基盤強化		応用生物
8	画像DBサーバー装置	INDYSYUDIO他		広域2	三次元画像による製品検査技術の高度化に関する研究	電子機械
8	微弱光検査装置	浜松ホトニクス	C2400-4	広域2	"	電子機械
8	香り認識装置	アルファMOS	FOX3000	地域食品	酒造管理への各種センサの実用化技術	醸造技術
9	ジーンハルサー	日本バイオラット	2626	広域共同	新規呈味性を有する醸造酵母の育種	応用生物
9	蛍光イメージアナライザー	宝酒造(株)	2979113	広域共同	"	応用生物
9	アミノ酸分析システム	日本ウォーターズ	D97SHC217M	指導		応用生物
9	インテグリティシステム	日本ウォーターズ	F97TMD035P	指導		応用生物
9	クリンハンチ	(株)日立製作所	G204467001	指導		応用生物
9	変角分光測色システム	(株)村上色彩研	0680	国際創造	軟質材の高度利用開発の研究	化学
9	総合型熱変形解析システム	NEC三栄(株)	7070283	戦略的	高硬度難加工金属材料の高精度加工技術の開発	電子機械
9	広帯域記録8mmテープレコーダ	TEAC(株)	641010	戦略的	"	電子機械
9	3成分動力計	日本キスラー(株)	623765	戦略的	"	電子機械
9	有機薄膜形成装置	日本真空技術(株)	MF97-1131	集積活性	有機超薄膜による金属の防蝕技術	化学
9	レーザー顕微鏡	オリンパス光学工	802001	集積活性	"	金属材料
9	フレイムレス原子吸光分光光度計	ハイアンジヤパン	EL98023316	集積活性	"	化学
9	ケルミネッセンスアナライザー	(株)東北電子産	059	集積活性	"	化学
9	熱衝撃試験器	エタック(株)	139802005	集積活性	"	電子機械
9	特許情報検索システム	新日本製鐵(株)	735MCIF2	知的所有	特許情報有効活用モデル事業	企画情報
9	3次元CAD補助処理装置	住商エレクトロニクス	D800690B9CBO	産学官	エコ・キャスト・テクノロジーの創造	木工特産
9	サンド・エロージョン摩耗試験装置	佐々木電気(株)	SDH-9701	産学官	"	金属材料
9	ピンオンディスク摩耗試験装置	神鋼造機(株)	88	産学官	"	金属材料
9	ダイヤモンド溶射装置用アダプター	スルサー・メテコン	DJ-2700	地域先導	薄肉強靱鋳鉄の表面改質による耐食性の高機能化	金属材料

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名	研究テーマ	部名
10	CNCパイプベンダー	日進精機(株)	980130	づくり	"	電子機械
10	油圧式プレスブレーキ	(株)ニコテック	35120137	づくり	"	電子機械
10	メカニカルシャーリングマシン	(株)ニコテック	45120016	づくり	"	電子機械
10	形網加工機	日東工器(株)	800019	づくり	福祉機器開発	電子機械
10	アーク溶接ロボット	(株)ダイヘン	1 L6510Y457307	づくり	"	金属材料
10	三次元動作解析装置	(株)ナック	VICON512	づくり	"	電子機械
10	重心特性解析装置	(株)ナック	9286A	づくり	"	電子機械
10	人間工学的評価装置	日本光電工業(株)	WEB-50000	づくり	"	電子機械
10	体形応用モデリングシステム	(株)浜野エンジニアリング	HEV-600PS	づくり	"	電子機械
10	多加水生地圧延機	大竹麺機販売(株)	特 1	フード	手作りひつまみの機械化製造技術開発	食品開発
10	ひつまみ成型分割機	レオン自動機(株)	特 1	フード	"	食品開発
10	ガスクロデータ処理器	ジールサイエンス(株)	0D534853	フード	"	食品開発
11	YAGレーザー装置	(株)日鉄溶接工業	iLS-YC-25CLAY-806H	集積活性		金属材料
11	微小部X線回析装置	(株)リガク	RINT-2550/PC理工電機(株)	集積活性		金属材料
11	放電プラズマ焼結装置	(株)イズミテック	SPS-3.2 0 MK-VI(株)イズミテック	集積活性		金属材料
11	原子間力顕微鏡	セイコーインスツルメンツ	セイコーSPA-50	集積活性		化学
11	高速比表面細孔分布測定装置	島津製作所	アサップ2010	集積活性		化学
11	三次元データ入力装置	住商エレクトロニクス	モデルメーカー-TypeH	集積活性		木工特産
11	平坦度測定装置	TOROPEL	TOROPEL社FM200XR	集積活性		電子機械
11	高周波プラズマ分析システム	ハーキンエルマージャパン	ハーキンエルマージャパン製	集積活性		化学
11	金属材料結晶育成炉	(有)マチルズ	マテルスMAT-130KS	集積活性		金属材料
11	衝撃試験装置	(株)東洋精機製作	(株)東洋精機製作所DG-U	公設試	廃プラスチック類の用途開発	化学
11	携帯用滑り抵抗測定器	(株)藤原製作所	SS-A-172	公設試	"	化学
11	超微粒摩砕機	増幸産業(株)	セレンティバタ-MKC	公設試	寒冷地生物資源の利用に関する研究	応用生物
11	超臨界流体抽出システム	ISCO日本分光	ISCO社SFX2-1	公設試	"	応用生物
11	SQUID弱磁場検出装置	トリスタンテクノロジー	トリスタンテクノロジー	公設試	アクティブセンシングによる非破壊検査システム開発	電子機械
11	発光分光分析装置	SpectroAalytical	スペクトロ・ラフX7ZUV	公設試	廃棄貝殻による銕物溶湯からの脱リン	金属材料
11	誘電率測定実験装置(アンテナ増幅器)	HP	HP製 マイクロ波増幅機	公設試	アクティブセンシングによる非破壊検査システム開発	電子機械
11	誘電率測定実験装置(ネットワークアナライザ)	HP	HP製 タイムドメイン010	公設試	"	電子機械
11	電波無響箱	トーキン	トーキン	公設試	"	電子機械
11	自動コロニーカウンター	PROTOCOL	PROTOCOL	地域先端	畜肉未利用資源有効利用に関する研究	応用生物
11	小型発行ジャータンク	ヤスタフインテ	ヤスタフインテ	地域先端	"	応用生物
11	麺類製造装置(麺用縦型ミキサー)	大竹麺機	大竹麺機	指 導		食品開発
11	麺類製造装置(研究室用麺機)	大竹麺機	大竹麺機	指 導		食品開発
11	麺類製造装置(高速GPC/LCシステム)	東ソー(株)	東ソー(株)	指 導		食品開発
11	麺類分析装置(ガスクロ質量分析システム)	ヒューレッドパッカー社	ヒューレッドパッカー社	指 導		食品開発

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名	研究テーマ	部名
11	麺類分析装置(ガスクロメーション)	ヒューレットパッカード社	ヒューレットパッカード社	指 導		食品開発
11	オカドサイクロンドライア	三共エンジニアリン	三共エンジニアリン	指 導		食品開発
11	ブラベンダー-ビスコグラフ	ブラベンダー-社	ブラベンダー-社	指 導		食品開発
12	設計解析支援システム	(株)イリオニクス	ERA - 8800FE他	産業集積		電子機械
12	走査イオン顕微鏡	セイコ-インスツルメンツ(株)他	S M I 9 2 0 0 他	産業集積		電子機械
12	圧力分布測定器	ニッタ(株)	F-SCAN (カブリニット2+ス パ-レシ-バ-ボ-ド1+ソフトウェア)	産業集積		電子機械
12	電磁界シミュレーション ソフトウェア	REMCOM社	XFDTD 5.1Pro +RPS Support Pro	公設試	アクティブセンシングによる非 破壊検査システム開発	電子機械
12	マイクロスコープ	(株)キ-エンス	V H - 7 0 0 0 C 他	公設試	オープンCNCシステムの	電子機械
12	簡易3次元計測・加工装置	ミノルタ他	計測器：Vivid700+加工 機：NC-5RX	公設試	次世代クリエイティブソ リユ-ションの研究	電子機械
12	周波数測定アップ グレードキット	アジレントテクノロジー-社	8 7 1 9 D U # 0 2 0	公設試	アクティブセンシングによる非 破壊検査システム開発	電子機械
12	オープンCNC旋盤	(株)森精機 製作所他	S L - 1 5 3 M C 他	公設試	オープンCNCシステムの	電子機械
12	レーザー	イオオプティック社他	J O L - D 8 P 他	公設試	アクティブセンシングによる非 破壊検査システム開発	電子機械
12	CAD/CAMデータ修正システムソフトウェア	I T I	I T I C A D f i x	ものづくりIT事業		電子機械
12	CAD/CAMデータ修正システムハードウェア	H P 他	HP Visualize Workstation X866他	ものづくりIT事業		電子機械
12	電界放射型電子顕微鏡	(株)イリオニクス	ERA - 8800FE他	産業集積		金属材料
12	真空アーク溶解炉	日本特殊機械(株)	A F - 1 0 2 - 1 3 4	公設試	廃棄貝殻による鋳物溶湯 からの脱リン	金属材料
12	小型高温高圧調理器	鳥取三洋電機(株)	鳥取三洋電機 クックロ ボ75L	フード	小型高温高圧調理器によ る雑穀利用食品の製造	食品開発

(注) 補助事業の名称

- 指 導：技術指導施設費補助金
- 広 域1：技術開発研究費補助金〔広域共同研究推進事業〕(H3～H5)
- 広 域2： " " (H6～H8)
- 広 域3： " " (H9～H11)
- 一 般1：技術開発研究費補助金〔一般共同研究推進事業〕(H元)
- 一 般2： " " (H3)
- 一 般3： " " (H4)
- 一 般4： " " (H5)
- 石 油：石油代替エネルギー技術改善費補助金(H3)
- おこし：地域技術活性化事業補助金〔地域技術おこし事業〕(H2～H3)
- 人 材： " 〔地域人材不足対策技術開発事業〕
- 加 速：加速的技術開発事業〔中小企業振興公社からの委託事業 平成5年度 工業技術センターへの設備移管〕(S62～S64)
- 流 動：生活地域流動研究事業(H5～H7)
- 強 化：中小食品企業経営基盤強化事業(H4～H5)
- 地域食品：地域食品産業高度化総合推進事業(H7～H9)
- 国際創造：国際技術創造研究推進事業(H7～H9)
- 知的所有：知的所有権センター管理運営事業(H8～H11)
- 戦略的：戦略的地域技術形成事業(H8～H10)
- 地域先端：地域先端：地域先端技術共同研究開発促進事業(H8～H10)
- 基盤強化：中小企業経営基盤強化事業(H8)
- 集積活性：特定産業集積活性化関連機関支援強化事業(H9～H13)
- 産学官：地域産学官共同研究推進事業(H8～H10)
- 地域先導：地域先導研究事業(H10～H12)
- 公設試：公設試共同研究推進事業(H10～H12)
- づくり：ものづくり試作開発思念センター整備事業(H10)

(3)県単独事業

年度	機 器 名	メ - カ - 名	型 式	部 名
5	電波暗室用測定機器(EMC測定機)	ヒューレット・パッカー	HP85774B	電子機械
5	CNC三次元測定機	ローデ&シュワルツ	ESVS10 ESHS10	電子機械
5	光硬化樹脂モデル作成装置	カールツアイス	UPMC550-CARAT	特産工業
5	ドビー織機用設計システム	シーメット社	SOUP400GHSP	特産工業
5	木材乾燥機	AVL社		特産工業
5	木材乾燥機	住金ヒルデブランド	HD74/TA2	木材工業
5	アパレルマルチシステム	東レ	ACS パトリイ/シマ	特産工業
5	商品性能試験用環境シミュレーション装置	タバイ	TBL-4HWOGA3C	特産工業
5	プウレス	小林機械工業	KP-W3S(48型)	木材工業
5	超高速昇温電気炉	アドバンテック	KS-1702	金属材料
5	酸素アニール炉	アドバンテック	KA-1230	金属材料
5	振動試料型磁力計	東英工業(株)	VMS-5-15 Auto	金属材料
5	加圧雰囲気炉	島津製作所	PVS(G)gr20/20	金属材料
5	X線マイクロアナライザー	日本電子	JXA8900M	金属材料
5	大型自動乳鉢	日陶科学	ALM-300W型	金属材料
5	走査型電子顕微鏡	日本電子	JSM-5300LV	化 学
5	促進耐候性試験器	スガ試験機	WEL6XHCBECS	化 学
5	塗装用集塵装置	岩田塗装機工業	BB-25C	化 学
5	石油製品自動蒸留試験装置	明峰社	25B17AMD1	化 学
5	塩水噴霧試験機	スガ試験機	CASSER11LISO	化 学
5	μプレパラティブHPLC	ABI	MODEL172	化 学
5	キャピラリー電気泳動システム	ABI	270A-HT	応用生物
5	モイキュラーバイオジ-ステーション	ABI	ABI800	応用生物
5	マルチマイクロ瞬間測光解析装置	ベックマン	DU-7500	応用生物
5	卓上型超円心分離器	ベックマン	TLX	応用生物
5	超低温槽	レプコ	ULT-1386	応用生物
5	DNAサーマルサイクラー	パーキンエルマー	PCR-9600	応用生物
5	タンパク質分子量測定機	フィニガンマット	LASERMAT	応用生物
5	高速冷却遠心分離器	トミー精工	CX-250	応用生物
5	クロマトグラフティーシステム	ファルマシア	FPLC	応用生物
5	生体成分用高速液体クロマトグラフ	ウォーターズ	600E 蛍光	応用生物
5	蛍光分光光度計	日立製作所	F-4500	応用生物
5	酵母培養装置	サクラ精機	TFA-200	応用生物
5	倒立型システム顕微鏡	オリンパス	IMT-2	応用生物
5	振とう培養器	タイテック	BR-3000L	応用生物
5	多目的画像解析装置	日本アビオニクス	SPICCA2	応用生物
5	恒温恒湿器	サンデン	日本製粉 まなでし	応用生物

年度	機 器 名	メ ー カ ー 名	型 式	部 名
5	バイオバザード遠心分離機	トミー精工	SRX200他	応用生物
5	バイオバザードオートクレーブ	トミー精工	MSS325	応用生物
5	サーマルタンク	ヤスタファインデ	MP-NCH-R-600AT	醸造技術
5	サーマルタンク	ヤスタファインデ	MP01-NCH-R-400AT	醸造技術
5	製麴用引込床	ハクヨー	2枚槽	醸造技術
5	自動精麴機	ハクヨー	三段式自動製麴機	醸造技術
5	もろみ圧搾機	藪田産業	60/24B型	醸造技術
5	温度勾配恒温装置	日本医化器械	TG-200-3AD	醸造技術
5	近赤外分析計	ニレコ	NIRS6500システム	醸造技術
5	蒸きょう装置	増田商事	OH-T-400	醸造技術
5	大容量冷却遠心機	国産遠心機	H-7000S	醸造技術
5	加圧式大豆蒸煮缶	池田機械工業	70型	醸造技術
5	高速液体クロマトグラフ	東京理化学器械	S-3000	醸造技術
5	GC質量分析装置	ヒューレット・パッカー	HP5972A	食品開発
5	ガスクロマトグラフ	ヒューレット・パッカー	HP5890-2	食品開発
5	真空凍結乾燥機	共和真空技術	RLE-103	食品開発
5	自記分光光度計	日立製作所	U-3300	食品開発
5	高温高圧調理殺菌試験器	日阪	RCS-40-RTGN	食品開発
5	真空ガス充 包装機	ウェーボ	E-10GH	食品開発
5	水分活性測定装置	デカゴン	CX-2	食品開発
5	青果物包装用ガスアナライザー	住友ベークラフト	MAPTEST4000	食品開発
5	煮炊攪拌機	服部工業	H-1-040+RHST-22	食品開発
5	和菓子製造機	レオン自動機	火星CN111	食品開発
5	恒温恒湿器	タパイエスペック	自動計量装置付	食品開発
5	食品加圧試験装置	神戸製鋼所	Dr.Chrf	食品開発
5	冷麺製造装置	北日本機設サービス	KR-1型	食品開発
5	油圧搾汁機	池田機械工業	M-11-60-DS	食品開発

年度	機 器 名	メ - カ - 名	型 式	部 名
6	ワークステーション	アップルコンピュータ社	Power Mac810	電子機械
6	オートサンプラー	ウォーターズ	7177プラス	応用生物
6	蛍光リーダー	コスモバイオ	SLT-F1	応用生物
6	マイクロプレートリーダー	バイオラット	3550UV	応用生物
6	2次元電気泳電解析システム	ファルマシア	マルチフォ	応用生物
6	味認識装置	アンリツ	SA401 MSS325	醸造技術
6	マルチオートカウンター	藤原製作所	KC-10 型	醸造技術
6	ミニ精米器 (30kg)	新中野工業	RP-5型	醸造技術
7	プレゼンテーションソフトウェア	東芝岩手電機(株)	Netscape	企画情報
7	インターネットサーバー	東芝岩手電機(株)	AS4035/85FX1	企画情報
7	米品質判定装置	静岡製機(株)	RS-200型	醸造技術
7	小型超高温炉	(株)成瀬理工	マッフル方式標準仕様	化 学
7	パソコン (指導用)	東芝岩手電機(株)	東芝PV3538CW	企画情報
7	スクラッチテスト	(株)成瀬理工	SST-101	化 学
8	光造形装置樹脂交換用小型樹脂槽	シーメット	SP400用	特産開発
8	焼成炉	シンコー科学	MGH-DP-150S	金属材料
8	精密鋳造装置	東京ロストワックス工業	TLW-9610	金属材料
8	超精密成形研削盤	長島精工	NP515-F	金属材料
8	方向性凝固装置	佐々木電機本店	SNO-961	金属材料
8	高速ガス溶射装置	スルーザメテコジャパン	DJC型	金属材料
9	真空蒸着装置	日本電子(株)	JK130132-1039	金属材料
9	溶射用ブース	第一開明(株)	KAIMEI11	金属材料
9	純水製造装置	(株)ヤマト科学	35600703	応用生物
9	ワックス射出成形機	(株)東京ロストワックス工業	46809	特産開発
9	透磁率測定装置	愛知製鋼(株)	98011	金属材料
9	湯流れ解析装置	(株)コマツソフト	3647J00549	金属材料
9	精密ラム形ソフトフライス盤	長島精工(株)	P5-9702-56	金属材料
9	循環ファン付き箱型電気炉	中外エンジニアリング	EQ19-2606	金属材料
9	灼熱加熱炉	中外エンジニアリング	EQ19-2623	金属材料
9	ラボラトリーディスクミル	BUHLER・MIAG	20353952	醸造技術
9	20リットル醗酵タンク	ヤスタファインテ(株)	14082-01,02	醸造技術
10	ペンスキーマルテンス密閉式自動引火点試験器	田中科学機器製作(株)	APM-6形	化 学
10	塗装面測定装置	ミノルタ(株)	22711016	化 学

2 工業所有権の出願状況

(1)特許

No	名称	取得年月日	特許番号	出願年月日	特許出願番号	発明者	
						所属	氏名
1	鑄鉄製品の製造方法	H12.8.11	3099011号	H11.11.25	H11-334060	金属材料部	川原正弘
2	ホログラム、ホログラムの作成方法及びホログラムの作成装置 CT装置	H12.8.11	3098202号	H9.1.31	H9-18071	電子機械部 東北学院大学	大坊真洋 木村光昭
3	物体の透視装置	H12.5.19	3068823号	H11.8.18	H11-231494	電子機械部 岩手大学	大坊真洋 田山典男
4	鑄造製品及び鑄造製品の製造方法	H12.3.24	3049055号	H11.3.23	平 11-120328	企画情報部 金属材料部	池 浩之 勝負澤善行、茨島 明、高川 貴仁
5	金属の金型鑄造方法	H12.1.21	3025667号	H9.10.20	平 9-306579	金属材料部 (株)水沢鑄工所	川原正弘 高橋和義、及川寿明
6	CT装置	H11.6.11	2936391号	H7.12.6	平 7-317686	電子機械部 岩手大学	大坊真洋、南幅留男、藤澤 充、熊谷隆美、長谷川辰雄 田山典男
7	物体の透視装置	H11.6.4	2934858号	H10.7.16	平 10-201848	電子機械部 岩手大学	大坊真洋 田山典男
8	象嵌装飾体の製造方法	H9.7.4	2668191号	H6.5.23	平 6-108206	木工特産部 (有)一戸チップ工業所	浪崎安治、有賀康弘、高橋民 雄 田村邦彦
9	冷麺の製造方法	H9.2.27	2611911号	H5.4.15	平 5-88493	保存流通部 岩手県乾麺工業共同組合 岩手大学 農学部	遠山 良 碁石芳男 櫻井米吉
10	金属とゴム、プラスチック及び塗装等の有機材料との接着方法	H8.11.6	2108012号	H4.10.28	平 4-290082	化学部	河野隆年、小向隆志、瀬川晃 児、佐々木英幸
11	ポリアミド系樹脂組成のめっき方法	H8.9.2	2089804号	H2.7.4	平 2-175540	化学部	佐々木英幸
12	被測定物の位置検出方法	H8.8.23	2082336号	H3.8.7	平 3-223391	機械金属部 計量研究所 ラピラス電気(株)	南幅留男、佐々木 淳 切田 篤 大島千里、中島敦弘
13	漆液の精製装置	H8.4.25	2047435号	H4.11.25	平 4-314558	特産工業部 東森電子(株)	町田俊一、高橋勇介 安永 繁、大森栄一
14	切断青果物の保存処理方法	H8.4.25	2047443号	H5.2.24	平 7-063311	保存流通部	関村照吉
15	鑄物砂の水分調整方法	H6.6.21	1851652号	S61.4.17	平 5-056214	機械金属部	米倉勇雄、南幅留男、高橋正 明、藤澤 充、菊池浩之、 佐々木 淳

(2)実用新案

No	名称	取得年月日	登録番号	出願年月日	特許出願 公告番号	発明者	
						所属	氏名
1	溶接用タブ	S62.3.6	1671339号	S57.1.6	昭 61-24832	機械金属部 (株)小山田工業所	高橋幾久雄 松館敏雄

(3)特許出願中

No	名 称	出願年月日	特許出願番号	発 明 者	
				所 属	氏 名
1	スクイド磁気画像化装置	H13.3.30	2001-101264	電子機械部 岩手医科大学	大坊真洋 志子田有光
2	レーザー加熱装置及びレーザー加熱方法	H13.3.30	2001-101263	電子機械部	大坊真洋
3	3次元計測形状システム	H13.3.30	2001-102228	電子機械部 岩手県立大学	長谷川辰雄 土井章男
4	鋳鉄溶湯からの脱リン方法	H13.3.27	2001-90664	金属材料部 企画情報部	高川貴仁、勝負澤善行、茨島 明 池 浩之
5	固体表面の装飾被膜形成方法及び固体表面の装飾被膜	H13.3.27	2001-90663	化学部	鈴木一孝
6	磁気測定装置	H13.2.26	2001-050294	電子機械部	大坊真洋
7	針葉樹用無溶剤型紫外線硬化塗料	H12.11.9	2000-341850	化学部 木工特産部	穴沢 靖 高橋民雄、浪崎安治、有賀康弘
8	複合材及び複合材を用いたブロック体	H12.11.2	2000-335644	化学部 セイナン工業(株)	佐々木秀幸 江 東
9	鋳鉄の熱処理方法	H12.3.30	2000-94084	金属材料部 企画情報部	勝負澤善行、茨島 明、高川貴仁 池 浩之
10	廃棄物を用いたコンクリート組成物	H12.3.29	2000-90811	化学部 岩手大学	佐々木秀幸 藤原忠司、江東
11	リンゴジュースの製造方法	H12.3.9	2000-65125	醸造技術部 (有)阿部農園	桜井 廣、平野高広 阿部皓夫
12	単板積層材及び単板積層材の製造方法	H12.3.2	2000-57181	化学部 木工特産部 岩手県林業技術センター 宮古地方振興局林務部	穴沢 靖 高橋民雄、浪崎安治、有賀康弘 谷内博規 高芝俊雄
13	ロボット動作教示装置	H12.1.31	2000-23067	電子機械部	長谷川辰雄
14	木材の炭化処理法	H11.9.30	平11-277719	化学部 岩手大学 日本エコシステム(株)	佐々木陽 成田榮一、蓬田 茂 大久保和男
15	走査型スクイド顕微鏡	H11.8.5	平11-222958	電子機械部 (株)アオバサイエンス	大坊真洋 小高 正
16	微生物担体及びこれを利用した生ごみ処理装置	H11.7.16	平11-203729	応用生物部 化学部 日本エコシステム(株)	山本 忠 佐々木陽 大久保和男
17	ワイン酵母の交雑育種選抜法	H11.2.25	平11-48404	醸造技術部 前醸造技術部 (財)岩手生物工学研究センター	櫻井 廣、中山繁喜 小林麻由美 中澤信重、大川久美子、佐藤利次、 江井 仁
18	臨界電流密度の高い酸化超電導体	H10.7.1	平10-186629	化学部 金属材料部 (財)国際超電導産業技術研究センター	瀬川晃児 鎌田公一、齋藤 貴 村上雅人、ミリヤラ ムラリダ
19	ワックス原形の成形装置	H10.3.12	平10-61372	木工特産部 金属材料部 化学部	町田俊一、小林正信 米倉勇雄 鈴木一孝
20	鋳鉄の複合材及び鋳鉄の複合材の製造方法	H10.2.20	平10-56148	金属材料部	勝負澤善行、茨島 明、池 浩之、 高川貴仁
21	生ゴミ処理用多孔質酸化木材チップ及びその製造方法	H9.8.28	平9-247911	応用生物部 木工特産部 松川温泉(株) (有)日本エコシステム	山本 忠 佐々木 陽 高橋 晟 大久保和夫
22	軟質木材用塗料組成物	H8.9.27	平8-256152	化学部 木工特産部 斉藤(株)	穴沢 靖 浪崎安治、高橋民雄、有賀康弘 東 達弥

No	名 称	出願年月日	特許出願番号	発 明 者	
				所 属	氏 名
2 3	鋳鉄の製造方法	H8.2.29	平 8-71277	金属材料部 (株)ベン岩手工場	川原正弘、高橋幾久雄、米倉勇雄 深沢達雄、梶原英司
2 4	金属の熱処理装置	H7.6.2	平 7-136513	金属材料部 (株)アクト企画 岩手鋳機工業(株)	勝負沢善行 田中 宏 石川健壽、及川吉道
2 5	刃物及びその製造方法	H5.12.15	平 5-314993	管理部 特産工業部 木材工業部 岩手鋳機工業(株) 釜定本店	勝負沢善行 町田俊一 有賀康弘 石川健壽、及川吉道、加藤敬二、 渡辺史彦 宮 伸穂
2 6	石鹼含有体及び石鹼含有体の製造方法	H4.9.11	平 4-243325	特産工業部 木材工業部 松川温泉(株)	佐々木 陽 高橋民雄 高橋 晟
2 7	木材の熱処理方法	H4.9.11	平 4-243324	特産工業部 木材工業部 松川温泉(株)	佐々木 陽 高橋民雄 高橋 晟
2 8	農耕用鑄造耕耘爪	H3.7.17	平 3-204067	水沢分室 都生工業(株)	勝負沢善行 田中 宏

(4)特許公報類の保有状況

種別	特許公報	実用新案公報	公開特許公報 (フロントページ集)	公開実用新案公報 (フロントページ集)	登録実用新案公報 (フロントページ集)
所属					
工業技術センター	H4.1 ~ H5.12	H4.1 ~ H5.12	-----	-----	-----
発明協会	-----	-----	H5.1 ~ H8.12	H6.1 ~ H7.8	H6.1 ~ H8.12
種別	CD-ROM 公開・登録公報	CD-ROM 特許・実用新案公報	CD-ROM 意匠公報	CD-ROM 商標公報	審決公報
所属					
工業技術センター	-----	-----	-----	-----	H5.9 ~ H11.3
発明協会	H5.1 ~ H12.3	H5.1 ~ H12.3	H12.1 ~ H12.3	H12.1 ~ H12.3	-----
種別	特許庁公報	公表公報	PAJ CD-ROM	意匠公報	商標公報
所属					
工業技術センター	H6.1 ~ H12.3	H5.1 ~ H7.12	-----	H4.1 ~ H11.12	H4.1 ~ H11.12
発明協会	-----	-----	H6.1 ~ H12.3	-----	-----

3-1 事績顕著表彰名簿（知事表彰）

表彰年度	所 属	職 名	氏 名	事 績 の 概 要
S60	岩手県工業試験場	(機関表彰)	(機関表彰)	本県の特産品であるホームスパンの需要拡大を目的として、無燃系ホームパン製造方法等新製品製造技術の開発とその普及を図った。
H2	岩手県工業試験場	主任専門研究員	高橋幾久雄	溶接簡易タブを考案普及し、本県工業の振興に貢献した。
H3	岩手県工業試験場	主任専門研究員 専門研究員	南幅留男 佐々木淳	画像処理による製造工程自動化技術を開発普及し、本県工業の振興に貢献した。
H4	岩手県工業試験場	主任専門研究員	佐々木陽	地熱蒸気による染色技術及び副蚕糸利用技術を開発し、本県地場産業の振興に貢献した。
	岩手県醸造食品試験場	醸造部長	大森勝雄	床麹法による製麹技術の開発をその実用化に努め、本県工業の振興に貢献した。
H5	岩手県工業試験場	上席専門研究員 主任専門研究員	高橋勇介 町田俊一	漆の精製作業を自動的に行う漆精製装置を開発し、本県漆器生産産業の振興に貢献した。
	岩手県醸造食品試験場	主任専門研究員	遠山	盛岡冷麺の大量生産方法と長期保存方法を開発し、本県名産品としての地位を築いた。
H6	工業技術センター	主任専門研究員	米倉勇雄	鋳物砂の研究による鋳造技術の向上に努め本県地場産業の振興に貢献した。
H8	工業技術センター	上席専門研究員	勝負澤善行	無公害オーステンパ熱処理装置を開発し、本県鋳造業界の振興に貢献した。
H9	工業技術センター	上席専門研究員	齋藤博之	新品種酒造米の酒造適性評価方法を開発し本県酒造米育種の推進に貢献した。
H10	工業技術センター	上席専門研究員	小向隆志	産学官の連携によるトリアジンチオールの実用化の研究開発とその実用化に努め、本県工業の振興に貢献した。
H12	工業技術センター	醸造技術部	醸造技術部	いわてオリジナル酒造好適米水稻品種「吟ぎんが」を開発し、本県農業及び地場産業の振興に貢献した。

3-2 岩手県部局長表彰

表彰年度	所 属	職 名	氏 名	事 績 の 概 要
H11	工業技術センター	主任専門研究員	穴 沢	軟質木材を家具製造等として活用するための技術開発に取り組み、本県工業林業の振興に貢献した。
		上席専門研究員	浪崎安治	
		上席専門研究員	高橋民雄	
		主任専門研究員	有賀康弘	
H12	工業技術センター	主任専門研究員	大坊真洋	立体映像のホログラムで被写体内部を撮影できるCT装置システムなどを開発し、本県の産業振興に貢献した。
		電子機械部長	南幅留男	
		上席専門研究員	藤澤充	
		主任専門研究員	長谷川辰雄	
	産業技術短期大学校	講師	熊谷隆美	

4 職員の海外研修・海外調査

No	職員	出張期間	出張先	研修・研究調査テーマ
1	金属材料部主任専門研究員 勝負澤 善行 木工特産部主任専門研究員 浪崎 安治	H7.10.16 ~H7.10.24	アイルランド	リマリック大学との共同研究に関する概要説明 意見交換 大学の関係分野の視察 企業視察
2	木工特産部主任専門研究員 町田 俊一 専門研究員 有賀 康弘	H7.11.16 ~H7.12.2	アイルランド デンマーク フィンランド	デザイン技術調査 企業視察
3	副所長(工業) 河野 金属材料部主任専門研究員 勝負澤 善行 企画情報部主任専門研究員 藤原 裕雅	H8.3.16 ~H8.3.24	アイルランド	木材技術センター調査 家具等のデザイン状況調査 企業視察 ジェトロ・ダブリン訪問
4	醸造技術部主任専門研究員 中山 繁喜	H8.6.30 ~H8.7.10	ドイツ ベルギー	岩手県地ビール研究会 地ビール事情調査
5	醸造技術部 専門研究員 小澤 麻由	H8.6.29 ~H8.7.9	フランス ドイツ	欧州地域におけるワイン醸造技術についての調査
6	木工特産部上席専門研究員 高橋 民雄 主任専門研究員 浪崎 安治 専門研究員 小林 正信	H8.7.24 ~H8.8.2	アイルランド	木工手工具技術技能交流 企業視察
7	木工特産部主任専門研究員 浪崎 安治 金属材料部 専門研究員 茨島 明	H8.11.19 ~H8.11.29	アイルランド	ADI製木工用刃物の研究調査 企業視察
8	木工特産部上席専門研究員 町田 俊一 主任専門研究員 浪崎 安治 企画情報部上席専門研究員 藤原 裕雅	H9.6.14 ~H9.6.20	アイルランド	MC QUADE工学部長との会談 ウッドテクノロジーセンターでの他のプロジェクトの成果の視察 小径木広葉樹の乾燥技術についての意見交換 今年度の交流計画について 次年度以降の計画について 企業視察 GRANGER SAWMILLS MUNSTER JOINERY REGIONAL TECHNICAL LIMERICK SCHOOL OF ART & DESIGNの見学 ハント博物館見学
9	金属材料部主任専門研究員 茨島 明 専門研究員 池 浩之 木工特産部 専門研究員 小林 正信	H9.11.16 ~H9.11.26	アイルランド 英国	ウッドテクノロジーセンター施設・設備見学 リマリック大学にて研究発表Howmedica社工 デザインセンター(ダブリン)視察 JETROダブリン事務所(木材事情調査) JETROロンドンセンター(木材事情調査) アイルランドの木材事業についてVTR説明 ADI製刃物によるトカスブルースの切削試験
10	所長 甲田 晴彦 副所長 河野 隆年 木工特産部主任専門研究員 浪崎 安治 主任専門研究員 有賀 康弘	H10.2.25 ~H10.3.4	アイルランド	ULWTC展示会に参加 ウッドテクノロジーセンター幹部との会談 プロジェクトの締め合い 自然環境大臣との懇談 リマテック大学視察 水力発電所訪問 Willamette-Europeの工場見学 イノベーションセンターの見学
11	食品開発部主任専門研究員 関村 照吉	H10.4.6 ~H10.4.9	大韓民国	冷麺、ひつつみ技術調査 国際食品展調査
	木工特産部 専門研究員 小林 正信	H11.1.31 ~H11.2.5	大韓民国 ソウル市 全羅北道	日韓漆関連技術交流会への参加 ・漆器展示会への出品 ・シンポジウムでの発表 ・漆植栽地見学 ・螺鈿漆器工房見学
12	食品開発部主任専門研究員 関村 照吉	H11.5.11 ~H11.5.15	大韓民国 山林庁	ひつつみ・冷麺技術調査
13	木工特産部 専門研究員 小林 正信	H11.7.5 ~H11.7.11	大韓民国	韓国における薬剤施用による採漆技術、漆精製技術及び、分析・評価技術の調査
13	金属材料部上席専門研究員 勝負澤 善行 企画情報部 専門研究員 池 浩之	H11.10.4 ~H11.10.15	ペルー共和国	南部鉄器の製造技術を含む鋳物技術で国際交流・協力
14	木工特産部主任専門研究員 有賀 康弘	H11.11.20 ~H11.11.28	フィンランド	北欧における家具等木製品の開発及び生産技術に関する調査
15	醸造技術部部長 桜井 廣	H12.1.31 ~H12.2.6	オーストラリ	オーストラリアにおける酒類製造販売状況調
16	木工特産部上席専門研究員 町田 俊一	H12.5.9 ~H12.5.16	フィンランド	北欧におけるデザイン工芸の状況調査
17	化学部主任専門研究員 鈴木 一孝	H12.12.13 ~H12.12.20	ホノルル	磁気利用による有機めっき法における膜制御技術に関する研究成果発表
18	化学部上席専門研究員 佐々木 隆	H12.12.14 ~H12.12.21	ホノルル	硫化水素型高温温泉水処理木材の炭化とその性質に関する研究成果発表

5 海外発表

No	発表者	出張期間	出張先	発表内容	予算事業名
1	金属材料部 主任専門研究員 瀬川 晃児 専門研究員 齋藤 貴	H7.6.17 ~ 6.24	アメリカ ハワイ州 マウイ島	Microstructure and Suptconolcting Properties of OCMG Processed (Nd,Sm,Eu)-Ba-Cu-O Composite Bulks	高温超電導体試作 開発事業
2	金属材料部 主任専門研究員 鎌田 公一	H7.12.12 ~ 12.18	アメリカ ハワイ州 ホノルル市	Influence of the Alloying Elements on the Mechanical Properties of SUS 304 Steel Powders by Liquid-phase Sintering Method.	高温超電導体試作 開発事業
3	金属材料部 主任専門研究員 鎌田 公一	H12.12.12 ~ 12.18	アメリカ ハワイ州 ホノルル市	Mechanical Alloying of Ti-Al Powder Mixture in Argon Containing Nitrogen Gas	高温超電伝導体試 作開発事業
4	電子機械部 専門研究員 大坊 真洋	H8.6.6 ~ 6.12	アメリカ コロラド州 デンバー市	Developments of CT System Using Singular Value Decomposition Method	広域共同研究推進事 業研究員海外派遣事 業（情報科学課）
5	電子機械部 専門研究員 長谷川 辰雄	H8.11.17 ~ 11.28	アメリカ マサチューセツ州 ボストン市	Developments of Intersctive Multimedia Database	研究員海外派遣事 業（情報科学課）
6	木工特産部 上席専門研究員 佐々木 陽	H9.10.11 ~ 9.10.18	アメリカ サンフランシスコ	Case Studies Developing local Industry dy Hotspring Water and Geothermal Energy	研究員海外派遣事 業（情報科学課）
7	木工特産部 上席専門研究員 高橋 民雄 主任専門研究員 浪崎 安治 化学部 主任専門研究員 穴沢 靖	H9.10.30 ~ 11.3	中国 蘇州	Improvement in the Soft wood Coating	国際技術創造研究 推進事業
8	電子機械部 専門研究員 大坊 真洋	H10.7.18 ~ 7.26	アメリカ カルフォルニア州 サンティエゴ市	Visualization of X-ray Computer tomography using computer gene-rated holography	基盤的先導的技術 研究事業
9	応用生物部 主任専門研究員 小浜 恵子	H10.9.13 ~ 9.19	アメリカ ミネソタ州 ミネアポリス	Food functionality and structure of millet protein:Effect of dietary protein from proso,fox-tail and Japanese millets on cholesterol and triglyceride metabolism,especially plasma HDL levels	研究員海外派遣事 業（情報科学課）
10	木工特産部 上席専門研究員 佐々木 陽	H11.3.1 ~ 3.9	フィリピン マニラ市	Case Study on the System for Decomposition of Garbages by using Small Wood Pieces treated in the Hot Spring Water	基盤的先導的技術 研究事業

6 平成12年度主要行事・特記事項等一覧表

月 日	主 要 行 事 ・ 特 記 事 項 等
4.20 4.20	研究成果発表会：科学技術週間行事 フィンランド大使館大使来所
5.18 5.22	会計検査院実地調査 東北地方工業技術連絡会議（仙台市）
6.15 6.21	ペルー共和国鋳物技術交流研修生受け入れ 特定産業集積活性化対策関連機関支援強化事業技術連絡会議（工技センター）
7.10～13 7.17 7.18 7.19 7.31	所内ヒアリング：研究実施状況 岩手県工業技術研究推進会議部会：醸造技術部 " : 電子機械部 " : 食品開発部、応用生物部 " : 金属材料部
8.1 8.3 8.10 8.25 8.28 8.29	岩手県工業技術研究推進会議部会：化学部、木工特産部 県議会商工議員連盟視察 技術研究展示会「イーハトーブミレニアムサイエンス展」（盛岡市）に出展 インターンシップ研修生受け入れ JICAブラジル研修生受け入れ 地域結集型共同研究事業研究成果発表会
9.8～9	一般公開、発明くふうまつり
10.2 10.6	県議会商工議員連盟視察 高円宮様視察
11.3～4 11.8～9 11.17 11.28	テクノフェア花巻出展（花巻市） '00T O H O K U特許流通フェア出展（山形市） 埼玉県議会議員視察 移動工業技術相談会
12.1 12.4	産業集積関連機関支援会議（花巻市） 工業技術連絡会議（東京）
1.16 1.19	県商工議員連盟懇談会（盛岡市） ペルー共和国鋳物技術交流研修生研究成果発表会
2.2～3 2.15 " 2.22～23 2.26	南三陸けせん「食品見本市」出展（大船渡市） 岩手県工業技術研究推進会議（盛岡市） " I S O 1 4 0 0 1取得宣言 釜石産学民交流会（釜石市） 2.26 いわてI S O認証取得研究会、成果発表会
3.15 3.23～26	技術パイオニア養成事業成果発表会・修了式 基盤的先導的研究ヒアリング